

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 22

一〇一九

2019年3月

ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第23集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 22

2019年3月

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成17年10月に旧上福岡市と旧大井町が合併し、平成27年に10周年を迎える、今また新しい時代を歩みはじめています。

ふじみ野市は、都心から30km圏内という立地条件にあるため、昭和30年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。さらに、ふじみ野市となってからは、人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きく変化しています。

新たな歴史を歩みはじめたふじみ野市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2万数千年前の旧石器時代から現代までの長い歴史をみることができます。

本報告書は、国・県からの補助金と民間開発に伴い各事業者の皆様からの費用負担を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることができました。その成果は、店舗や住宅建設など、近年の開発ラッシュに伴い発掘されたものです。長い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

こうして発見された新たな歴史の一部を、「夢のある心豊かな学びのまちづくり」のため、貴重な文化財を将来にわたって保存・継承し、地域の皆様や子供たちが、生涯にわたって地域の歴史や文化を学び続けられるよう目指してまいります。貴重な文化財と共に、本書が将来にわたって活用されれば幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担とご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁、埼玉県教育委員会文化資源課、市関係各課、調査関係者、そして各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長 朝倉 孝

例　　言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2015(平成27)年度の試掘調査と発掘調査の報告書である。
2. 2015(平成27)年度に行った試掘調査、発掘調査および整理作業は総経費10,005,757円に対し国庫補助金(5,000,000円)、県費(2,500,000円)の補助金の交付を受け、2015(平成27)年4月9日から2016(平成28)年3月31日まで実施したものである。
3. 調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護係調査担当者
担当課	社会教育課文化財保護係	高崎直成 (2005.4.1 ~ 2018.3.31)
教　育　長	朝倉孝 (2014.4.1 ~)	鍋島直久 (2005.4.1 ~ 2017.3.31)
部　　長	中野則之 (2015.4.1 ~ 2017.3.31)	長谷川義行 (2017.4.1 ~)
	土屋浩 (2017.4.1 ~)	岡崎裕子 (2015.4.1 ~)
課　　長	小林清 (2015.4.1 ~ 2016.3.31) 庶務担当	橋本祐可子 (2015.4.1 ~)
	佐藤龍司 (2016.4.1 ~ 2018.3.31) 発掘調査員補	越村篤 (2005.4.1 ~ 2015.9.30)
	高崎直成 (2018.4.1 ~)	鎌田翔 (2015.11.2 ~ 2018.3.31)
副　課　長	佐藤龍司 (2015.4.1 ~ 2016.3.31)	坪田幹男 (2018.7.1 ~)
社会教育課副課長兼文化財保護係長(2016.4.1から兼務)	臨時の任用職員	高橋京子 (2005.4.1 ~)
	高崎直成 (2013.4.1 ~ 2018.3.31)	
	小林久美 (2018.4.1 ~)	
4. 本書作成にあたっての作業分担は事実報告及び遺構・遺物の執筆を岡崎・長谷川、遺物の観察表作成を岡崎・鎌田が担当し、整理作業の分担は次のとおりである。遺物接合・復元：中田藤子、川中ひろみ。石器実測：岩城英子、鎌田。土器実測・拓本：明石千とせ、岩城英子、坂本民子、佐竹里佳、鈴木千恵子、深谷美奈子、松平静、山内康代。遺構・遺物図トレース：小林登喜江。図版作成：青山奈保美、大久保明子、齋藤有紀、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、松平静。遺構写真：鍋島、越村、岡崎、鎌田。レイアウト・遺物写真：大久保明子。遺構図版作成の一部及び石器実測の一部を株式会社中野技術に委託した。ハケ遺跡第16地点出土人物埴輪に含まれる海綿骨針については、松岡喜久次氏（埼玉県立川越女子高等学校）に調査を依頼した。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）

天ヶ嶺岳、上田寛、越前谷理、大屋道則、岡田賢治、加藤秀之、神木繁嘉、久津間文隆、國見徹、隈本健介、酒井智晴、笹森健一、佐藤一也、佐藤啓子、塩野敏和、清水理史、鈴木清、高木文夫、田中信、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松尾鉄城、松岡喜久次、三上栄一、水口由紀子、水村孝行、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育委員会市町村支援部文化資源課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。（敬称略）

青山奈保美、明石千とせ、新井和枝、飯塚恵津子、飯塚泰子、家泉浩孝、壹岐久子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、白井孝、大久保明子、岡良子、川中ひろみ、小池恵美子、小林登喜江、齋藤有紀、坂本民子、佐竹里佳、重田恵子、鈴木勝弘、鈴木千恵子、須藤さち子、関田成美、高橋けい子、高貝しづ子、丹治つや子、當山りえ、中川圭子、中田藤子、野岡由紀子、比嘉洋子、深谷美奈子、福田美枝子、藤丸亮介、増澤勝美、松平静、山内康代、矢作梓、米田昇三、若林紀美代

凡　　例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として、遺構配置図 1:300、遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30、炉などの詳細図 1:30、土器実測図 1:4、土器拓影図 1:4、石器実測図 1:4、2:3、銭 1:1 である。

(2) 遺構断面図の水系高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示は、

搅乱 地山(ローム) 焼土 コンクリート

赤彩 軸 煤

土器 ● 石器 ★ 黒曜石 ▲ チャート □ 碓 ○ 炭 ■

(4) 土器断面図は、■が織維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

(5) 遺構・遺物実測図中の▲▼マークは、図の接続、結合を示す。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会に保管してある。

市内遺跡群 22 目次

はじめに	i
例　言	ii
凡　例	iii
目　次	iv
序図目次	v
表　目　次	vi
写真図版目次	vi
第 1 章 遺跡の調査と概要	
I 調査に至る経緯	1
II 立地と環境	1
III 市内の遺跡	3
第 2 章 鶴ヶ岡遺跡の調査	4
I 遺跡の立地と環境	8
II 鶴ヶ岡遺跡第 6 地点	8
III 鶴ヶ岡遺跡第 7 地点	8
第 3 章 西遺跡の調査	10
I 遺跡の立地と環境	10
II 西遺跡第 2 地点	10
III 西遺跡第 3 地点	16
第 4 章 北野遺跡の調査	26
I 遺跡の立地と環境	26
II 北野遺跡第 31 地点	27
III 北野遺跡第 32 地点	28
IV 北野遺跡第 33 地点	28
V 北野遺跡第 34 地点	29
VI 北野遺跡第 35 地点	29
VII 北野遺跡第 36 地点	30
VIII 北野遺跡第 37 地点	30
第 5 章 川崎遺跡の調査	31
I 遺跡の立地と環境	31
II 川崎遺跡第 42 地点	35
III 川崎遺跡第 43 地点	37
IV 川崎遺跡第 44 地点	38
第 6 章 ハケ遺跡の調査	40
I 遺跡の立地と環境	40
II ハケ遺跡第 21 地点	41
第 7 章 植伏山遺跡の調査	42
I 遺跡の立地と環境	42
II 植伏山遺跡第 26 地点	43
第 8 章 滾遺跡の調査	44
I 遺跡の立地と環境	44
II 滾遺跡第 26 地点	48
III 滾遺跡第 27 地点	59
第 9 章 長宮遺跡の調査	62
I 遺跡の立地と環境	62
II 長宮遺跡第 52 地点	62
第 10 章 亀居遺跡の調査	69
I 遺跡の立地と環境	69
II 亀居遺跡第 75 地点	69
III 亀居遺跡第 76 地点	70
IV 亀居遺跡第 77 地点	70
第 11 章 鶴ヶ舞遺跡の調査	72
I 遺跡の立地と環境	72
II 鶴ヶ舞遺跡第 23 地点	72
III 鶴ヶ舞遺跡第 24 地点	73
第 12 章 松山遺跡の調査	74
I 遺跡の立地と環境	74
II 松山遺跡第 82 地点	78
III 松山遺跡第 83 地点	79
第 13 章 江川東遺跡の調査	80
I 遺跡の立地と環境	80
II 江川東遺跡第 24 地点	83
第 14 章 東久保遺跡の調査	82
I 遺跡の立地と環境	82
II 東久保遺跡第 72 地点	84
第 15 章 東中学校西遺跡の調査	86
I 遺跡の立地と環境	86
II 東中学校西遺跡第 36 地点	86
第 16 章 西ノ原遺跡の調査	88
I 遺跡の立地と環境	88
II 西ノ原遺跡第 164 地点	93
III 西ノ原遺跡第 165 地点	97
IV 西ノ原遺跡第 166 地点	97
V 西ノ原遺跡第 167 地点	98
第 17 章 神代後遺跡の調査	99
I 遺跡の立地と環境	99
II 神代後遺跡第 54 地点	99
第 18 章 伊勢寺跡遺跡の調査	101
I 遺跡の立地と環境	101
II 伊勢寺跡遺跡第 40 地点	101
III 伊勢寺跡遺跡第 41 地点	103
第 19 章 小田久保遺跡の調査	104
I 遺跡の立地と環境	104
II 小田久保遺跡第 11 地点	105
III 小田久保遺跡第 12 地点	105
第 20 章 大井氏館跡遺跡の調査	106
I 遺跡の立地と環境	106
II 大井氏館跡遺跡第 26 地点	106
第 21 章 本村遺跡の調査	108
I 遺跡の立地と環境	108
II 本村遺跡第 129 地点	110
III 本村遺跡第 130 地点	112
IV 本村遺跡第 131 地点	113
第 22 章 東台遺跡の調査	114
I 遺跡の立地と環境	114
II 東台遺跡第 60 地点	116
第 23 章 まとめ	117
附　編	119
写真図版	121
抄　録	148

挿図目次

第1図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	4	第48図	長宮道路構造分布図(1/2,500)	65
第2図	ふじみ野市道路分布図(1/30,000)	6	第49図	長宮道路第52地点地盤構配図(1/300)、土層(1/150)、土坑・井戸・ ピット・溝(1/60)	66
第3図	鶴ヶ岡道路の地形と調査区(1/4,000)	8	第50図	長宮道路第52地点出土遺物(1/4・1/6)、トレンチ・土坑・井戸・ピッ ト・土層説明	67
第4図	鶴ヶ岡道路第7地点地盤構配図(1/500)、土層(1/150)、土坑(1/60)、 出土遺物(1/4)	9	第51図	長宮道路第52地点出土遺物(1/4・1/1)	68
第5図	西遺跡の地形と調査区(1/4,000)	10	第52図	亀居道路の地形と調査区(1/4,000)	69
第6図	西遺跡構造分布図(1/2,000)	12	第53図	亀居道路第75～77地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第75 地点出土遺物(1/4)	71
第7図	西遺跡第2地点地盤構配図(1/500)	13	第54図	鶴ヶ岡道路の地形と調査区(1/4,000)、第23地点調査区域図(1/300)、 土層(1/150)	72
第8図	西遺跡第2地点24～26号住居跡、土坑・ピット(1/60)	14	第55図	鶴ヶ岡道路第24地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	73
第9図	西遺跡第2地点出土遺物(1/4・2/3)	15	第56図	松山道路の地形と調査区(1/4,000)	74
第10図	西遺跡第3地点地盤構配図(1/300)、土層(1/150)	17	第57図	松山道路構造分布図(1/3,000)	76
第11図	西遺跡第3地点27～28号住居跡(1/60)、炉(1/30)	18	第58図	松山道路第82地点地盤構配図(1/300)、堀跡(1/60)、出土遺物(1/4)	78
第12図	西遺跡第3地点29号住居跡、土坑(1/60)、集石土坑(1/30)	19	第59図	松山道路第83地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物 (1/4)	79
第13図	西遺跡第3地点出土遺物(1/4・2/3)	20	第60図	松山道路第84地点H35号住居跡・掘方・井戸(1/60)、出土遺物 (1/4)	80
第14図	西遺跡第3地点出土遺物(1/4)	21	第61図	松山道路第84地点H35号住居跡・掘方・井戸(1/60)、出土遺物 (1/4)	81
第15図	西遺跡第3地点出土遺物(1/4)	22	第62図	川江東遺跡の地形と調査区(1/4,000)	82
第16図	西遺跡第3地点出土遺物(1/4)	23	第63図	川江東遺跡第24地点調査区域図(1/300)	83
第17図	北野遺跡の地形と調査区(1/4,000)	26	第64図	東久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第72地点地盤構配図(1/300)、 溝(1/60)	84
第18図	北野遺跡第31地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	27	第65図	東中学校西遺跡の地形と調査区(1/4,000)	86
第19図	北野遺跡第31地点出土遺物(1/4)、第32地点調査区域図(1/300)、 土層(1/150)	28	第66図	東中学校西遺跡第36地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	87
第20図	北野遺跡第34地点地盤構配図・35地点調査区域図(1/300)、土層 (1/150)、ピット(1/60)、第34地点出土遺物(1/4)	29	第67図	西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)	88
第21図	北野遺跡第36・37地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第36 地点出土遺物(1/4)	30	第68図	西ノ原遺跡構造分布図(1/2,000)	92
第22図	川崎道路の地形と調査区(1/4,000)	31	第69図	西ノ原遺跡第164地点地盤構配図(1/300)、土層(1/150)、218号住 居跡・ピット(1/60)、炉(1/30)	94
第23図	川崎道路構造分布図(1/2,500)	33	第70図	西ノ原遺跡第164号住居外埋葬(1/30)、土坑(1/60)、溝(1/100)	95
第24図	川崎道路第42地点地盤構配図(1/300)、土層(1/150)、H79号住居 跡(1/60)	35	第71図	西ノ原遺跡第164地点出土遺物(1/4)	96
第25図	川崎道路第42地点出土遺物(1/4)	36	第72図	西ノ原遺跡第165・166地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)・ 97	
第26図	川崎道路第43地点地盤構配図(1/300)、燒土(1/30)、出土遺物(1/4)	37	第73図	西ノ原遺跡第167地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物 (1/4)	98
第27図	川崎道路第44地点地盤構配図(1/300)、地下式坑(1/60)	38	第74図	神明後遺跡地形と調査区(1/4,000)	99
第28図	川崎道路第44地点(1/30)、地下式坑(1/60)、貝殻体組成	39	第75図	神明後遺跡第54地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	100
第29図	ハケ道路の地形と調査区(1/4,000)	40	第76図	神淨寺跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第40地点出土遺物(1/4)	101
第30図	ハケ道路第21地点調査区域図(1/300)	41	第77図	神淨寺跡遺跡第41地点地盤構配図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ビッ ト(1/60)、出土遺物(1/4)	103
第31図	稚丸山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	42	第78図	小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)	104
第32図	稚丸山遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	43	第79図	小田久保遺跡第11・12地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	105
第33図	滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)	44	第80図	大井氏船跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)	106
第34図	滝遺跡構造分布図(1/2,000)	46	第81図	大井氏船跡遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/60)、出土遺 物(1/4)	107
第35図	滝遺跡第26地点地盤構配図(1/300)	48	第82図	木村道路の地形と調査区(1/5,000)	108
第36図	滝遺跡第26地点H42号住居跡(1/60)、爐(1/30)	49	第83図	木村道路第129地点地盤構配図(1/300)、土層(1/60)・(1/150)、ビッ ト(1/60)、出土遺物(1/4)	111
第37図	滝遺跡第26地点H43号住居跡(1/60)	50	第84図	木村道路第130地点地盤構配図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ビッ ト(1/60)、出土遺物(1/4)	112
第38図	滝遺跡第26地点H43号住居跡・掘方(1/30)、土坑(1/60)	51	第85図	木村道路第131地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	113
第39図	滝遺跡第26地点井戸①・落とし穴(1/60)	52	第86図	東台道路の地形と調査区(1/5,000)	114
第40図	滝遺跡第26地点井戸②・ビット(1/1,000)	53	第87図	東台道路第60地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)	116
第41図	滝遺跡第26地点ビット②(1/60)	54			
第42図	滝遺跡第26地点(1/60)	55			
第43図	滝遺跡第26地点出土遺物(1/4・1/1)	57			
第44図	滝遺跡第26地点出土遺物(1/4)	58			
第45図	滝遺跡第27地点地盤構配図(1/300)、土層(1/150)、H44号住居跡 ・掘方(1/60)、遺物出土状況(1/30)	60			
第46図	滝遺跡第27地点出土上部遺物(1/4)	61			
第47図	長宮道路の地形と調査区(1/4,000)	62			

表 目 次

第1表 過去3年間の調査件数と面積一覧表	1	第27表 滝道跡第26地点ピット一覧表	56
第2表 2015(平成27)年度理祓文化財調査一覧表	2	第28表 滝道跡第26地点出土遺物觀察表	58
第3表 2015(平成27)年度立会い調査一覧表1(理祓文化財包蔵地内)	3	第29表 滝道跡第27地点出土遺物觀察表	61
第4表 2015(平成27)年度立会い調査一覧表2(理祓文化財包蔵地外)	3	第30表 長宮遺跡調査一覧表	63
第5表 ふじみ野市道路一覧表	7	第31表 長宮遺跡第52地点ピット一覧表	66
第6表 紋文時代中期時期縦分比表	7	第32表 長宮遺跡第52地点出土遺物觀察表	68
第7表 鶴ヶ岡遺跡調査一覧表	9	第33表 長宮遺跡第52地点出土石器觀察表	68
第8表 西遺跡調査一覧表	11	第34表 亀居遺跡調査一覧表	70
第9表 西遺跡調査古代住居跡一覧表	11	第35表 鶴ヶ舞遺跡調査一覧表	73
第10表 西遺跡第2地点出土遺物觀察表	16	第36表 松山遺跡調査一覧表	75
第11表 西遺跡第3地点J27号坑内ピット一覧表	17	第37表 松山遺跡古代住居跡一覧表	77
第12表 西遺跡第3地点立石土坑・出土標印表	19	第38表 江川遺跡調査一覧表	82
第13表 西遺跡第3地点出土遺物觀察表	24	第39表 東久保遺跡調査一覧表	85
第14表 北野遺跡調査一覧表	27	第40表 東中学校西遺跡調査一覧表	87
第15表 北野遺跡第31地点出土遺物觀察表	28	第41表 西ノ原遺跡調査一覧表	89
第16表 川崎遺跡調査一覧表	32	第42表 西ノ原遺跡住居跡一覧表	90
第17表 川崎遺跡古代住居跡一覧表	34	第43表 西ノ原遺跡第164地点土坑一覧表	93
第18表 川崎遺跡第42地点出土遺物觀察表	36	第44表 西ノ原遺跡第164地点出土遺物觀察表	96
第19表 川崎遺跡第44地点地下式坑出土日曆と混合率	39	第45表 神明後遺跡調査一覧表	100
第20表 ハケ遺跡調査一覧表	41	第46表 清津寺跡遺跡調査一覧表	102
第21表 権助山遺跡調査一覧表	43	第47表 小田久保遺跡調査一覧表	104
第22表 滝道跡調査一覧表	45	第48表 大井氏館跡遺跡調査一覧表	106
第23表 滝道跡古代住居跡一覧表	47	第49表 本村遺跡調査一覧表	109
第24表 滝道跡第26地点H43号坑内ピット一覧表	50	第50表 本村遺跡第130地点ピット一覧表	112
第25表 滝道跡第26地点土坑一覧表	56	第51表 東台遺跡調査一覧表	115
第26表 滝道跡第26地点井戸一覧表	56		

写真図版目次

写真図版1 鶴ヶ岡遺跡第7地点、西遺跡第2地点(1)	121	写真図版15 滝道跡第26(6)・27(1)地点	135
写真図版2 西遺跡第2地点(2)	122	写真図版16 滝道跡第27地点(2)	136
写真図版3 西遺跡第2地点(3)	123	写真図版17 長宮遺跡第52地点(1)	137
写真図版4 西遺跡第3地点(1)	124	写真図版18 長宮遺跡第52地点(2)、亀居遺跡第75地点	138
写真図版5 西遺跡第3地点(2)	125	写真図版19 亀居遺跡第76・77地点、鶴ヶ舞遺跡第23・24地点	139
写真図版6 西遺跡第3地点(3)	126	写真図版20 松山遺跡第82・83・84(1)地点	140
写真図版7 北野遺跡第31・32・34地点	127	写真図版21 松山遺跡第84地点(2)、川崎遺跡第24地点、 東久保遺跡第72地点、東中学校西遺跡第36地点	141
写真図版8 北野遺跡第35・36・37地点、川崎遺跡第42地点(1)	128	写真図版22 西ノ原遺跡第164地点(1)	142
写真図版9 川崎遺跡第42(2)・43地点	129	写真図版23 西ノ原遺跡第164(2)・165・166地点	143
写真図版10 ハケ遺跡第21地点、権助山遺跡第26地点、 滝道跡第26地点(1)	130	写真図版24 西ノ原遺跡第167地点、神明後遺跡第54地点、 清津寺跡遺跡第40・41地点	144
写真図版11 滝道跡第26地点(2)	131	写真図版25 小田久保遺跡第11・12地点、大井氏館跡遺跡第26地点	145
写真図版12 滝道跡第26地点(3)	132	写真図版26 本村遺跡第129・130(1)地点、 東台遺跡第60地点	146
写真図版13 滝道跡第26地点(4)	133		
写真図版14 滝道跡第26地点(5)	134		

第1章 遺跡の調査と概要

I 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏 30 km 圏内の県南西部に位置する。2005(平成 17)年 10 月 1 日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積 14.64 km²、人口は 2018(平成 30)年 7 月現在 114,163 人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稻作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道(大井宿)や新河岸川(福岡河岸)、東武東上線(上福岡駅)などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、旧福岡村に通信施設や旧日本陸軍造兵廠東京工廠福岡工場(火工廠)が建設され、戦後の昭和 30 年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和 60 年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も行われた。現在は上福岡駅周辺の再開発と、ふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行われている。

ふじみ野市では平成 17 年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」(旧上福岡市、旧大井町では昭和 53 年度から合併まで)として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行ない、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、

建設課(民間の指定確認検査機関含む)への建築確認申請段階、都市整備課からの開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)の提出を受けて事前協議を行った。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者に連絡をして協議を行った。

協議後、文化財保護法第 99 条第 5 項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施している。また、その個人の用に供する住宅(個人住宅)の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2015 年度の試掘及び発掘調査は第 2 表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査 15 件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査 1 件、公共事業に伴う本調査 0 件、民間開発に伴う本調査 7 件を行った。開発面積は 26,577.58 m² で、そのうち実質調査面積は試掘 6,224.98(本調査面積 1,636.0) m² である。過去 3 年間の調査件数と調査面積を第 1 表に掲載する。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び活用と、調査体制の強化が求められるところである。

第1表 過去 3 年間の調査件数と面積一覧表

年度	件数・内訳 試掘件数 本調査件数 開発面積m ²	個人住宅 原因者負担 本調査件数 本調査件数 開發面積m ²			調査原因の内訳	
		開發面積m ²	開發面積m ²	開發面積m ²		
2013(平成 25) 年度	54 件 86,664	3 件 769	6 件 63,501		個人住宅 20、共同住宅 5、分譲住宅 13、宅地造成等 4、道路 4、店舗 4、高齢者デイサービスセンター等 2、神社社務所 1、苗間薬師堂 1	
	46 件 27,152	6 件 128	7 件 1,418		個人住宅 20、分譲住宅 12、共同住宅 5、事務所 1、葬祭場 1、宅地造成 3、病院増築 1、駐車場 1、店舗 1、道路 1	
2014(平成 26) 年度	47 件 25,714	1 件 368	7 件 9,108		個人住宅 17、共同住宅 6、分譲住宅 13、宅地造成 5、店舗 1、駐車場 2、保育所 1、老人介護施設 1、集会所 1	

第2表 2015(平成27)年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	跡地・地点名	申請地住所	開発面積 (m ²)	試掘面積	個人住宅 本調査面積 民間開発 本調査面積	原因	試掘期間	調査措置
							本調査期間	
1	鶴ヶ岡通跡第6地点	鶴ヶ岡3-3-20の一部	1983.51	614	16	保育所	5/15~27 7/10~8/19	試掘調査・本調査
2	鶴ヶ岡通跡第7地点	鶴ヶ岡3-3-20・21	1731.79	445.5		老人介護施設	12/22~1/29	試掘調査
3	西通跡第2地点	西2-5905-1	2393	485.5		共同住宅	5/27~29	試掘調査
4	西通跡第3地点	西2-2071-1	476	108.7		共同住宅	1/25~27	試掘調査
5	北野通跡第31地点	北野2-2130-4・9	179	21.5		分譲住宅	8/18	試掘調査
6	北野通跡第32地点	北野2-1841-7他	209.32	4.5		分譲住宅	8/27	試掘調査
7	北野通跡第33地点	北野2-1801-3・4・42・43	627.69	169.55	30	分譲住宅	12/1~8 12/15~21	試掘調査・本調査
8	北野通跡第34地点	大原2073-1	276.13	24		共同住宅	12/7~8	試掘調査
9	北野通跡第35地点	北野2-2116-4	53	4		個人住宅	12/8	試掘調査
10	北野通跡第36地点	大原1-2058-10・11の各一部	212	31.16		共同住宅	2/15~16	試掘調査
11	北野通跡第37地点	北野1-3127-23・25	70.25	2.76		個人住宅	3/25	試掘調査
12	川崎通跡第42地点	川崎字宅地添233-3	200	39		集合所	6/26・7/2	試掘調査
13	川崎通跡第43地点	川崎字宮後165-5・8・9	175.21	20		個人住宅	6/26	試掘調査
14	川崎通跡第44地点	川崎字宅地添202-1・8	273.56	123.95	123	分譲住宅	11/24~12/10 1/5~20	試掘調査・本調査
15	八ケ通跡第19地点	福岡3-1222-1、1223~1225、1255	2296	572.6	885	宅地造成	4/2~5/11・10/13 6/2~9/19	試掘調査・本調査
16	八ケ通跡第20地点	福岡3-1252-1	375	90.4	33	分譲住宅	10/14~16 10/29~30	試掘調査・本調査
17	八ケ通跡第21地点	福岡3-1193-4・15、2069-10	101	20.2		個人住宅	1/5	試掘調査
18	権現山通跡第26地点	港1-3-23	97	9		個人住宅	11/30	試掘調査
19	滝通跡第26地点	港2-5-6・8	368.92	242	19.2	個人住宅	10/19~27 11/9~10	試掘調査・本調査
		港2-5-39・40・41・42	862.92	131.87		分譲住宅	2016.6/24~9/9	試掘調査
20	滝通跡第27地点	港1-1-25	155	29		個人住宅	11/27~12/1	試掘調査
21	長宮通跡第52地点	中丸1-3-24	484	110.14		分譲住宅	3/11~17	試掘調査
22	亀居通跡第75地点	亀久保2-17・17-10の各一部	244.26	21.7		個人住宅	6/5~8	試掘調査
23	亀居通跡第76地点	鶴ヶ岡2-3-2	263	52		分譲住宅	8/6	試掘調査
24	亀居通跡第77地点	亀久保2-9・24	168	47.25		個人住宅	3/18	試掘調査
25	鶴ヶ舞通跡第23地点	鶴ヶ舞1-7・19	72	10		分譲住宅	6/29	試掘調査
26	鶴ヶ舞通跡第24地点	鶴ヶ舞1-6・7-3・4の一部、	499	25.5		個人住宅	8/31	試掘調査
27	松山通跡第82地点	本新田411の一部	194	35		個人住宅	7/30~31	試掘調査
28	松山通跡第83地点	仲1-2-22	98	6		分譲住宅	8/31	試掘調査
29	松山通跡第84地点	築地3-4-13	455	190		宅地造成	9/15~16	試掘調査
30	松山通跡第85地点	池上362-1の一部、364の一部、365の一部、366の一部	1244.47	485.6	93	分譲住宅	10/1~19 10/20~26	試掘調査・本調査
31	江川東通り第24地点	東久保1-32-12	91.92	6		個人住宅	11/27	試掘調査
32	東久保通跡第27地点	ふじみ野2-6-7	100	7		個人住宅	7/2	試掘調査
33	東中学校西通跡第36地点	ふじみ野3-6・7	724	134		駐車場	8/11	試掘調査
34	西/原通跡第164地点	苗間1-15-8	647	245		駐車場	5/11~18	試掘調査
35	西/原通跡第165地点	旭1-12-1	160	25.8		個人住宅	9/30	試掘調査
36	西/原通跡第166地点	旭1-13-1・17-18	212.01	15.7		分譲住宅	11/5	試掘調査
37	西/原通跡第167地点	旭1-8-1	349	83.67		アスファルト造成	11/9~10	試掘調査
38	神明通跡第54地点	苗間字神明293-7・9	342	6		共同住宅	12/3	試掘調査
39	淨津寺跡通跡第40地点	苗間355-1-2・12	2308.06	619	456	分譲住宅	8/19~9/30 10/1~11/9	試掘調査・本調査
40	淨津寺跡通跡第41地点	苗間字神明前509-1・5	349.73	85.4		分譲住宅	12/21	試掘調査
41	小田久保通跡第11地点	大井字西原985-4	330.16	30		個人住宅	5/14	試掘調査
42	小田久保通跡第12地点	大井字小田久保1190-1・2・4、1196-1・2	279	24		個人住宅	8/18	試掘調査
43	大井氏館跡通跡第26地点	大井1-11-1・2・10-11の各一部、11-8	993.73	12.75		店舗	6/1	試掘調査
44	本村通跡第129地点	大井2-20-4	1,253.99	397.3		宅地造成	11/5~13	試掘調査
45	本村通跡第130地点	大井2-16-17	776	263.3		宅地造成	11/16~20	試掘調査
46	本村通跡第131地点	市沢2-8-2	135.18	22.18		共同住宅	3/4~8	試掘調査
47	東台通跡第60地点	大井字東台597-2	687.77	75.5		個人住宅	7/7	試掘調査
合 計			26,577.58	6,224.98	1,636.0			

第3表 2015(平成27)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)

① 遺跡・地点	申請地住所	開発面積(m ²)	原 因	立会日	備 考
1 鶴ヶ岡 横川3-19-17-2		54	ガス新設工事	立会不可	アムフラット鹿島市事業会、遺構未検出なし、遺構未検出なし、他のため工事立会
2 北野 半野町3125-4		59	個人住宅	7/27立会	解説工事の合意書提出確認なし、他のため工事立会
3 北野 半野3-5-1-3-32		6.31	ガス新設工事	開会不可	解説工事の合意書提出なし、遺資不可、工事立会
4 川端町六番地 元福岡2-168-1		59	個人住宅	4/15立会	4/15地盤確認検査なし、基礎工事日程未持込
5 川端町 八戸市宇佐224-10		202	個人住宅	3/23立会	約400m ² 土石、遺構未検出なし、他のため工事立会
6 植田山 清水3-35		92	個人住宅	9/15立会	既存建物古山台深さ7m程度、遺構未検出なし、他のため工事立会
7 植田山 清水3-46		173	個人住宅	9/16立会	既存建物古山台立会、解説工事の合意書提出なし、他のため工事立会
8 有賀 中央2-3-25		120.0	個人住宅	4/15立会	既存建物立会、解説工事の合意書提出なし、他のため工事立会
9 有賀 中央2-3-25		120.0	個人住宅	4/20立会	既存建物立会、解説工事の合意書提出なし、他のため工事立会
10 鶴ヶ岡 留守瀬南4181.3の一部3-6		1964.86	駆除工事	9月7立会	既存建物にによりて解説会計の同意付障害なし、工事立会
11 鶴ヶ岡 留守瀬1-67-3		499.49	全壇地新設工事	10/22立会	既存建物立会、遺構未検出なし、他のため工事立会
12 鶴ヶ岡 留守瀬1-65-10		42	電柱新設	開会不可	既存建物認め、狭く調査不可、工事立会
13 鶴ヶ岡 留守瀬1-67-3-6		411.87	集合住宅	2/3立会	集合住宅
14 鶴ヶ岡 留守瀬1-58-1					既存地につき立会不可
15 松山 鶴見3-2			ガス新設工事		既存地につき立会不可
16 松山 鶴見3-2-1D		955.87	ガス新設工事	7/27立会	既存地につき立会不可、20~30cm下までれかびゾンを用意する必要あり
17 松山 鶴見3-2-1D		429.33	個人住宅	7/23立会	7/23解説会合、既存建物確認検査なし、既存地のため工事立会
18 松山 鶴見3-4-2-43-47		159	個人住宅	3/22立会	1/23基礎工事立会、既存地表面下780mmまでの山形県の土質理検、保護壁有無検査工事
19 松山 鶴見3-5-6-9		4	ガス新設工事	9/7立会	既存建物立会、解説工事
20 江ノ瀬 岩井1-37		115	個人住宅	7/28立会	立会不可、解説工事立会
21 江ノ瀬 岩井1-48-2		424.62	電柱新設工事	9月15立会	既存地につき立会不可、工事立会
22 鶴ヶ岡 牧野町1-1B		200.39	個人住宅	4/15立会	既存地につき立会不可、工事立会
23 鶴ヶ岡 牧野町1-8			本体・外壁耐震改修	4/16立会	既存地立会、本体抹壁下溝の真ん中、立会不可
24 鶴ヶ岡 牧野町1-8		215.12	個人住宅	5/20立会	既存地立会、既存地G.G.74mm、遺構未検出なし
25 西ノ瀬 岩井16-3		1862	大井町新設工事・電柱新設工事	1月10立会	既存地二重防護壁立会、既存地のため工事立会
26 神楽坂 岩井11-1		597	掘削不適合によるうさぎ新設工事		既存地掘削立会、既存地立会
27 争議地 岩井10-1		1	電柱新設	4/7立会	50cm×12cm木柱下40cm×12cm石柱、既存地掘削立会、調査不可、工事立会
28 争議地 各種地久保65B22-22, 581-3		139	個人住宅	8/22立会	5/5地主三井不動産河原町(専務幹事)3: 25H.11.26プロクタ工事時一部解説、遺構なし、既存工事
29 争議地 各種地久保718-7-9		294.31	幼稚園	9/30立会	既存地掘削立会、保護壁有無立会、遺構なし
30 争議地 各種地26		6742	建物所有	1/28立会	既存地掘削立会、保護壁有無立会、他のため
31 争議地 各種地久保718-7-9			ガス新設工事	調査不可なし、他のため	既存地掘削立会、既存地抹壁下溝の真ん中、立会不可、工事立会
32 小山田 久保町1053-1の一部		106.66	ガス新設工事	4/7立会	既存地掘削立会、既存地抹壁下溝の真ん中、立会不可、工事立会
33 小山田 久保町1053-1の一部			本体・外壁耐震改修	4/7立会	既存地掘削立会、既存地抹壁下溝の真ん中、立会不可、工事立会
34 本村 作原2丁目8-5		2992	公園施設工事	8/25立会	既存地開拓立会、遺構未検出なし
35 西田 大井町西801-1の一部		221	垂木	7/30立会	既存地立会、既存地より15cm、基礎未検出立会、遺構未検出なし、供養工事
36 西田 大井町西804-21		220	個人住宅	11/13立会	基準地立会、遺構未検出なし、供養工事
37 西田 大井町8-4		2928	電柱新設工事	開会不可	狭小地につき調査不可、工事立会

第4表 2015(平成27)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)

① 遺跡・地点	申請地住所	開発面積(m ²)	原 因	立会日	備 考
1 施設地場 地図番号天保22-22	花ノ木1丁目31-57	161.96	個人住宅	10/26立会	立会不可
2 施設地場 地図番号天保22-22		499.9	個人住宅		既存地よりも5cm厚土覆り
3 施設地場 地図番号天保22-22		769	個人住宅	11/16立会	既存地立会
4 田代八幡堀 大井町31-3-6		1	電柱新設	7/23立会	立会不可
5 西田開拓 大井町西904-44		139	2階建て住宅	立会不可	既存地立会
6 清原1-1-5-9		2012	店舗	6/24立会	既存地立会
7 丸山保子新野原14-2-11		2269.94	2階建物	既存地掘削立会、既存地抹壁下溝の真ん中、遺構未検出なし	
8 上越橋 丸山1-1-4		2934.07	営業	9/16立会	既存地立会
9 丸山保子新野原1609-3-5		1310.00	工場	立会不可	既存地立会
10 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
11 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
12 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
13 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
14 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
15 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
16 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
17 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
18 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
19 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
20 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
21 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
22 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
23 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
24 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
25 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
26 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
27 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
28 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
29 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
30 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
31 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
32 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
33 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
34 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
35 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
36 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
37 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
38 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
39 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
40 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
41 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
42 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
43 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
44 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
45 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
46 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
47 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
48 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
49 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
50 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
51 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
52 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
53 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
54 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
55 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
56 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
57 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
58 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
59 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
60 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
61 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
62 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
63 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
64 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
65 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
66 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
67 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
68 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
69 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
70 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
71 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
72 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
73 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
74 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
75 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
76 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
77 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
78 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
79 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
80 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
81 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
82 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
83 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
84 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
85 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
86 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
87 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
88 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
89 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
90 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
91 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
92 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
93 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
94 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
95 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
96 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
97 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
98 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
99 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
100 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
101 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
102 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
103 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
104 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
105 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
106 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
107 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
108 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
109 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
110 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
111 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
112 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
113 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
114 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
115 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
116 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
117 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
118 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫	11/6立会	既存地立会
119 丸山保子新野原1609-3-5		162.5	倉庫</		

都にまたがる。武藏野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦にみえるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫できた旧河道(埋没河川)、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

III 市内の遺跡

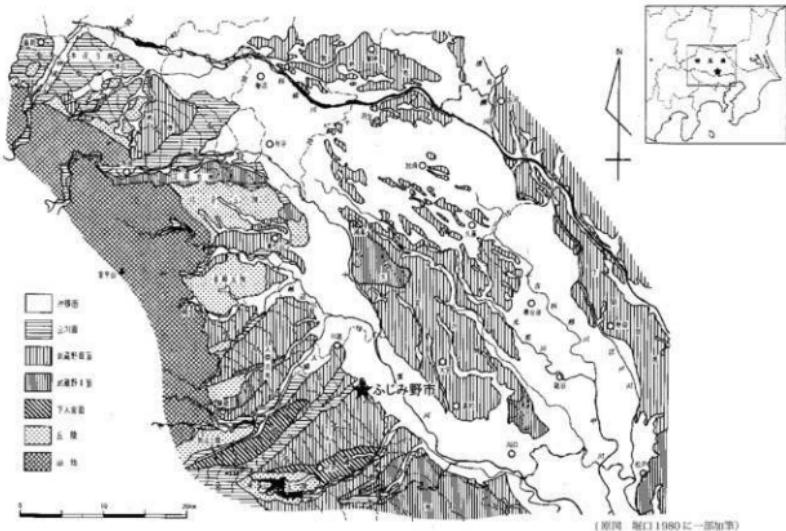
ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれ。市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

【旧石器時代・縄文時代】 市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡(川越市)が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺

跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れ。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手(北側)を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期開山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ舞遺跡では、旧石器時代立川ローム第IV層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。



第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

福岡江川の900m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡（富士見市）で立川ロームⅢ層～X層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狹山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連続と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】 荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山北古墳群）3基がある。ハケ遺跡第16地点の調査（2014）で、古墳の周溝から、6世紀中葉とみられる複数の人物埴輪と円筒埴輪が新たに発見されたが、古墳の形態や主体部については不明である。また第19地点の調査（2015）では6世紀代の円墳3基が新たに発見され、群集墳であることが判明した。

他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】 7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が

存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉～9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な鉄製遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。またハケ遺跡からは鈎帯金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

【中世】 駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、藏骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘毬などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半～17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、淨禪寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】 近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地蔵院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である淨禪寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などまとまった遺構と遺物が確認されている。また鶴森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製作所（通称造兵廠「火工廠」）の跡地で、防爆土壁・防空壕・水溜・消防栓・排水栓などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。

位置図



第2図 ふじみ野市遺跡分布図 (1/30,000)

第5表 ふじみ野市遺跡一覧表

No	遺跡名	主な時代	遺跡番号	No	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡 外道跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036	25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
2	鶴ヶ岡 道跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047	26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001	27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地・中・近世寺院	25-015
4	北野道跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002	28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004	29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003	30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-001
7	ハケ道跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡、6世紀代の古墳群	25-005	31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006	32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安・近世の集落跡	30-001
9	椎現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡、古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007	33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
10	瀧遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008	34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025	35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009	36	淨禪寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030	37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046	38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
15	富士見台横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-011	39	大井氏館跡遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023	40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
17	松山遺跡	奈良・平安。中・近世の集落跡	25-010	41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
18	天神道跡	古墳中期の散布地	25-018	42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
19	城山遺跡	中・近世の鉢跡	25-019	43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、鉄道遺跡	30-024
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020	44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-048
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007	45	石塔	中世の散布地	30-027
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045				
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009				
24	亀久保保跡遺跡	中世の堀跡	30-006				

第6表 繩文時代中期時期細分対比表

本書	2018	安孫子昭二 鈴木・山本 ①	1988 1988 ②	植木 弘 ③	1994 ④	黒尾と久 1995 ⑤	谷井 他 1982 ⑥	考古学協会 1981 ⑦
猪沢・阿玉台I b古	猪沢・阿玉台I b古	猪沢・阿玉台I b				1a 中 前	阿玉台I b 前IVb	II期 阿玉台出現期
勝坂I古・新道古・阿玉台I b新 勝坂II新・新道新・阿玉台II古	勝坂第I様式 II様式	勝坂I 様式 II 様式	中 期	1a 新 1b	1a 新 1b	阿玉台I b 前Va Vb		III期 (勝坂最古段階)
勝坂II古・勝内古・阿玉台II新 勝坂II新・勝内新	III様式 IV様式	III 様式 IV 様式	中 葉	2a 古 2a 新	2a 古 2a 新		VI VII	IV期 (勝坂盛時段階)
勝坂III古・戸戸民・阿玉台III古 勝坂III新・阿玉台III新	V様式 VI様式	V 様式 VI 様式	勝 後	2b 3a 3b 古 3b 新	2b 3a 3b 古 3b 新	勝 坂 式	VIII	V期 (勝坂終末)
加曾利E I古	加曾利E I様式	加曾利E I 直前 b	a b	c 1 2 3 4	1a 1b 1c 2a 2b			加曾利E I古
加曾利E I新	古相 中相 新相	加曾利E II様式	加曾利E I式	E 1 2 3 4	E 1 1b 1c 2c 2b	IXa IXb X		加曾利E I新
加曾利E II	古相 中相 新相	加曾利E 3様式	加曾利E II式	1 2 3 4	2c 古 2c 新 3a 3b 3c	XI XIIa XIIb		加曾利E II
加曾利E III		a 加曾利E 4様式	加曾利E III式	1 2 E	3b 3c 4	XIII		加曾利E III
加曾利E IV	b					XIV		加曾利E IV

第2章 鶴ヶ岡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

鶴ヶ岡遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ藤間江川に面した標高22mの台地北縁に立地する東西200m以上の広い遺跡であり、その範囲は、川越市とふじみ野市にまたがっている。表面採集の遺物として、縄文早期のほか中期の各時期、平安時代の土器が知られており、複合遺跡である事を示している。表面採集の遺物は北の崖面寄りが密であり、住居などの集中部分と思われる。この部分のうち、ふじみ野市鶴ヶ岡八幡神社に接する川越市域部分で、1988年に調査が行われたが、その際に勝坂期末の住居1軒・加曾利EⅠ新期の住居1軒・加曾利EⅣ期の土坑などが検出され、ほぼ完形の有孔鍔付土器を含む大量の土器と石器若干が出土している。また、本遺跡の下流にある西遺跡の一部が1992年以降の試掘・発掘調査で、阿玉台Ⅰ期・勝坂期Ⅱ～Ⅲ期、加曾利EⅢ期の住居など24軒が、確認または検出されている。

ふじみ野市、川越市にまたがる本遺跡のうち、ふじみ野市分は1991年に旧大井町の体験学習園開設のため初めて試掘調査を実施し、2018年4月現在、7地点で試掘調査、本調査を行っている。2015年7月の

第6地点の調査で、本遺跡で初めて旧石器時代と縄文時代早期の炉穴群が検出された。2001年7月に埼玉県教育委員会が本遺跡の南西側を試掘調査しているが、遺構・遺物は確認されていない。

II 鶴ヶ岡遺跡第6地点

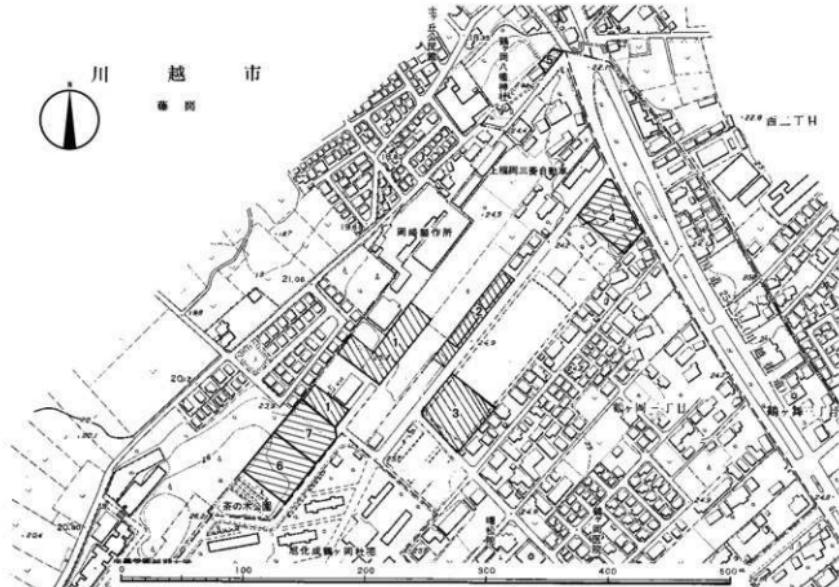
(1) 調査の概要

調査は保育園建設に伴い、2015年5月15日～27日に試掘調査、7月10日～8月19日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。

III 鶴ヶ岡遺跡第7地点

(1) 調査の概要

調査は老人ホーム建設に伴うもので、原団者より2015年10月21日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月22日～2016年1月29日に試掘調査を実施した。



第3図 鶴ヶ岡遺跡の地形と調査区(1/4,000)

試掘調査は、幅1.5~2mのトレーンチ11本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50~60cmである。調査区北西側で東西方向に延伸する根切り溝と、調査区中央やや東側で土坑1基を検出した。土坑1は縄文土器片1点が出土しているが、土層の観察から中近世以降のものと考えられる。

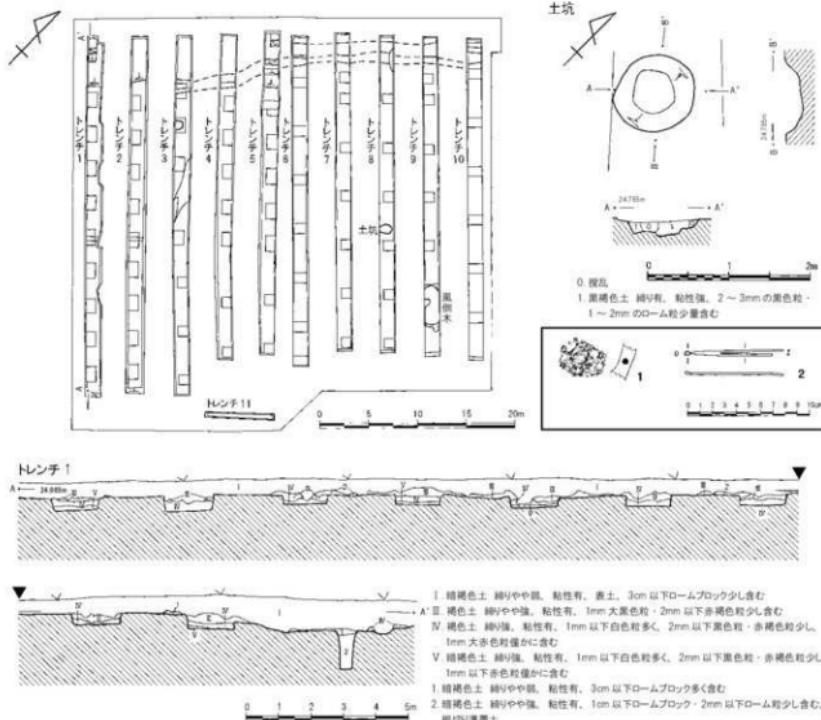
その後、旧石器時代の遺物と遺構を確認するため、トレーンチ1~10内に1.5m×2mの小トレーンチを約2m間隔で設定した。試掘調査の結果、旧石器時代の遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

土坑は調査区中央部やや西寄りのトレーンチ8で検出した。平面形態は円形で、確認面径100×95cm、底径52×52cm、深さ24.6cmである。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。出土遺物はない。

出土遺物はすべて表土中からである。1は縄文土器片で、外面の摩耗が激しく詳細は不明。胎土に雲母を比較的多く含む。2は銅製の簪で長さ8cm、幅0.45cm、厚さ0.22cmである。根本は折れて欠落する。先端に耳かきが付くタイプで18世紀以降のものであると考えられる。

第7表 鶴ヶ岡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1 鶴ヶ岡3-3-1-21		(1991.6.26~7.17)	5,710	体験学習園整備	遺構なし、縄文土器片、残	町内通路群1
2 鶴ヶ岡3-16-1-14		(2000.4.6~2000.5.16)	1,327	共住宅	遺構なし、旧石器、縄文土器片	町内通路群X
3 鶴ヶ岡3		(2005.1.7)	2,059	個人住宅	遺構・遺物なし	町内通路群XII
4 鶴ヶ岡3-18-1-12, 23-3, 26-6		(2005.3.12)	1,742	店舗	土坑、縄文土器片	市内通路群2
5 鶴ヶ岡3-1-1			235.5	神社社務所	遺構なし、縄文土器片	市内通路群18
6 鶴ヶ岡3-18-23		(2015.5.15~27) 2015.7.10~8.19	1,983.34	保育園	旧石器時代石器集中1、縄文時代伊弉諾2	市内通路群19
7 鶴ヶ岡3-3-20-21		(2015.12.22~2016.1.29)	1,731.79	老人介護施設	土坑1、埋葬埋他2、風倒木1	市内通路群21



第4図 鶴ヶ岡遺跡第7地点遺構配置図(1/500)、土層(1/150)、土坑(1/60)、出土遺物(1/4)

第3章 西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

西遺跡は、藤間江川に面した標高 22m の台地北縁、低地との比高差 8m 以上の急峻な崖面上に立地する南北 150m、東西 200m 以上の遺跡である。上福岡駅まで約 600m に位置する利便性のため、早くから宅地開発が進み遺跡の大部分は住宅地となっている。

周辺の遺跡は、西側に隣接して縄文時代中期の集落である鶴ヶ岡遺跡、川越市八幡神社遺跡がある。約 800m 上流に旧石器時代の礫群・石器群が広がる鶴ヶ岡外遺跡がある。また、藤間江川の支谷をはさんだ対岸には川越市藤原町遺跡があり、八幡神社遺跡とともに縄文時代の集落が広がる。さらに下流へ向かうと、「川崎貝塚」として著名な川崎遺跡、川崎横六墓群があり、旧石器時代から縄文・古墳・飛鳥・奈良・平安・中・近世にわたる複合遺跡となる。

本遺跡は 1992 年 3 月、駐車場造成に伴い約 3,000 m² が発掘調査され、縄文時代中期中葉の勝坂期～加曾利 E I 期の住居跡 17 軒、集石土坑や土坑等を多数検出、1996 年の第 2・3 次調査でも縄文集落を検出し、弧状に分布する縄文集落が明らかとなってきた。2018 年 4 月現在、16 ケ所で試掘及び発掘調査が行なわれ、時期不明の溝跡等も検出している。主たる時代は縄文時代中期である。

II 西遺跡第 2 地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 4 月 14 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は 2015 年 5 月 27 日～29 日まで行った。幅 1 ～ 1.8m のトレンチ 11 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 25 ～ 40 cm である。調査の結果、縄文時代の住居跡 3 軒、集石土坑 3 基以上、土坑、ピット多数を検出した。遺構への影響が避けられないため本調査が必要であったが、その後開発計画が中止となった。そのため、写真撮影・全測図等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

今回の調査では、縄文時代住居跡と土坑、ピットのプランを確認した。遺構の規模や性格を確認するため、部分的にサブトレンチを設定し掘削を行ったが、大部分は未掘のままである。その際に出土した遺物を第 9 図及び観察表を第 10 表に掲載した。



第 5 図 西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

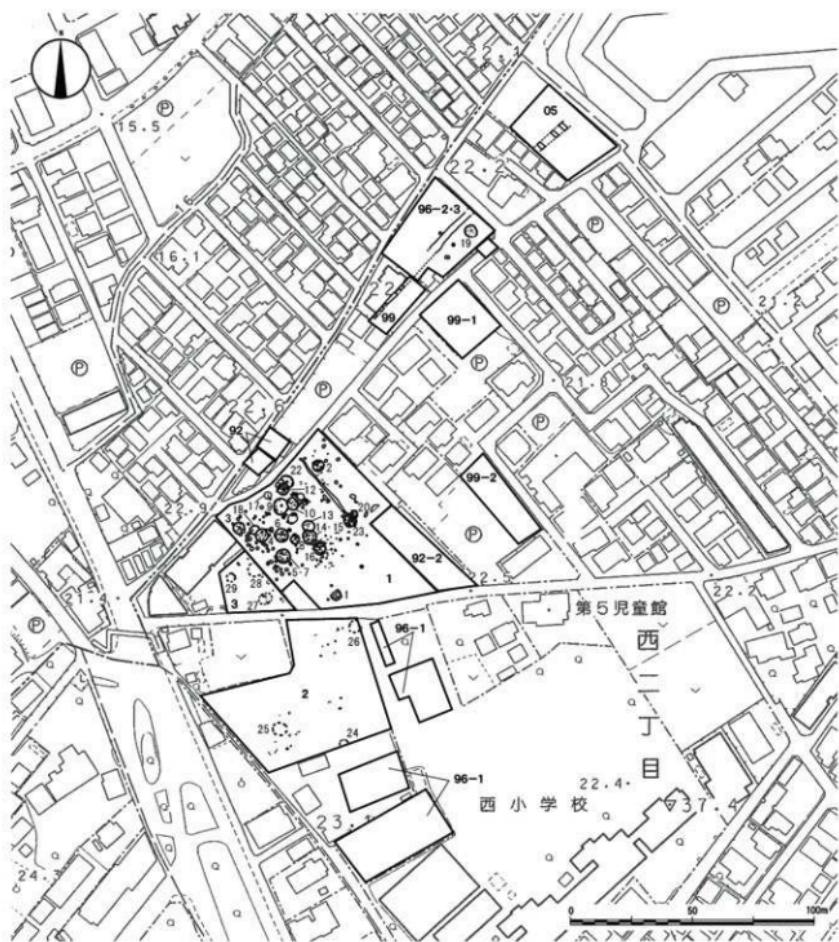
第8表 西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1991年試	西2-5905	1991.7.23~7.31 (1992.1.14~3.19)	350 3,061	防火水槽 駐車場	遺構・遺物なし 遺構・遺物なし	埋蔵文化財の調査(14) 土堀岡市深時調査合報書第2集、 土堀岡市文資料編第1巻自然史・考古
第1次	西2-2068	1992.3.23~5.2	200	共同住宅	遺構・遺物なし	埋蔵文化財の調査(15)
1992年試(1)	西2-1845	1992.4.24~25	200	共同住宅	遺構・遺物なし	埋蔵文化財の調査(15)
1992年試(2)	西2-2068-2	1992.12.3~12.9	559.2	共同住宅	縄文中期住居17、集石遺構17、土坑65	埋蔵文化財の調査(15)
第2次	西2-2072-8	1996.5.29~6.5	100	個人住宅	縄文中期住居1、溝1、縄文土器、石器	埋蔵文化財の調査(19)
第3次	西2-2072-12	1996.6.6~6.14	111.2	個人住宅	土坑2、窓石坑、溝、縄文土器、石器	埋蔵文化財の調査(19)
1996年試	西2-2071-1	1996.5.21~5.28	1,146.2	宅地造成	縄文中期住居17、集石土坑、溝(第2・3次地点試掘調査)	埋蔵文化財の調査(19)
1996年試(1)	西2-5891-3地	1996.7.17	1,400	ブル改築		土堀岡市の社会教育(平成8年度)
1996年試(2)	西2-1827-2	1996.10.16	47.4	個人住宅	遺構・遺物なし	土堀岡市の社会教育(平成8年度)
1999年試(1)	西2-1828-1	1999.4.23~26	497.6	共同住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(22)
1999年試(2)	西2-1835-4	1999.5.14~17	324	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(22)
2001年試	西2-1833-3~4	2001.4.9~11	202.5	宅地造成	溝1条、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(24)
第1地主	西2-2068-1~3~4~ 2069-1	(2007.3.12~26、4.2~ 20)2007.4.8~8.1	3,467	共同住宅及び 分譲住宅	縄文中期住居跡3、集石土坑6、土坑12、ビット68、溝1	市内遺跡群4
第2地主	西2-5905-1	(2015.5.27~29)	2,393	共同住宅	縄文住居跡3、集石土坑3、土坑4、ビット1	市内遺跡群22
第3地主	西2-2071-1	(2016.1.25~27)	476	共同住宅	縄文住居跡3、集石土坑1、土坑2、ビット3	市内遺跡群22
第4地主	西2-5904-1の一部、 2の一部	(2016.7.27~28)	489	集合住宅	遺構・遺物なし	未報告

第9表 西遺跡縄文時代住居跡一覧表

住居 番号	調査 年度	遺構名	調査率 ()は推定	平面形 ()は推定	規 模	炉			備 考	文 献
						地床	炉体	石器		
1	1992	第1次1号住	丸窓	円~椭円形	440×440×45 290×290×45	○/2			勝坂期	2度以上建替
2	1992	第1次2号住	丸窓	円形	440×460×35 380×380×35	○	○		勝坂Ⅲ古	3度建替+大型打製石器
3	1992	第1次3号住	丸窓	円形	450×450×35 370×370×35	○			～勝坂Ⅲ	2度以上建替
4	1992	第1次4号住	丸窓	円形	560×540×64 415×380×64	○	○		勝坂Ⅲ	3度以上建替
5	1992	第1次5号住	丸窓	椭円形	505×480×50	○/2		○	～加曾利E I古	7号住と重複、2度以上建替
6	1992	第1次6号住	丸窓	椭円形	550×530×55 420×380×55	○/2	○		～勝坂Ⅲ	2~3度建替
7	1992	第1次7号住	丸窓	円形	440×370×55		○	○	加曾利E I古	5号住と重複、2度以上建替
8	1992	第1次8号住	丸窓	椭円形	370×340×20 280×280×20	○			～勝坂Ⅲ	埋土層から阿玉台II式土器出土
9	1992	第1次9号住	丸窓	椭円形	640×620×25 580×570×25		○		勝坂一期曾利E	勝坂期中葉土器片
10	1992	第1次10号住	丸窓	椭円形	515×440×25 470×380×25	○			～勝坂Ⅲ	建替有
12	1992	第1次12号住	丸窓	円形	450×450×30 350×350×30	○			～勝坂Ⅲ	2度以上建替
13	1992	第1次13号住	丸窓	円形	(460)×460	○/2			阿玉台I b、底凹	14号住15号住と重複
14	1992	第1次14号住	丸窓	椭円形	560×440×40		○	○	～勝坂Ⅲ	15号住より古、2度以上建替
15	1992	第1次15号住	丸窓	椭円形	450×350×45	○	○	○	勝坂Ⅲ	2度以上建替
16	1992	第1次16号住	丸窓	椭丸六角形	(470)×450×20 390×400×20	○/2	○	○	勝坂Ⅱ	埋土層から多量の土器出土
17	1992	第1次17号住	丸窓	(椭円形)	(350)×(300)	○			勝坂～加曾利E	
18	1992	第1次18号住	丸窓	椭円形	350×(406)×5	○			勝坂～加曾利E	4号住と重複
19	1998	第2次19号住	丸窓	円形	450×450	○		○	勝坂Ⅱ	埋蔵文化財の調査(19)
20	2007	20号住勝跡	丸窓	椭円形	310×248×24		なし		勝坂Ⅱ	勝坂～勝坂II式土器出土
22	2007	22号住勝跡	丸窓	椭丸六角形	(580)×520×--	○			勝坂～加曾利E	埋土に勝坂I～加曾利E式土器含
23	2007	23号住勝跡	丸窓	円～椭円形	508×465×9	○/2			加曾利E II	伊体土器加曾利E II、漆器文系
24	2015	24号住勝跡	トレンチ	不明	(355)×(101)×9		なし			市内遺跡群22
25	2015	25号住勝跡	トレンチ	不明	570×(135)×12		なし			市内遺跡群22
26	2015	26号住勝跡	トレンチ	不明	(305)×(135)×13.5		なし			市内遺跡群22
27	2015	27号住勝跡	トレンチ	不明	423×(255)×30.1	○	○		伊跡のみ検出	市内遺跡群22
28	2015	28号住勝跡	トレンチ	不明	509×(134)×59.5		なし			市内遺跡群22
29	2015	29号住勝跡	トレンチ	不明	300×(125)×30.2		なし			市内遺跡群22

西遺跡第1次調査概要、
上福岡市文資料編第1巻
自然史・考古



第6図 西遺跡遺構分布図(1/2,000)

①住居跡

住居跡は少なくとも3軒以上が存在するとみられる。検出は行っていない。プランの規模を第9表に掲載する。

②土坑

今回確認した土坑4基も検出は行っていない。調査実施時は1~5まで付番していたが、図面等を精査した結果、4が欠番となった。

【土坑1】トレンチ3西側で確認した。平面形態は不明。確認面径79×(25)cm、底径62×(17)cm、深さ25.6cmである。出土遺物はない。

【土坑2】トレンチ3中央やや西側で確認した。平面形態は不明。確認面径102×(48)cm、底径80×(43)cm、深さ16.8cmである。出土遺物はない。

【土坑3】トレンチ3西側、土坑2より約3m西側で

確認した。平面形態は不明。確認面径95×(89)cm、底径72×(36)cm、深さ44.8cmである。出土遺物はない。

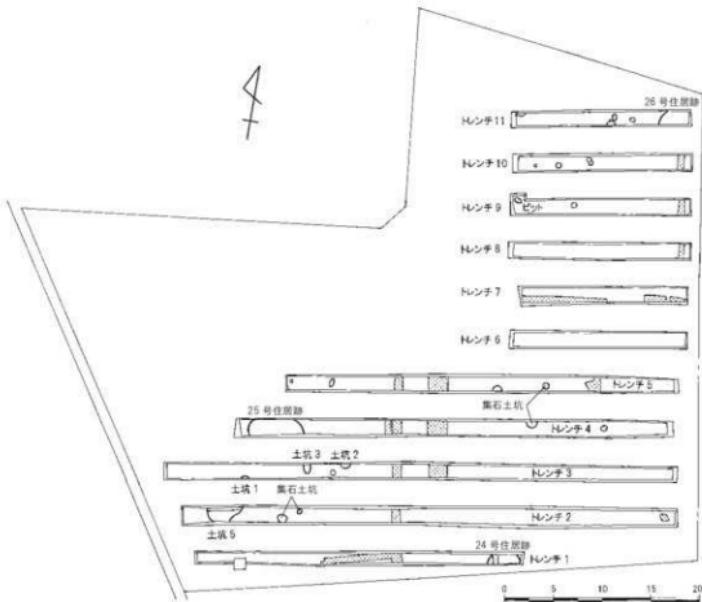
【土坑5】トレンチ2西側で確認した。平面形態は不明。確認面径362×(152)cm、底径333×(131)cm、深さ6.3cmである。出土遺物はない。

③ピット

ピットは調査区北側のトレンチ9で検出した。平面形態は不整形で、遺構の規模は確認面径70×60cm、底径9×9cm、深さ70.1cmである。縄文土器片2点が出土した。

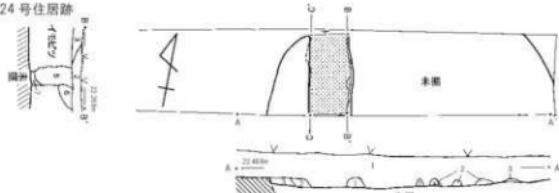
④出土遺物

出土遺物については第9図及び観察表を第10表に掲載した。

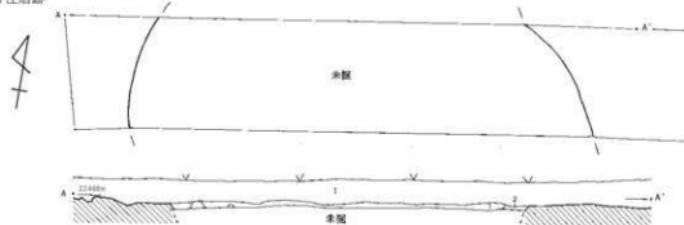


第7図 西遺跡第2地点遺構配置図(1/500)

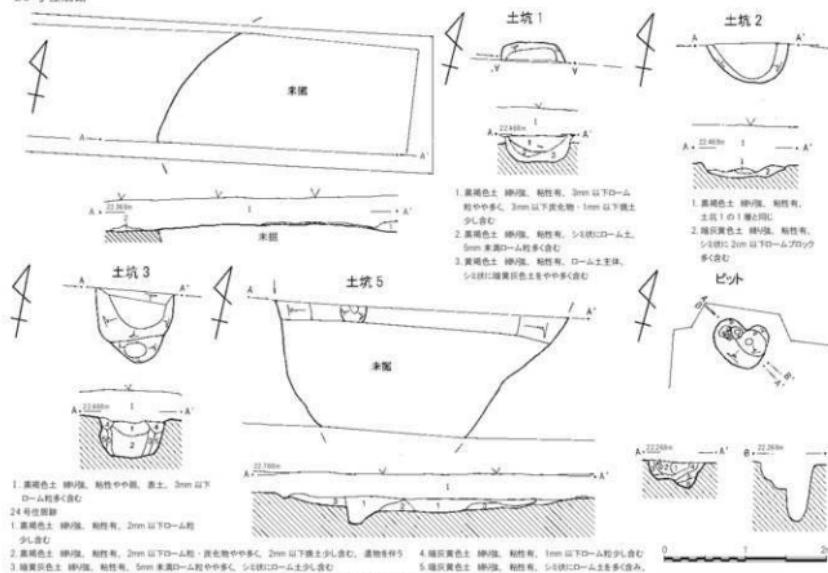
24号住居跡



25号住居跡



26号住居跡



1. 黒褐色土 砂少泥多。粘性有。3mm以下ローム粒や砂多く。3mm以下黄化物・1mm以下鐵少く含む

24号住居跡

1. 黒褐色土 砂少泥多。粘性有。2mm以下ローム粒少く含む

2. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。2mm以下ローム粒。鐵也多く。2mm以下鐵少し含む

3. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。5mm未満ローム粒や砂多く。鐵也少く含む

4. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。3mm以下ローム粒少く。1mm以下鐵少く含む

5. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。5mm未満ローム粒多く。5mm以上鐵也少く含む

6. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。ソフローム土主体。3mm以下ローム粒多く。2mm以下黃化物少し含む

7. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。3mm以下ローム粒多く。1mm以下ローム粒少く。2mm以下黃化物少し含む

25号住居跡

1. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。2mm以下ローム粒少く。2mm以下鐵少し含む。色黒褐色土層

2. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。2mm以下鐵少し含む

26号住居跡

1. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。5~10mmローム粒多く。3mm以下鐵少し含む

2. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。2mm以下ローム粒。3mm以下鐵少し含む

土坑 1

1. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。2mm以下ローム粒。1mm以下鐵少し含む

2. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。1mm以下ローム粒。1mm以下鐵少し含む

3. 黄褐色土 砂少泥多。粘性有。1~5mmローム粒多く。1mm以下鐵少し含む

4. 黄褐色土 砂少泥多。粘性有。1mm以下ローム粒。1mm以下鐵少し含む

5. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。1~2mmローム粒多く。1mm以下鐵少し含む

6. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。1~2mmローム粒少く。1~2mmローム粒多く。5~10mm黃褐色土層

少く含む

1. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。3mm以下ローム粒や砂多く。3mm以下黃化物・1mm以下鐵少く含む
2. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。ソフローム土多く含む
3. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。1mm以下ローム粒主張。少く含む

1. 黑褐色土 砂少泥多。粘性有。土坑 1 の層と同じ
2. 黄褐色土 砂少泥多。粘性有。ソフローム土多く含む

シロジ 2cm 以下ローム層多く含む

ビット

全土色黒褐色

第8図 西遺跡第2地点24~26号住居跡・土坑・ビット(1/60)

24号住居跡



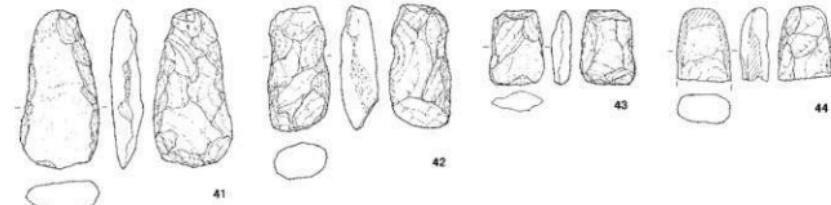
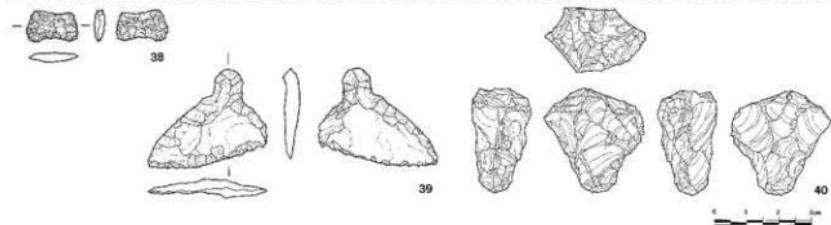
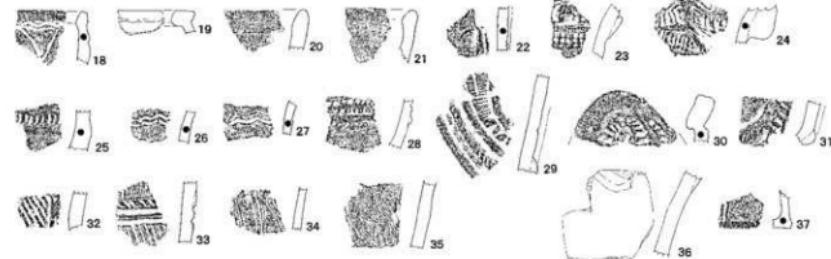
25号住居跡



26号住居跡



遺構外



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10mm

第9図 西遺跡第2地点出土遺物 (1/4・2/3)

III 西遺跡第3地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2015年11月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年1月25日～27日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1.5～1.8mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

試掘調査の結果、縄文時代住居跡3軒と集石土坑1基、土坑2基を確認した。確認面までの深さは70～80cmで、30cm以上の保護層が確保できるため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を

行つたうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

今回の調査では縄文時代住居跡と土坑のプランのみを確認、また集石土坑は規模を確認するため一部調査を行つたが、大部分は未掘のままである。

出土遺物は第13～16図及び観察表を第13表に掲載した。

①住居跡

今回の調査では縄文時代の住居跡を3軒確認した。詳細は第9表に掲載した。

[27号住居跡]

トレンチ2南東部で確認した。前述のとおり住居跡全体の検出は行つていないが、炉とピットのみ検出

第10表 西遺跡第2地点出土遺物観察表（単位cm・g）

回収番号	出土遺構	形態／部位	地文／施文／備考	時期／型式
第9回-1	24号住居跡	深鉢／口縁部	口縁に凹印／胎土に雷母含む	中期／縄文
第9回-2		深鉢／口縁部	突起部／連續刻突／胎土に円形文	中期／縄文
第9回-3		深鉢／口縁部	楕円孔／縄文	中期／縄文
第9回-4		浅鉢／口縁部	内外面三ガキ	中期
第9回-5		深鉢／胴部	剖面隆起／胎土に刻み、沈線による波状文	中期／縄文
第9回-6		深鉢／胴部	押引文、波状文	中期／縄文
第9回-7		深鉢／胴部	壇面、沈線による区画、区画内凹印と舟形の刻突	中期／縄文
第9回-8		打製石斧	長さ:8.7、幅:5.0、厚さ:2.2、重量:93.04g/石材:細粒砂岩／完形	—
第9回-9		浅鉢／口縁部	口縁と隆起上に刻突／弧状の隆起の下位に半輪竹状工具を連續刻突	中期／縄文
第9回-10	25号住居跡	深鉢／口縁部	楕円孔／縄文、楕円の沈線、隆起による区画	中期／加賀利E-I
第9回-11		深鉢／胴部	剖面隆起による区画	中期
第9回-12		深鉢／胴部	レジスト	中期
第9回-13		深鉢／胴部	レジスト	中期
第9回-14	26号住居跡	深鉢／口縁部	口縁に刻突／隆起面に連續丸形文、区画内に連續刻突	中期／縄文
第9回-15		打製石斧	長さ:8.7、幅:6.0、厚さ:1.8、重量:(96.61)/石材:ホルンフェルス／刃部欠損	中期
第9回-16		深鉢／口縁部	口縁に凹印／隆起面、区画内に押引文／胎土に雷母含む	中期／阿玉台II
第9回-17	P1	胴部	中央に2列の押引文、周縁部に押引文／内面赤彩	中期／縄文
第9回-18		深鉢／口縁部	棒状工具による沈線／胎土に雷母含む	中期／阿古台II
第9回-19		浅鉢／口縁部	外面三ガキ	中期／加賀利E
第9回-20		深鉢／口縁部	無文	中期
第9回-21		浅鉢／口縁部	内外面三ガキ	中期
第9回-22		深鉢／口縁部	2列の押引文、背面三角形の隆起／胎土に雷母・石英岩含む	中期／阿玉台II
第9回-23		深鉢／胴部	ヒダ状の隆起、その下位に3列の押引文	中期／縄文
第9回-24		深鉢／口縁部	壇面輪郭に楕円の連續丸形文／胎土に雷母含む	中期／阿古台II
第9回-25		深鉢／胴部	波状沈線／連續丸形文／胎土に雷母含む	中期／縄文
第9回-26		深鉢／胴部	2列の波状沈線／胎土に雷母含む	中期／阿玉台II
第9回-27		深鉢／胴部	2列の波状沈線／胎土に雷母含む	中期／縄文
第9回-28		深鉢／胴部	壇面輪郭に押引文	中期／縄文
第9回-29		深鉢／胴部	剖面隆起、胎土に沈線、区画内刻み充填	中期／縄文
第9回-30		深鉢／口縁部	突起部／溝巻状に押引文／胎土に雷母含む	中期／阿古台II
第9回-31		深鉢／胴部	剖面隆起	中期／縄文
第9回-32		深鉢／胴部	沈線による区画、斜位の辺縁を充填	中期／縄文
第9回-33		深鉢／胴部	楕円孔貫通、剖面隆起	中期／縄文
第9回-34		深鉢／胴部	3本1組の沈線	中期
第9回-35		深鉢／胴部	絞位、斜位の4本1組の多段工具による沈線	中期
第9回-36		深鉢／胴部	張拂の痕跡	中期
第9回-37		深鉢／底部	沈線／胎土に雷母含む	中期／阿玉台
第9回-38		石礫	長さ:1.0、幅:1.6、厚さ:0.3、重量:(0.51)/石材:黒曜石／上半部欠損	—
第9回-39		石礫	長さ:3.0、幅:1.6、厚さ:0.5、重量:4.15g/石材:チャート／完形	—
第9回-40		石核	長さ:3.2、幅:3.1、厚さ:1.8、重量:14.27g/石材:黒曜石	—
第9回-41		打製石斧	長さ:12.9、幅:6.5、厚さ:2.5、重量:268.63g/石材:ホルンフェルス／完形	—
第9回-42		打製石斧	長さ:10.2、幅:5.1、厚さ:2.9、重量:214.77g/石材:細粒砂岩／完形に敲打痕	—
第9回-43		打製石斧	長さ:5.1、幅:4.6、厚さ:1.6、重量:58.57g/石材:泥岩／完形	—
第9回-44		打製石斧	長さ:6.1、幅:4.9、厚さ:2.4、重量:(110.4)/石材:ホルンフェルス／刃部欠損／側面および表上端部に摩滅有り	—

を行った。

炉は住居跡北側に位置し、部分的に水道管の搅乱で破壊される。口縁部・底部共に欠損する縄文土器を正面に設置した埋甕炉である。残存規模は長軸(74)cm、短軸68cm、深さ23cmである。

ピットは住居内で3基検出した。そのうちピット1及び2が主柱穴である。詳細については第11表に掲載した。

[28号住居跡]

トレンチ1で確認した。未検出のため確認面での規模は509×(134)cm、サブトレンチ部分で確認した深さは59.5cmである。

[29号住居跡]

トレンチ3で確認した。トレンチ内で検出したところ、遺構の規模は300×(125)cm、深さ30.2cmと非常に浅い。柱穴等は未検出である。

②集石土坑

トレンチ2の北西部で確認した。北側に広がるため全容は不明である。規模等の詳細については第12表に掲載した。

③土坑

土坑1・2共にトレンチ1の中央部で検出した。

【土坑1】

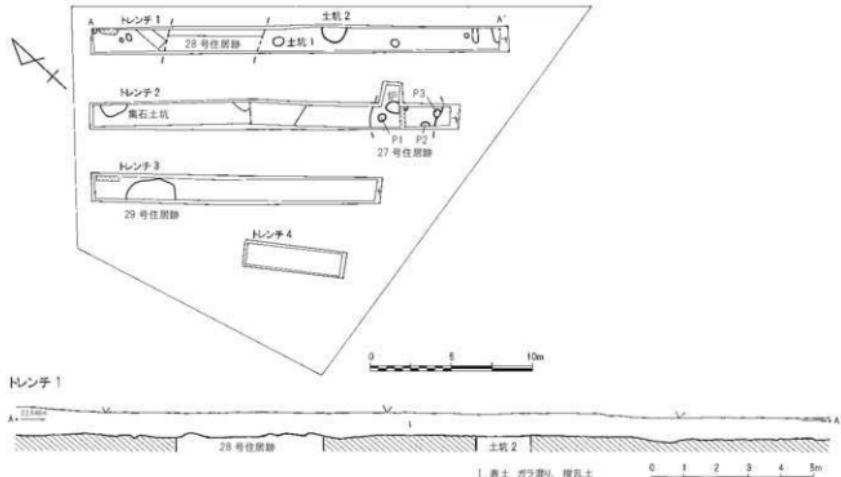
平面形態は楕円形で、確認面径87×69cm、底径35×24cm、深さ28.6cmである。縄文土器片が1点出土している。

【土坑2】

検出は行っていないため平面形態は不明。確認面径は140×(90)cmである。覆土中より縄文土器片が1点出土している。

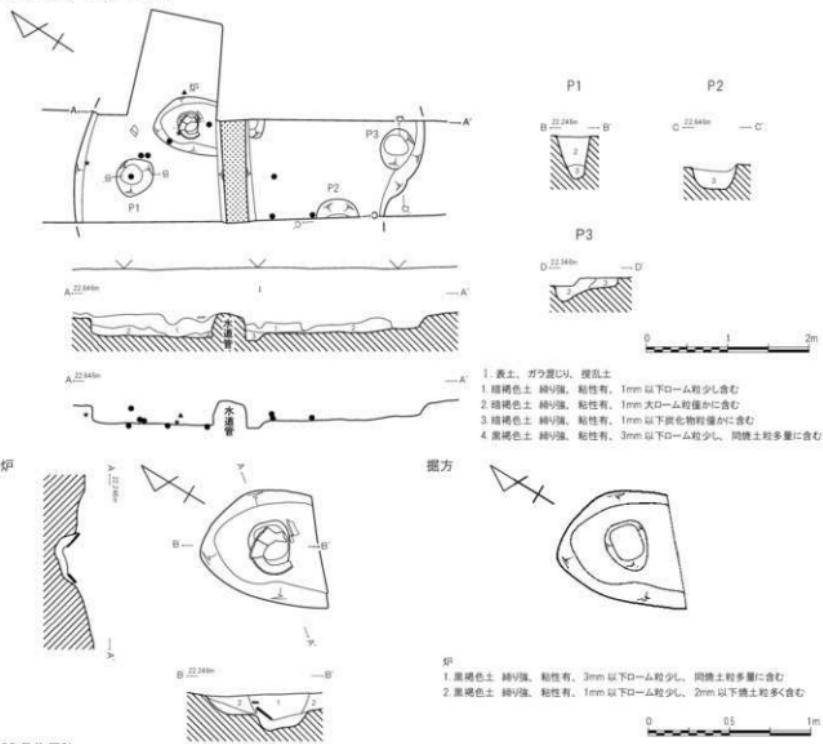
第11表 西遺跡第3地点J27号住居内ピット一覧表
(単位cm)

No	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円形	50×43	28×24	54.4	
2	不明	51×(24)	30×(5)	28.9	
3	不明	48×40	30×25	21.5	



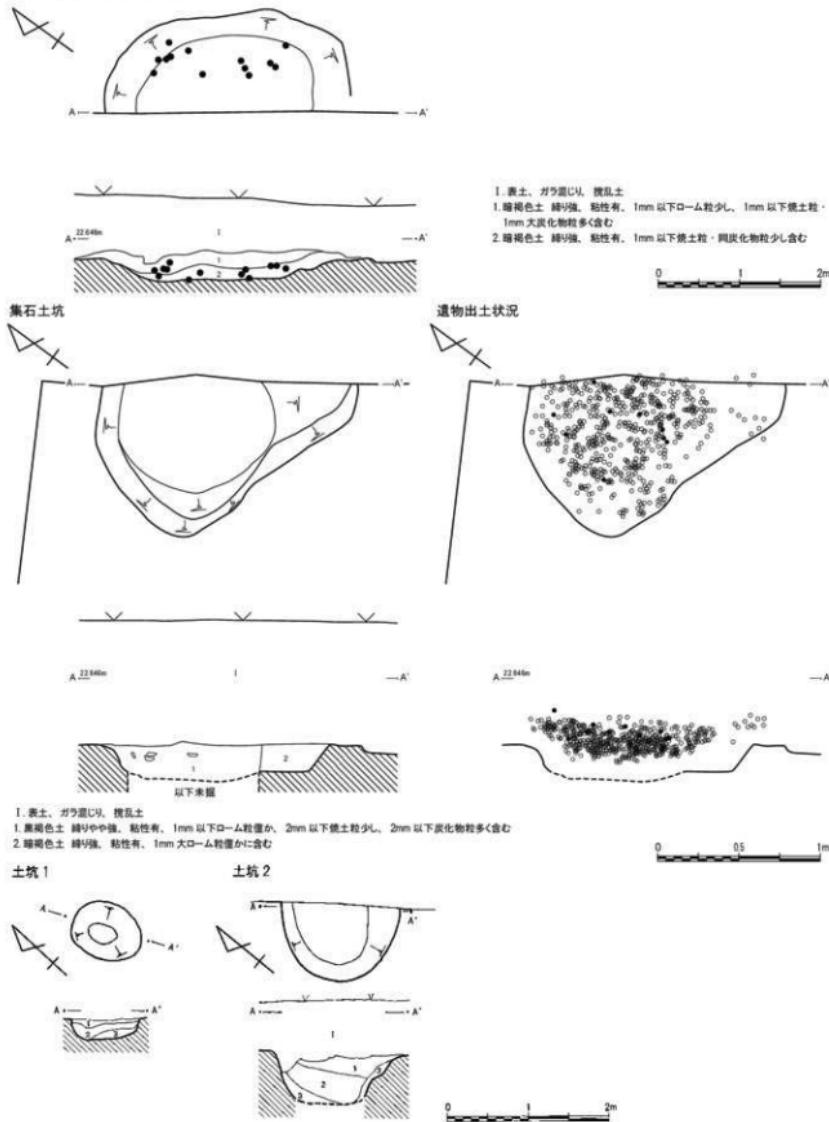
第10図 西遺跡第3地点遺構配図(1/300)、土層(1/150)

27号住居跡・遺物出土状況



第11図 西遺跡第3地点 27・28号住居跡(1/60)、炉(1/30)

29号住居跡・遺物出土状況

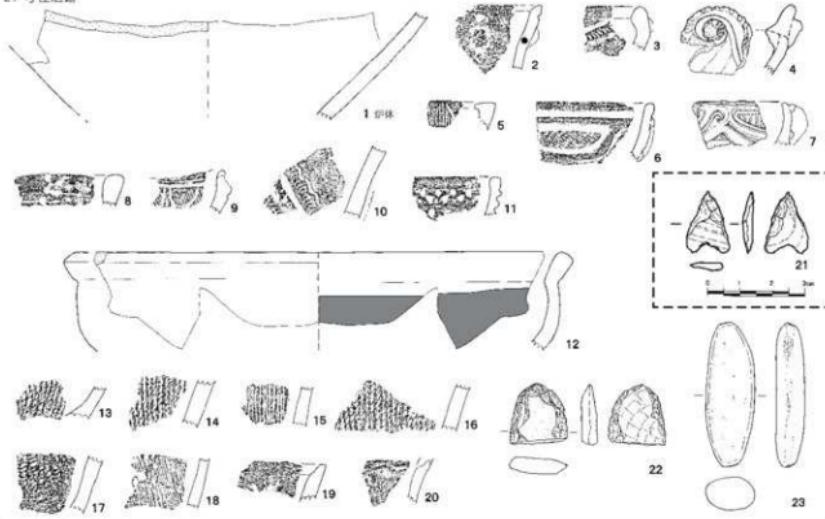


第12図 西遺跡第3地点 29号住居跡・土坑(1/60)、集石土坑(1/30)

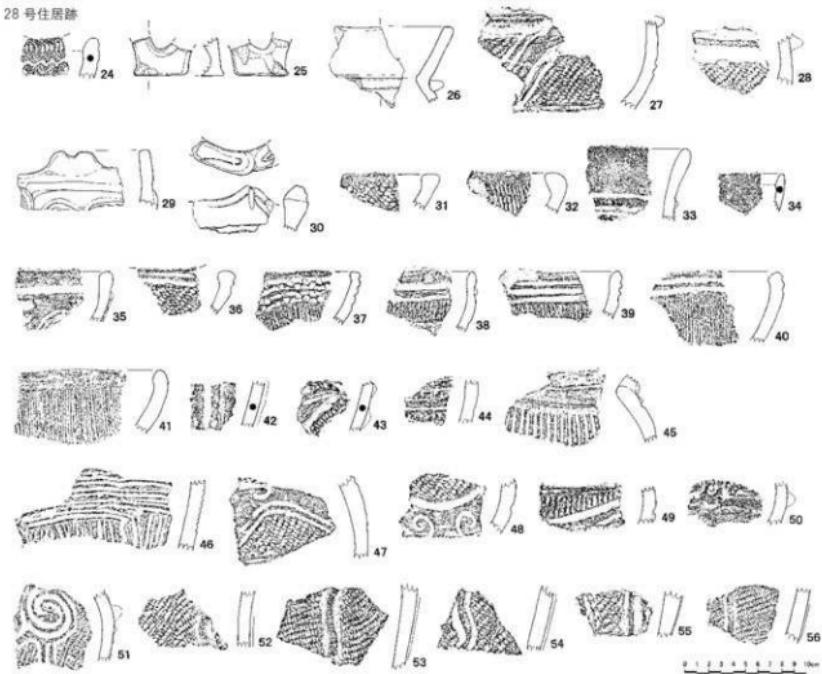
第12表 西遺跡第3地点集石土坑・出土礫観察表(単位cm・g)

%	平面形態	塊状面積	面積	深さ	総点数	回収量	平均面積	破損数	完形数	残成数	未発成数	ターレル・復付面積	ターレル・復付面積	面積
1	不規	156×99	96×73	22.6	543	77,176.35	142.33	473(87.11%)	70(12.89%)	445(81.05%)	98(18.05%)	400(73.66%)	343(26.34%)	

27号住居跡

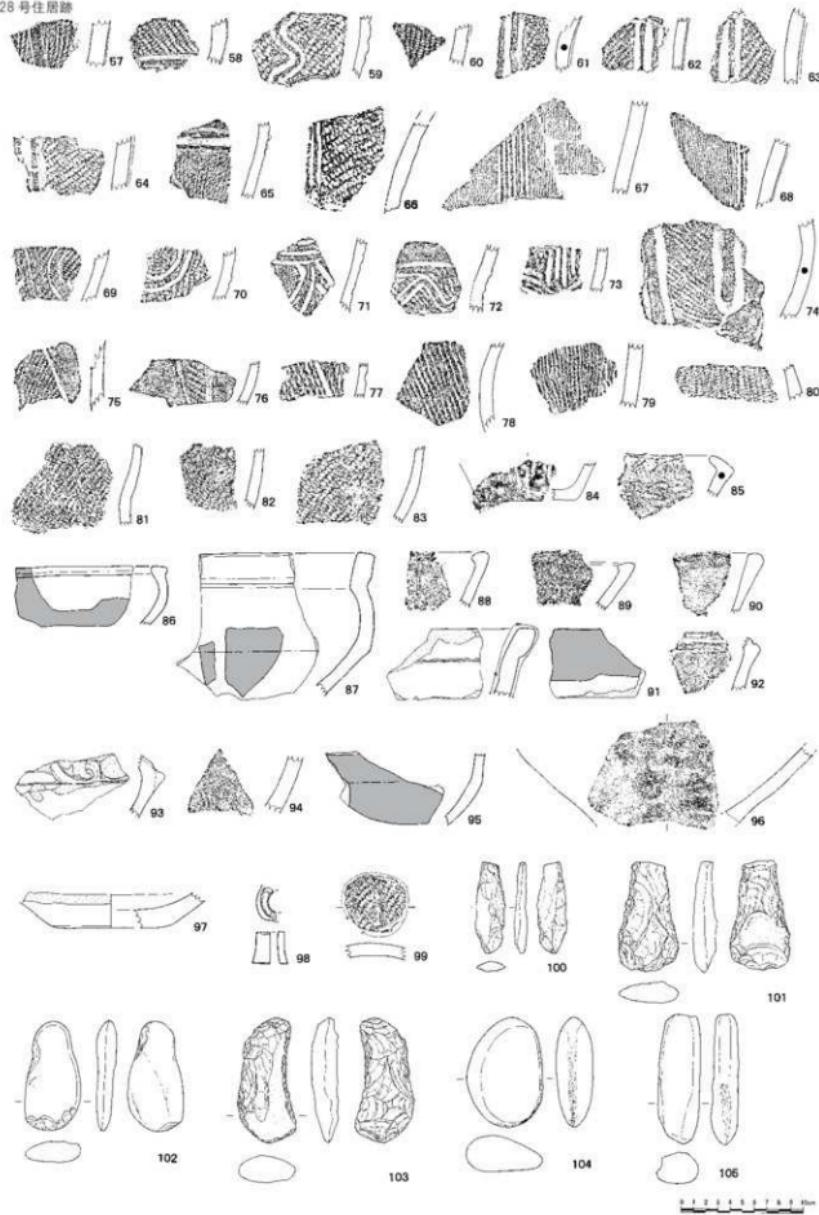


28号住居跡



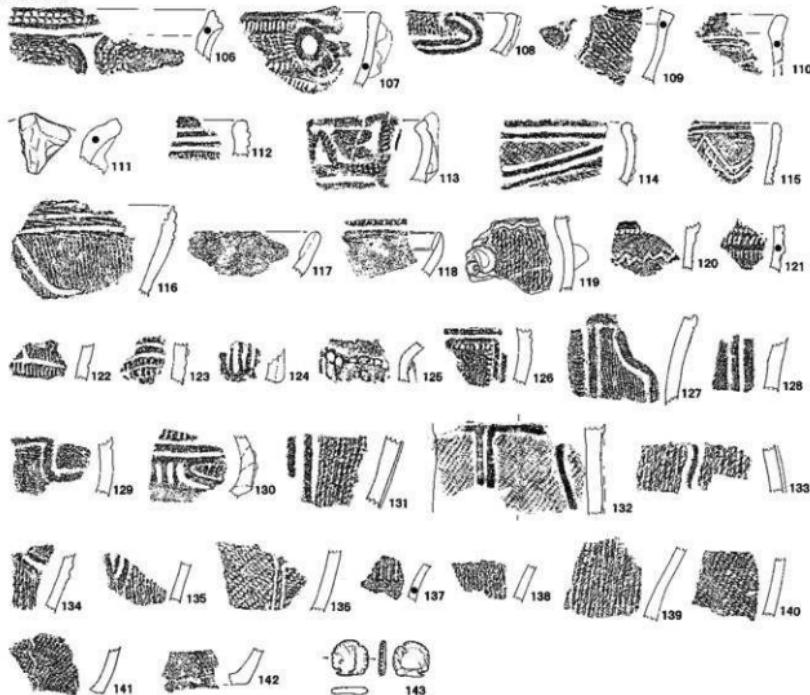
第13図 西遺跡第3地点出土遺物①(1/4・2/3)

28号住居跡

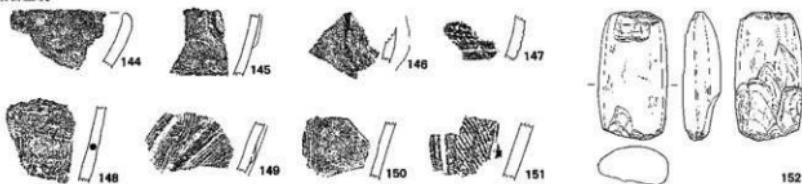


第14図 西遺跡第3地点出土遺物②(1/4)

29号住居跡



集石土坑



土坑 1



土坑 2



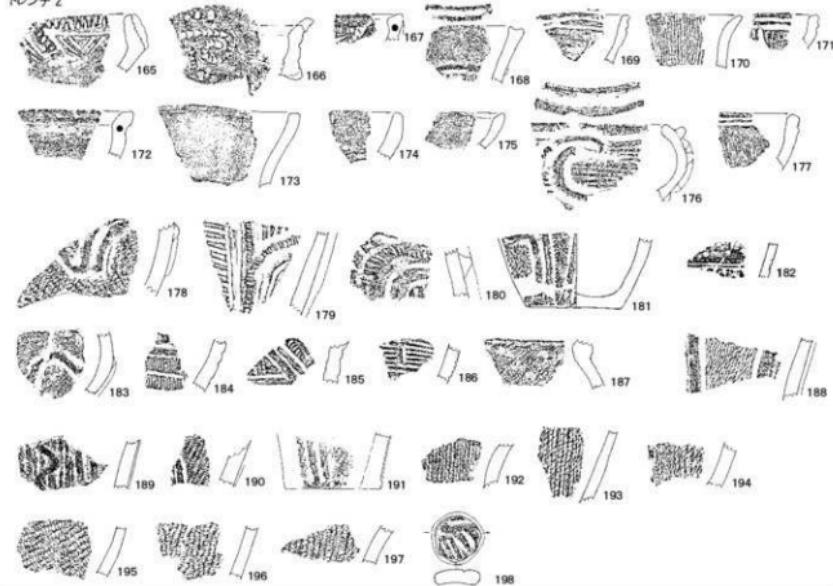
レンチ 1



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第15図 西遺跡第3地点出土遺物③(1/4)

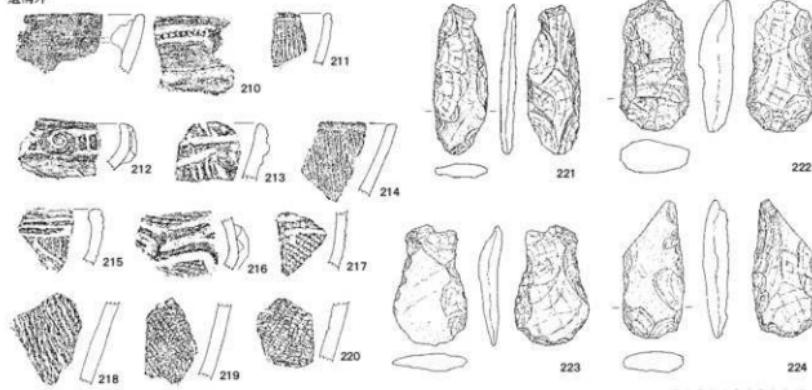
レン2



レン3



遺構外



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第16図 西遺跡第3地点出土遺物④(1/4)

第13表 西遺跡第3地点出土遺物観察表（単位：cm・g）

回収番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式	回収番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第13B-1	浅鉢/頭部	伊体器皿/内面に被る熟度	中期		第14B-58	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文、縦帯による蛇	中期/加曾利E I	
第13B-2	深鉢/口縁部	円筒の柄り付け文、横目、斜角の 頭(?)に附土に書有字	中期/玉台II		第14B-59	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による蛇	中期/加曾利E II	
第13B-3	深鉢/口縁部	付由縫帶	中期/頭部II		第14B-60	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による蛇	中期/加曾利E I	
第13B-4	深鉢/口縁部	突起部(切み)を持つ済用具の隆帶	中期/頭部II		第14B-61	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による蛇	中期/加曾利E I	
第13B-5	深鉢/口縁部	縦位頭系	中期		第14B-62	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による蛇	中期/加曾利E I	
第13B-6	深鉢/口縁部	縦位R1, 織文	中期/加曾利E II		第14B-63	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による蛇	中期/加曾利E I	
第13B-7	深鉢/口縁部	縦位R1, 黒縫、2条の平行隆帯	中期/加曾利E I		第14B-64	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による蛇	中期/加曾利E I	
第13B-8	深鉢/口縁部	縦位R1, 黒縫	中期		第14B-65	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による蛇	中期/加曾利E II	
第13B-9	深鉢/口縁部	波状口縁/地文条縫	中期/加曾利E II		第14B-66	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による蛇	中期/加曾利E II	
第13B-10	深鉢/口縁部	波状口縁、縫合隆帶、縫合に連続する形文と波状 縫合	中期/頭部II		第14B-67	深鉢/頭部	地文条縫、半截竹管工具による 3条の縫合	中期/加曾利E II	
第13B-11	深鉢/口縁部	交互立突を2条	中期/加曾利E II		第14B-68	深鉢/頭部	地文条縫、半截竹管工具による 3条の縫合	中期/加曾利E II	
第13B-12	深鉢/口縁部	内面口縁部以下黑色	中期/加曾利E		第14B-69	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。半隆起縫によ る蛇	中期/加曾利E II	
第13B-13	深鉢/底部	縫合	中期		第14B-70	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫によ る蛇	中期/加曾利E II	
第13B-14	深鉢/頭部	縦位R1, 無縫	中期		第14B-71	深鉢/頭部	地文条縫、平行沈縫による縫合文	中期/加曾利E II	
第13B-15	深鉢/頭部	縦位R1, 無縫	中期		第14B-72	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。縦帯による弱 度の縫合。縫合部は被覆状態による縫 合状況	中期/加曾利E II	
第13B-16	深鉢/頭部	縦位R1, 無縫	中期		第14B-73	深鉢/頭部	平行沈縫による縫合文、黒縫	中期/加曾利E II	
第13B-17	深鉢/頭部	利位R1, 織文	中期		第14B-74	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。U字縫による縫 合文	中期/加曾利E III	
第13B-18	深鉢/頭部	利位R1, 織文	中期		第14B-75	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による 縫合文と縫り糸	中期/加曾利E III	
第13B-19	深鉢/頭部	利位R1, 織文	中期		第14B-76	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による 縫合文と縫り糸	中期/加曾利E III	
第13B-20	深鉢/頭部	利位R1, 織文	中期		第14B-77	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による 縫合文と縫り糸	中期/加曾利E III	
第13B-21	石器	長さ:1.9、幅:1.3、厚さ:0.3、重量: (0.58)g/石材、青岩(?)一部欠損	—		第14B-78	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による縫 合文と縫り糸	中期/加曾利E II	
第13B-22	打製石斧	長さ:4.9、幅:1.4、厚さ:1.2、重 量:(47.95)g/石材、砂岩(?)一部欠 損	—		第14B-79	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による縫 合文と縫り糸	中期/加曾利E II	
第13B-23	敲石	長さ:11.8、幅:4.0、厚さ:2.4、重 量:19.06g/石材、褐岩(?)壳岩(?)尚 無、側面(?)に使用痕	—		第14B-80	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による縫 合文と縫り糸	中期/加曾利E II	
第13B-24	深鉢/口縁部	波状口縁/地文短位R1, 織文文 字、幅広、縫合の神引文	中期/頭部II		第14B-81	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による縫 合文と縫り糸	中期/加曾利E II	
第13B-25	空起部	頭部斜面に縫合片か	中期/頭部		第14B-82	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による縫 合文と縫り糸	中期/加曾利E II	
第13B-26	賀付土器/口縁部	内面各2条(26~28、47、48L の1側)	中期/加曾利E III		第14B-83	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による縫 合文と縫り糸	中期/加曾利E II	
第13B-27	賀付土器/頭部	内面各2条(26~28、47、48L の1側)による斜位の区画、三條縫引透き酒	中期/加曾利E III		第14B-84	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。平行沈縫による縫 合文と縫り糸	中期/加曾利E II	
第13B-28	深鉢/頭部	中頸/加曾利E III			第14B-85	深鉢/頭部	地文短位R1, 織文。斜位の区画	中期/加曾利E II	
第13B-29	深鉢/頭部	地文織文	中期/加曾利E III		第14B-86	深鉢/頭部	外縫三刀口/内縫三刀	中期/加曾利E II	
第13B-30	浅鉢/口縁部	頭部斜面	中期/頭部II		第14B-87	深鉢/頭部	外縫三刀口/内縫三刀、内面黑色	中期/加曾利E I	
第13B-31	浅鉢/口縁部	縦位R1, 縫合(?)口唇部剥離	中期		第14B-88	深鉢/頭部	内面三刀口	中期/加曾利E I	
第13B-32	浅鉢/口縁部	縦位R1, 無縫	中期		第14B-89	深鉢/頭部	内面三刀口	中期/加曾利E I	
第13B-33	深鉢/口縁部	平行隆縫	中期/頭部II		第14B-90	深鉢/頭部	内面三刀口	中期/加曾利E I	
第13B-34	深鉢/口縁部	胎土に書母・石英含む	中期/阿玉台		第14B-91	深鉢/頭部	内面三刀口/外縫三刀	中期/加曾利E I	
第13B-35	深鉢/口縁部	地文短位R1, 縫合(?)縫合隆帶	中期/加曾利E I ~ II		第14B-92	深鉢/頭部	内面三刀口/外縫三刀	中期/加曾利E I	
第13B-36	深鉢/口縁部	波状口縁/地文短位R1, 織文/平行沈 縫	中期/加曾利E III		第14B-93	深鉢/頭部	内面三刀口/縫合	中期/加曾利E I	
第13B-37	深鉢/口縁部	地文短位R1, 縫合(?)平行沈縫間を交 互刺縫	中期/加曾利E II		第14B-94	深鉢/頭部	内面三刀口/縫合	中期/加曾利E II	
第13B-38	深鉢/口縁部	地文短位R1, 縫合(?)/平行沈縫	中期/加曾利E II		第14B-95	深鉢/頭部	内面三刀口/縫合	中期/加曾利E II	
第13B-39	深鉢/口縁部	地文短位R1, 縫合(?)/平行沈縫	中期/加曾利E II		第14B-96	深鉢/頭部	内面三刀口/縫合	中期/加曾利E II	
第13B-40	深鉢/口縁部	地文条縫/平行沈縫	中期/加曾利E II		第14B-97	深鉢/頭部	内面三刀口/縫合	中期/加曾利E II	
第13B-41	深鉢/口縁部	地文条縫	中期/加曾利E II		第14B-98	土製品/耳飾	上縫:(2.4)、下縫:(3.0)、高さ:2.6	中期	
第13B-42	深鉢/頭部	深鉢/頭部	中期/加曾利E II		第14B-99	土製品/耳飾	地文短位R1, 縫合(?)/縫合	中期	
第13B-43	深鉢/頭部	利位R1, 縫合	中期/加曾利E II		第14B-100	石器	長さ:7.5、幅:2.4、厚さ:1.2、重 量:23.58g/石材、縫合(?)/縫合	—	
第13B-44	深鉢/頭部	平行沈縫、ベン先疣工具による刺 縫合	中期/加曾利E II		第14B-101	打製石斧	長さ:9.6、幅:5.0、厚さ:1.9、重 量:95.91g/石材、ホルンフェニックス形	—	
第13B-45	深鉢/口縁部	棒状工具による平行沈縫	中期/曾利		第14B-102	打製石斧	長さ:9.8、幅:4.8、厚さ:1.7、重 量:91.64g/石材、縫合(?)/縫合	—	
第13B-46	深鉢/頭部	先疣孔の作った工具による粗雑な沈 縫合	中期/曾利		第14B-103	磨り石/擬石	長さ:6.3、幅:9.1、厚さ:2.9、重 量:230.56g/石材、翁山前/壳形	—	
第13B-47	賀付土器/頭部	地文短位R1, 縫合(?)/平行沈縫によ る刺縫合	中期/加曾利E III		第14B-104	敲き石	長さ:10.0、幅:3.4、厚さ:2.1、重 量:135.22g/石材、翁山前/壳形	—	
第13B-48	賀付土器/頭部	内面各2条(26~28、47、48L の1側)	中期/加曾利E III		第14B-105	深鉢/頭部	縫合(?)に沿って2列(?)の引文/縫 合土に書母含む	中期/阿玉台II	
第13B-49	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I		第14B-106	深鉢/頭部	縫合(?)の帯形、幅広の引文/区段 縫合内にベンチ状工具による縫合刺	中期/阿玉台II	
第13B-50	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I		第14B-107	深鉢/頭部	縫合(?)に沿って2列(?)の引文/縫 合土に書母含む	中期/阿玉台II	
第13B-51	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I		第14B-108	深鉢/頭部	縫合(?)に沿って2列(?)の引文/縫 合土に書母含む	中期/阿玉台II	
第13B-52	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I		第14B-109	深鉢/頭部	縫合(?)に沿って2列(?)の引文/縫 合土に書母含む	中期/阿玉台II	
第13B-53	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I		第14B-110	深鉢/頭部	縫合(?)に沿って2列(?)の引文/縫 合土に書母含む	中期/阿玉台II	
第13B-54	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I		第14B-111	深鉢/頭部	縫合(?)に沿って2列(?)の引文/縫 合土に書母含む	中期/阿玉台II	
第13B-55	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I						
第13B-56	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I						
第14B-57	深鉢/頭部	地文短位R1, 縫合(?)	中期/加曾利E I						

27 住居跡

28 住居跡

29 住居跡

図版番号	出土遺構	图形/部位	地文/施文/備考	時期/型式	図版番号	出土遺構	图形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第15B-112	深鉢/口縁部	地文条線、平行沈縫	中期/加曾利E II		第16B-168	深鉢/口縁部	口部にヒダ、薄帯による縦部区画。地文縫位焼痕	中期/加曾利E I	
第15B-113	深鉢/口縁部	刮削痕	中期/焼板Ⅲ		第16B-169	深鉢/口縁部	平行沈縫	中期/加曾利E II	
第15B-114	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕、平行隆帯	中期/加曾利E I		第16B-170	深鉢/口縁部	削位焼痕	中期/焼板	
第15B-115	深鉢/口縁部	平行沈縫による連続凹	中期/加曾利E II		第16B-171	深鉢/口縁部	地文有り、平行沈縫	中期/加曾利E II	
第15B-116	深鉢/口縁部	地文ヒダ跡は横位位。脚部は複数の熱帯。平行沈縫による連続凹	中期/加曾利E II		第16B-172	深鉢/口縁部	地土に露呈、石英を含む	中期/阿玉台	
第15B-117	深鉢/口縁部	刮削痕	中期/焼板		第16B-173	深鉢/口縁部		中期/焼板	
第15B-118	深鉢/口縁部	地文ヒダ跡は横位位。脚部に波状の粘土被覆付	中期/焼板		第16B-174	深鉢/口縁部		中期/焼板	
第15B-119	深鉢/口縁部	地文ヒダ跡は横位位。脚部に波状の粘土被覆付	中期/焼板		第16B-175	深鉢/口縁部		中期/焼板	
第15B-120	深鉢/口縁部	平行ヒダ	中期/焼板Ⅱ		第16B-176	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。弧状の平行隆帯	中期/加曾利E I	
第15B-121	深鉢/口縁部	幅約2.4cm、裏面状のヒダ	中期/焼板Ⅱ		第16B-177	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕	中期/加曾利E II	
第15B-122	深鉢/口縁部	幅約2.4cm、裏面状のヒダ	中期/焼板Ⅱ		第16B-178	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。隆帯による溝巻き(内側)とガキ	中期/加曾利E I～II	
第15B-123	深鉢/口縁部	ヒダ間に刮み	中期/焼板Ⅱ		第16B-179	深鉢/口縁部	刮削痕帶に沈縫	中期/焼板Ⅲ	
第15B-124	深鉢/口縁部	平滑隆帯	中期/焼板Ⅱ		第16B-180	深鉢/口縁部	刮削痕帶に沈縫	中期/焼板Ⅲ	
第15B-125	深鉢/口縁部	ヒダ間に刮み、裏面に平行沈縫	中期/曾利I		第16B-181	深鉢/底部	多岐竹管工具による沈縫区画。区画間に刮み	中期/焼板	
第15B-126	深鉢/口縁部	半規起縫による区画。区画内に連続的刺突、横位の纏文	中期/焼板Ⅱ		第16B-182	深鉢/底部	穿孔工具の刺突跡。平行沈縫間に交叉刺突(南)に結晶片岩	中期/五頭ヶ谷	
第15B-127	深鉢/底部	半規起縫、一部斜縫による区画。区画内に纏文	中期/焼板Ⅱ		第16B-183	深鉢/底部	溝巻き？/痕文	中期/焼板	
第15B-128	深鉢/底部	半規起縫による区画。区画内に纏文	中期/焼板Ⅱ		第16B-184	深鉢/底部	キャラビウ文、平行沈縫	中期/焼板	
第15B-129	深鉢/底部	半規起縫によるクラクン状区画。区画内に纏文	中期/焼板Ⅱ		第16B-185	深鉢/底部	刮削痕帶に沈縫。区画内に連続的刺突	中期/焼板Ⅲ	
第15B-130	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕のみ。内側に三ガニ	中期/加曾利E I		第16B-186	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行沈縫。棒状隆帯貼り付け	中期/曾利I	
第15B-131	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I		第16B-187	深鉢/底部	棒位R縫文	中期/焼板	
第15B-132	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I		第16B-188	深鉢/底部	地文縫位焼痕。幅広の隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-133	深鉢/底部	地文縫位焼痕。隆帯による蛇形	中期/加曾利E I		第16B-189	深鉢/底部	地文縫位焼痕。隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-134	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I		第16B-190	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-135	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I		第16B-191	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-136	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行法縫による熱帯	中期/加曾利E II		第16B-192	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-137	深鉢/底部	傾位平行沈縫？/地土に露呈	中期/阿玉台		第16B-193	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-138	深鉢/底部	地文縫位焼痕	中期		第16B-194	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-139	深鉢/底部	地文縫位焼痕	中期		第16B-195	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-140	深鉢/底部	地文縫位焼痕	中期		第16B-196	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行隆帯による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-141	深鉢/底部	地文縫位焼痕。沈縫。沈縫による粒物	中期/加曾利E II		第16B-197	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-142	深鉢/底部	中期			第16B-198	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-143	土塊？/火薙	側面に刮み/裏面中央にはがれ痕があるため、土器の一部の可能性がある	中期		第16B-199	浅鉢/口縁部	平行する熱帯状の隆帯	中期/加曾利E I	
第15B-144	深鉢/口縁部	無文	中期/焼板Ⅲ		第16B-200	浅鉢/口縁部	内面ミガキ	中期	
第15B-145	深鉢/口縁部	隆帯による連続刺突	中期/焼板Ⅲ		第16B-201	浅鉢/口縁部	2列の刺突跡。平行沈縫	中期/加曾利E II	
第15B-146	深鉢/口縁部	3列の三角形の隆帯に沿って波状の平行沈縫	中期/焼板Ⅲ		第16B-202	浅鉢/口縁部	沈縫による熱帯。沈縫間に傾位焼痕	中期/加曾利E III	
第15B-147	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。平行沈縫	中期/加曾利E I		第16B-203	深鉢/底部	ヒダ状圧痕	中期/阿玉台	
第15B-148	深鉢/口縁部	地土に露呈するガキ	中期/阿玉台		第16B-204	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-149	深鉢/口縁部	2種類の多角工具による沈縫/地土に結晶石を含む	中期/焼板		第16B-205	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E II	
第15B-150	深鉢/口縁部	2種類の多角工具による沈縫/地土に結晶石片を含む(?)と同一個体	中期/焼板		第16B-206	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E II	
第15B-151	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E II		第16B-207	深鉢/底部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E II	
第15B-152	磨製石斧	長さ:10.5、幅:3.6、厚さ:1.2、重量:294.6g/石材:霞玉/完石/破片	—		第16B-208	浅鉢/口縁部	平行する熱帯状の隆帯	中期/加曾利E II	
第15B-153	土塊1	深鉢/口縁部	中期		第16B-209	浅鉢/口縁部	梯形の沈縫による区画内に沈縫を充填	中期	
第15B-154	土塊2	深鉢/口縁部	中期		第16B-210	浅鉢/口縁部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E I	
第15B-155	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。半岐竹管工具による平行沈縫	中期/加曾利E II		第16B-211	浅鉢/口縁部	梯形の沈縫による区画内に沈縫を充填	中期	
第15B-156	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。地文縫位焼痕。地土に露呈するガキ	中期/阿玉台		第16B-212	浅鉢/口縁部	地文縫位焼痕。平行沈縫による熱帯	中期/加曾利E I～II	
第15B-157	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。地土に露呈するガキ	中期		第16B-213	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。平行沈縫	中期/加曾利E II～III	
第15B-158	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。その内側に地土に露呈するガキ	中期/焼板Ⅱ		第16B-214	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕	中期/加曾利E II～III	
第15B-159	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。地土に露呈するガキ	中期/焼板Ⅱ		第16B-215	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。地土に露呈するガキ	中期/加曾利E II～III	
第15B-160	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。地土に露呈するガキ	中期/焼板Ⅱ		第16B-216	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕。地土に露呈するガキ	中期/加曾利E I	
第15B-161	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕、連続文	中期/加曾利E III		第16B-217	深鉢/底部	地文縫位焼痕。沈縫による熱帯	中期/加曾利E III	
第15B-162	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕	中期		第16B-218	深鉢/底部	地文縫位焼痕	中期	
第15B-163	深鉢/口縁部	地文縫位焼痕	中期		第16B-219	深鉢/底部	地文縫位焼痕	中期	
第15B-164	深鉢/口縁部	「S」字の地文縫	中期		第16B-220	深鉢/底部	地文縫位焼痕。地土に露呈するガキ	中期/加曾利E III	
第16B-165	深鉢/口縁部	口縁に互文交差痕。刮削痕帶に伴う平行沈縫	中期/焼板Ⅱ		第16B-221	深鉢/底部	地文縫位焼痕。地土に露呈するガキ	中期/加曾利E III	
第16B-166	深鉢/口縁部	手手縫。地土に露呈する連続刺突による渦巻き文	中期/焼板Ⅱ		第16B-222	打製石斧	長さ:10.8、幅:5.6、厚さ:2.9、重量:211.9g/石材:ホルンフェルス	—	
第16B-167	深鉢/口縁部	連続刺突/地土に露呈する連続刺突による渦巻き文	中期/阿玉台		第16B-223	打製石斧	長さ:9.9、幅:5.1、厚さ:2.6、重量:94.67g/石材:ホルンフェルス	—	
					第16B-224	打製石斧	長さ:(12.1)、幅:(4.9)、厚さ:2.0、重量:134.45g/石材:ホルンフェルス/基部欠損	—	

←前件性質

←後件性質

←前件性質

←後件性質

←前件性質

←後件性質

第4章 北野遺跡の調査

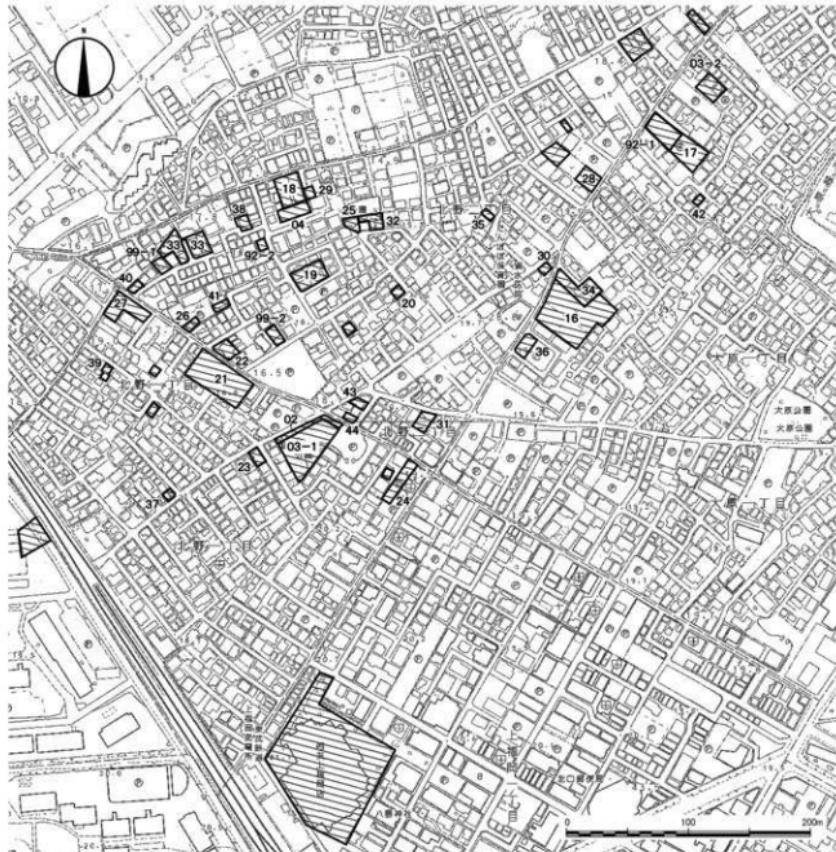
I 遺跡の立地と環境

北野遺跡は、藤間江川に面した標高17～18mの台地縁辺にあり、開析した小支谷を囲うように立地する南北250m、東西650m以上の遺跡である。上福岡駅まで600mに位置する利便性のため、昭和30年代から宅地開発され、ほとんど空き地は残っていない。

周辺の遺跡は、1km上流に縄文集落の西遺跡、下流に旧石器時代から縄文、古代、中近世にわたる複合遺

跡の川崎遺跡、川崎横穴墓群がある。

1965年の分布調査、1970年代後半の宅地開発で縄文時代早～中期の土器片が採集され、1980年以来、2018年4月現在44ヶ所で試掘調査が行われている。縄文時代中期と平安時代の住居跡各1軒、縄文時代中期頃と考えられる集石土坑、中世以前とみられる溝等を検出、縄文時代中期深鉢土器の顔面把手等も採集されている。



第17図 北野遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II 北野遺跡第31地点

II 北野遺跡第31地点

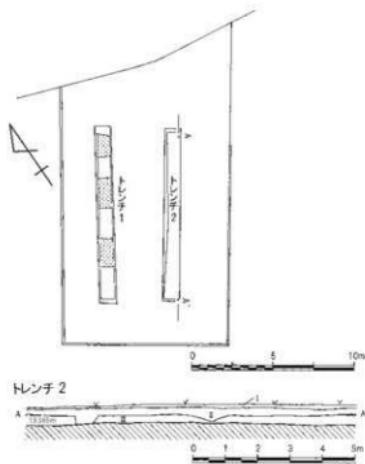
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年8月18日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1mのトレチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50~60cmである。遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべてトレチ覆土中から出土したものである。出土遺物に関しては第19図及び第15表に掲載した。



第18図 北野遺跡第31地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第14表 北野遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()	調査方法	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	北野2-2110-1の一部、2112-1	(2006.4.7)	408(44) 分譲住宅	408(44)	分譲住宅	遺構遺物なし	市3
2	北野1-3119-11	(2006.4.4)	131 分譲住宅	131	分譲住宅	遺構遺物なし	18報告、市3
3	北野1-3061-4	(2006.4.28)	148 分譲住宅	148	分譲住宅	保護有、遺構遺物なし	市3
4	北野2-8-3	(2006.8.24)	58 分譲住宅	58	分譲住宅	遺構遺物なし	18報告
92-1	大塚2-2079-1	(1992.6.19~22)	617 駆除堆	617	駆除堆	黒2、縄文時代中期土器片、土師器片	堆15
92-2	北野2-1809-1	(1992.6.6)	138 分譲住宅	138	分譲住宅	遺構遺物なし	堆15
99-1	北野2-1797-5	(1999.7.2)	1574 分譲住宅	1574	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	堆22
99-2	北野2-1787-1	(1999.8.9~12)	179.1 分譲住宅	179.1	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	堆22
02	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2002.11.28~29)	100 公園歩道	100	公園歩道	遺構遺物なし	堆25
03-1	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2003.7.1~31)	1,484 公園	1,484	公園	遺構遺物なし	堆26
03-2	大塚2-1833-6	(2003.8.8~31)	350 宅地造成	350	宅地造成	土坑1、縄文土器片	堆26
04	北野3-1823-3~3	(2004.4.16~19)	435 分譲住宅	435	分譲住宅	遺構遺物なし	堆27
05	北野1-1219-3~20	(2005.12.2)	101 分譲住宅	101	分譲住宅	遺構遺物なし	17報告
16	大塚2-2070-1、2071-1	(2009.4.8~10)	296(1,888) 宅地造成	296(1,888)	宅地造成	ビット3、中期切土器・石器	市8
17	大塚1-2079-1~6	(2009.10.13~17)	1,223(412) 共同住宅	1,223(412)	共同住宅	土坑2、土器片・台輪・竹筒	市8
18	北野2-1826-2~12、1829-1~2	(2009.3.9~18)	178(50.9) 分譲住宅	178(50.9)	分譲住宅	縄文中期居住跡(1J1住)、奈良平安中期居住跡(1J1住)、土坑3、ビット8	市8
19	北野2-1821-1~2、1820-4	(2010.12.1~2)	476.3 共同住宅	476.3	共同住宅	ビット2、遺物なし	市10
20	北野2-1835-1	(2011.8.1)	61(3.4) 分譲住宅	61(3.4)	分譲住宅	遺構遺物なし	市14
21	北野3-1117-3、3118-1	(2011.12.8~20)	8.0 分譲住宅	8.0	分譲住宅	御器1、縄文土器片、焼粘	市14
22	北野2-1788-80の一部	(2012.6.7~8)	48(20.1) 分譲住宅	48(20.1)	分譲住宅	遺構なし、漆器片	市14
23	北野3-1111-4(1~4.9)	(2012.8.28)	140.8 分譲住宅	140.8	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
24	北野3-1063-1	(2012.9.13~14)	335 分譲住宅	335	分譲住宅	土坑1、柱孔1溝1、縄文土器片	市15
25	北野2-1833-3(2~6.6)	(2012.12.10)	142.7 分譲住宅	142.7	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
26	北野2-1795-3	(2012.12.14)	317 分譲住宅	317	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
27	北野3-3119-11	(2014.5.7)	48.1 共同住宅	48.1	共同住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-9	(2014.5.27~28)	100.6 分譲住宅	100.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-8	(2014.5.27.5.27.8)	101.4 分譲住宅	101.4	分譲住宅	縄文中期居住跡・土坑1、土器片	市20
29	北野2-1830-8	(2014.10.14~15)	83.7 分譲住宅	83.7	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市20
30	北野2-2067-3	(2014.10.30~11.5)	75.9 分譲住宅	75.9	分譲住宅	溝1、遺物なし	市20
31	北野2-2130-4~9	(2015.8.18)	179 分譲住宅	179	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	市22
32	北野2-1841-7~9	(2015.8.27)	209 分譲住宅	209	分譲住宅	遺構遺物なし	市22
33	北野2-1801-3~4+42~43	(2015.12.1~8)2015.12.15~21	627.69 分譲住宅	627.69	分譲住宅	集石群5、縄文土器片	市19
34	大塚2-2073-1	(2015.12.2~8)	276.13 共同住宅	276.13	共同住宅	ビット1、縄文土器片	市22
35	北野2-2116-4	(2015.12.8)	53 分譲住宅	53	分譲住宅	遺構遺物なし	市22
36	大塚2-2056-10~11の一部	(2016.15~16)	212 共同住宅	212	共同住宅	遺構なし、土器片	市22
37	北野3-3127-2~3~5	(2016.12.5)	70.25 分譲住宅	70.25	分譲住宅	遺構なし	市22
38	北野2-1802-6~7~8、1808-3~5	(2016.7.29)	106.9 分譲住宅	106.9	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
39	北野3-3129-27~28	(2016.12.5)	119 分譲住宅	119	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
40	北野2-2~7	(2017.1.31)	65 分譲住宅	65	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
41	北野2-1794-2の一部	(2017.2.20)	157.49 専用住宅	157.49	専用住宅	遺構遺物なし	未報告
42	大塚2-2052-9	(2017.7.6)	63.83 連席住宅	63.83	連席住宅	溝1、ビット、遺物なし	未報告
43	北野2-2129-11	(2017.8.4)	86.67 分譲住宅	86.67	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
44	北野2-2129-7	(2017.12.14)	68.59 分譲住宅	68.59	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告

※注:上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、下通報:上福岡市道路渋滞在告報者、教説:上福岡市・ふじみ野市教育委員会、市・ふじみ野市内道路整備報告書

第31地点出土遺物



第15表 北野遺跡第31地点出土遺物観察表（単位cm・g）

回収番号	出土遺構	器形／部位	地文／施文／備考	時期／型式
第19回-1	遺構外	深鉢／胴部	隆帯上に刻み、隆帯脇に沈線／胎土に石英粒、雲母含む	中期／勝坂
第19回-2		深鉢／胴部	竹管状工具による平行沈線とそれに沿う刺突、爪形文／胎土に石英粒、雲母僅か	中期／勝坂
第19回-3		深鉢／胴部	竹管状工具による沈線／内外面とも磨滅が激しい、4と同一個体か	中期
第19回-4		深鉢／胴部	竹管状工具による沈線／内外面とも磨滅が激しい、3と同一個体か	中期
第19回-5		深鉢／胴部	竹管状工具による沈線／内外面とも磨滅が激しい	中期
第19回-6		深鉢／胴部	竹管状工具による沈線／内外面とも磨滅が激しい	中期
第19回-7		深鉢／底部	沈線	中期
第19回-8		深鉢／胴部	縦位RI標示	中期
第19回-9		深鉢／底部	沈線	中期

III 北野遺跡第32地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年8月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部や北寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月27日に試掘調査を実施した。

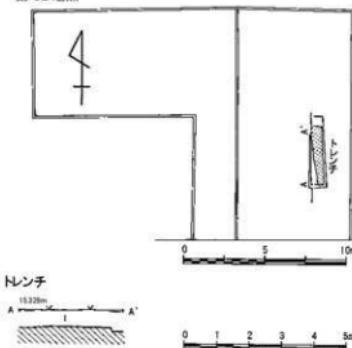
試掘調査は幅約1mのトレチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約60cmである。試掘の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

IV 北野遺跡第33地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年12月1日～8日に試掘調査、12月15日～21日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。

第32地点



I. 黒褐色土 繊り器、粘性有。表土耕作土 10cm 以下ロームブロック少しあむ

第19図 北野遺跡第31地点出土遺物(1/4)、第32地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

V 北野遺跡第34地点

(1) 調査の概要

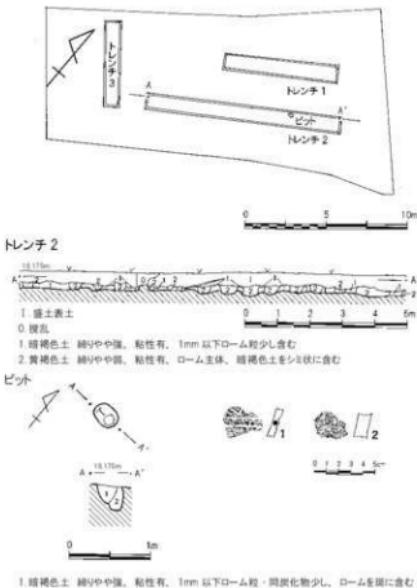
調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2015年11月21日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の東側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月7～8日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1mのトレント3本を設定し、人力で表土除去、表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約50～60cmである。試掘の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図等記録保存を行つたうえで重機によって埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺物は表土中から出土した縄文土器片2点である。1は金雲母を含み、横位の平行沈線と鋸歯状沈線を施す。中期阿玉台式。2は器面が荒れているが、わずかに条痕がみられる。中期か。

第34地点



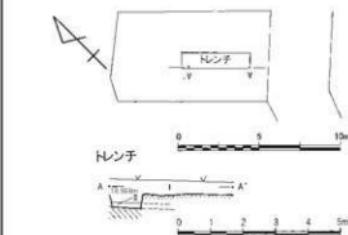
VI 北野遺跡第35地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年12月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月8日に試掘調査を実施した。調査は幅約1mのトレント1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行つた。現地表面から地山ローム層までの深さは約80cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかつたため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行つたうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行つてない。

第35地点



I. 黒褐色土 細粒強、粘性有。10cm以下ロームブロックとコンクリガラ混じる過度表土
II. 黒褐色土 細粒やや弱、粘性有。2mm以下ローム粒少し含む。旧耕土

第20図 北野遺跡第34地点遺構配置図・35地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、ビット(1/60)、第34地点出土遺物(1/4)

VII 北野遺跡第36地点

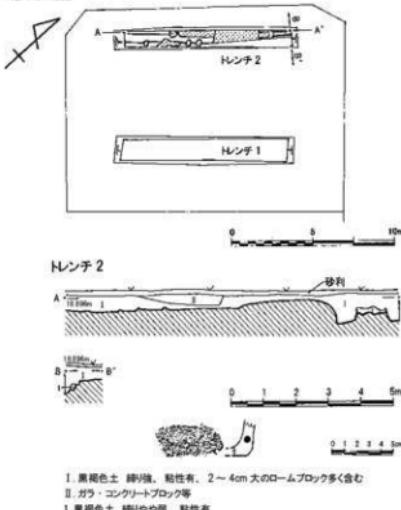
(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2016年1月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年2月15日～16日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.2～1.6mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。

調査の結果、表土中より縄文土器片1点が出土したのみで遺構は発見されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

遺物は無文の深鉢底部で、金雲母を多く含む。中期か。

第36地点



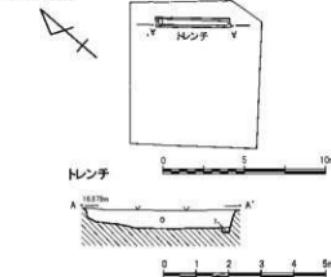
VII 北野遺跡第37地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月25日に試掘調査を実施した。調査は幅約60cmのトレンチ1本を設定し、人力で表土除去、表面精査を行った。現地表面から約60cmまでが表土層であり、その下は埋没谷覆土のため地山ローム層は確認できなかった。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第37地点



0. 混乱

- I. 黒褐色土 繊り強、粘性有、表土解作土、2mm 以下炭化物状粒子、赤色粒子少し含む

第21図 北野遺跡第36・37地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第36地点出土遺物(1/4)

第5章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

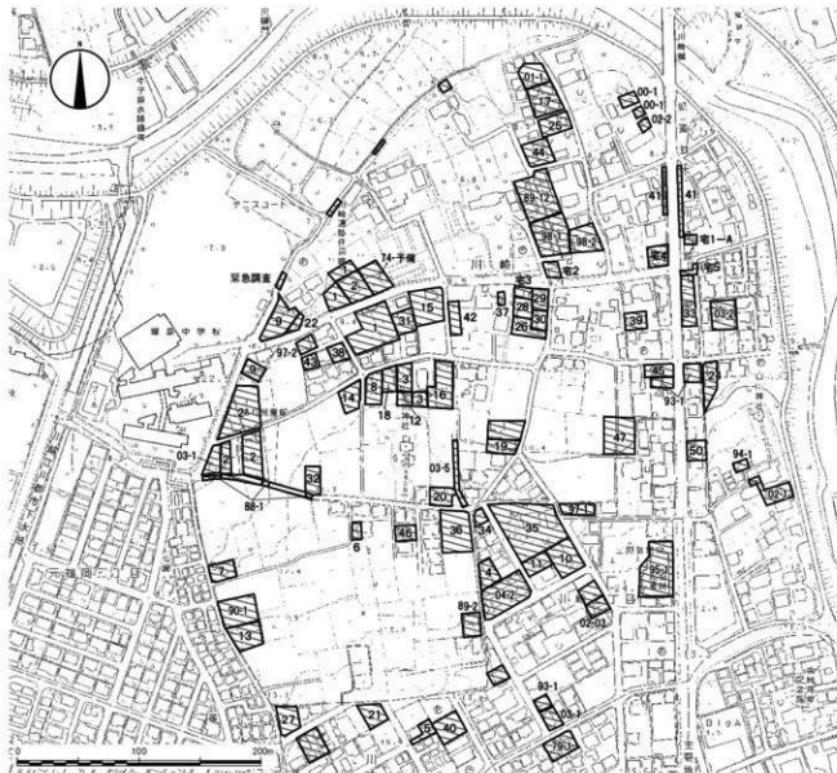
川崎遺跡は、武藏野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武藏野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れている。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畠も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年4月現在79ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。

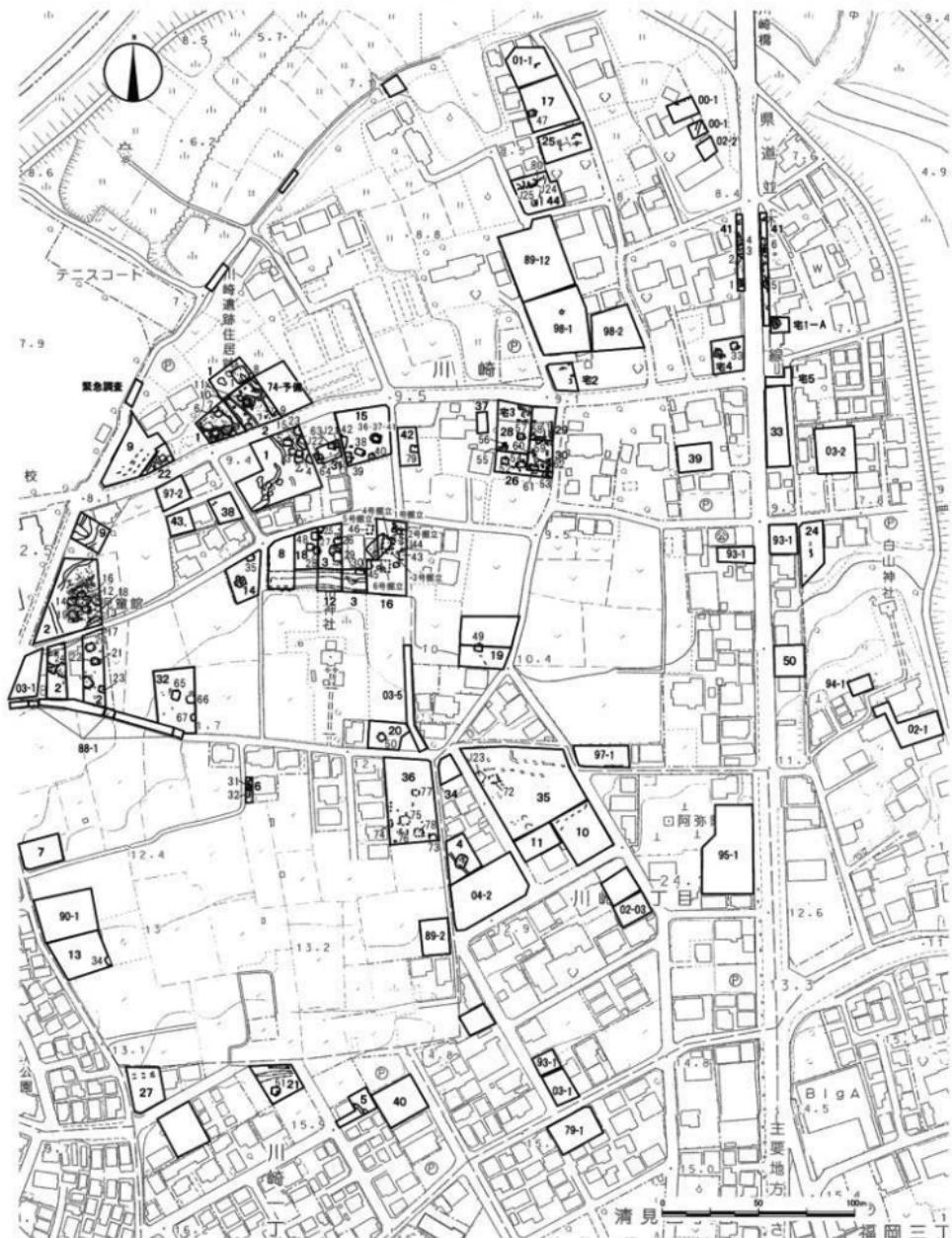


第22図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第16表 川崎遺跡調査一覧表

地名	所在地	調査時期(月)	は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺跡と遺物	所收報告書
手取川調査	川崎160	1974.3.25~4.4		84	事務所前	昭和33年、土坑2、ビット1部、鐵文土器、石器	上総
1次	川崎162~176	1974.7.20~9.39	1,800	事務所前	昭和34年(昭和34年)、土器2、石器、鐵文土器、石製品、鐵製品、第1次調査	上総	
駒形貝塚調査	大学1号地南側168-3	1975.3.30~5.30	198	個人住宅	真3、鐵文土器、鐵器、平安土器類、須恵器、灰釉陶器、瓦豆瓦瓦砾	上総	
平地走1次(A地区)	大学1号地北122	1975.6.8~29	50	個人住宅	平安時代早期住居跡1、鐵文土器、石器、鐵	上総調	
2次	川崎157~174	1975.9.4~12.5	1,855	事務調査	平安時代住居跡9、吉備時代住居跡6、奈良平安時代住居跡10、中世遺跡地	川崎遺跡第2次調査報告	
3次	川崎149-6	1977.1.1~12.3	300	住居跡前	鐵文時代住居跡2(?)部、奈良平安時代住居跡6(1~1~2~6~9)、鐵土器	川崎遺跡第3次調査報告	
平地走2次(B地区)	川崎196	1978.5.15~25	170	宅地造成	土坑3、ビット	埋(1)	
平地走3次(C地区)	川崎130	1978.5.23~31	130	宅地造成	瓦豆2、地下坑1、埴1	埋(1)	
4次	川崎1~5-2	1978.4.19~5.31	304	宅地造成	鐵文時代住居跡1、埴1、黑浜式土器、鐵器	埋(0)埋(1)	
5次	川崎1~5-4	1979.2.26~10.10	152	宅地造成	鐵文時代住居跡	埋(0)	
7年度定期・清掃	清見4-311	1978.11.22~199	290	宅地造成	埴1	埋(0)	
6次	川崎302-5	1979.12.3~8	30	フレーブ裏面	鐵文時代住居跡2、平安時代住居跡2、鐵文土器片	埋(0)	
7次	川崎12-3	1980.1.17~20	316	個人住宅	鐵文時代住居跡1、平安土器片	埋(0)	
8次	大学1号地東側148-1	1984.1.17~26	400	住居跡前	埴1	埋(0)	
等地走4次	川崎芋森町19	1984.2.25~10.9	301	住居跡前	鐵文時代住居跡1、平安時代住居跡1	埋(0)埋(0)	
9次	川崎芋森町1712-1-2	1986.9.11~20	495	個人住宅	真2、鐵文土器、鐵器、平安時代土器微器	埋(0)	
10次	川崎22-1	1987.11.24~30	603	個人住宅	埴1	埋(0)	
11次	川崎4-2	1988.5.16~17	289	住居跡前	鐵文時代住居跡なし	埋(11)	
88E	市道402号線	1988.9.19~21	60	下水道敷設	住居跡1	埋(11)	
89E(1)	川崎芋森町196-1	1989.4.10~18	1,045	住居跡前	鐵文時代住居跡なし	埋(12)	
89E(2)	川崎芋森町19-2	1989.10.3~6	264	住居跡前	鐵文時代住居跡なし	埋(12)	
12次	川崎芋森町19-4~5	1990.4.20~27	311	住居跡前	埴2	埋(13)	
13次	大学1号地東側122	1990.5.1~7	480	住居跡前	奈良時代住居跡1	埋(13)	
90E(1)	大学1号地東側122	1990.5.18~23	530	鉄鋼廻叢	鐵文時代住居跡なし	埋(13)	
14次	大学1号地東側145	1990.10.1~31	499	住居跡前	鐵文時代(奈良時代)住居跡1、埴1、平安時代住居跡1	埋(13)	
15次	川崎芋森町160-1	1991.10.23~11.20	499	個人住宅	平安時代住居跡7、土坑1	埋(14)	
92E(1)	大学1号地山野5	1991.2.18~19	166	田舎地所有地	鐵文時代住居跡なし	埋(15)	
93E(1)	川崎2-10-11	1991.8.24	131	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	埋(16)	
93E(2)	川崎1-1の一部	1991.9.10~13	422	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	埋(16)	
94E(1)	川崎芋森町25地	1991.11.7~24	230	樹林地場所	鐵文時代住居跡なし	埋(17)	
95E(1)	川崎2-2-1	1995.10.13~16	1,126	河原跡	鐵文時代住居跡なし	埋(18)	
16次	川崎芋森町10-3	1995.12.1~1996.3.8	828	野菜園及び畠地	鐵文時代(奈良時代)住居跡1、鐵文時代住居跡6、中世住居跡1	7年報告書	
17次	川崎芋森町2040-1番	1996.7.15~23	779	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(19)	
18次	川崎芋森町148-3	1996.11.26~12.1	138	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(19)	
97E(1)	川崎芋森町21	1997.4.14~	367	宅地造成	第1泊(不明)	埋(20)	
97E(2)	川崎芋森町136-5	1997.10.20~26	204	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	埋(20)	
97E(3)	川崎芋森町159-1~2-5	1998.2.12~16	780	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	9年報告書	
98E(1)	川崎芋森町193-1	1998.3.27~31(16)	996	宅地造成	鐵文時代住居跡1	埋(21)	
市道402号線2次	川崎芋森町、高麗町内	2000.2.21~25	496	道路	鐵文時代(奈良時代)住居跡1	11年報告書	
00E(1)	川崎芋森町高麗町内	2000.11.19~22	123.1	個人住宅	日輪1期の一部	埋(22)	
00E(2)	川崎芋森町高麗町内	2000.12.12~25	100	草堆	埴1	埋(24)	
19次	川崎芋森町157の一部	2001.8.18~10.8	289	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(24)	
01E(1)	川崎芋森町206-4	2001.10.29~30	825	宅地造成	鐵文時代住居跡なし	埋(24)	
02E(1)	川崎芋森町157の一部	2002.5.13	341	土壤	鐵文時代住居跡なし	埋(25)	
02E(2)	川崎10-1, 2の一部	2002.10.20~29	551	共同使用	第1泊(不明)保存	埋(25)	
02E(3)	川崎4-3-6	2002.12.24	228	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	14年報告書	
02E(4)	川崎2-2-2	2003.1.13	165	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	14年報告書	
02E(5)	川崎芋森町155先	2003.1.26	164	市道501号線	鐵文時代住居跡なし	14年報告書	
01E(1)	川崎芋森町37の一部	2003.6.6~7	257	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	埋(26)	
01E(2)	川崎芋森町32B-14	2003.9.12~19	381	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	埋(26)	
毛糸地区 5号地	川崎芋森町2022-3地	2004.2.6~18	88	古墳	古墳時代初期(6世紀)6号墳1(調査実施)	15年報告書	
04E(1)	川崎芋森町157の一部	2004.6.14~15	421	個人住宅	平安時代住居跡マドの一部	埋(27)	
04E(2)	川崎5-1	2004.11.1~4	881	宅地造成	鐵文時代住居跡なし	埋(27)	
20次	川崎芋森町153-5	2005.11.22~2005.11.28~12.2	257	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内3	
21	川崎4-6-30	2006.4.11~2006.4.14~20	298	個人住宅	奈良時代住居跡1、埴1	市内3	
22	川崎171-1, 174-10	2007.4.16~23(20)	184	測量防災柵	砂4斗、地磚2枚、六面机1、土坑2	市内4	
24	川崎芋森町32-25	2007.10.4	319	共同使用	鐵文時代住居跡なし	市内4	
25	川崎芋森町2022-1の一部	2008.4.10~2008.4.35~17	1,033	個人住宅	奈良時代(奈良時代)柱建跡1、埴、近代以降の地下室内	市内6	
26	川崎芋森町202-5	2008.11.23~2008.4.22~5-17	228	個人住宅	奈良平安時代住居跡1、土坑、ビット、近代以前の廻戸1	市内6	
27	川崎17-1	2009.1.15~21	150	土壤	鐵文時代住居跡なし	市内6	
28	川崎芋森町23-7	2009.4~6 2009.7.30~8-8	634	個人住宅	鐵文時代住居跡2、土坑、ビット	市内6	
29	川崎芋森町23-10	2009.7.19~2009.7.24, 7.24~8-2	203	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、埴1	市内6	
30	川崎芋森町20-8	2009.7.17~2009.7.18~9	200	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、日輪1、土坑、埴1	市内6	
31	川崎芋森町16(5)-1, 16-1	2009.9.28~2009.10.28~11.27	304	個人住宅	鐵文時代中期~後期住居跡2、奈良平安時代住居跡2、ビット12	市内6	
32	川崎芋森町40-1の一部	2010.12.24~2011.3.25~2	296	個人住宅	奈良時代(奈良時代)住居跡1、土坑2、建物部分(部分調査)	市内10	
34	川崎5-4-25	2010.7.2~26	1,178	土壤	鐵文時代住居跡なし	市内14	
35	川崎4-6-9~9-9	2011.3.27~2011.3.24(1)	1,324	土壤	鐵文時代(奈良時代)住居跡1、奈良平安時代住居跡1地	市内14	
36	川崎芋森町100-1	2011.12.15~26 2012.1.10~2012.1.17	1,096	公園敷地	奈良平安時代住居跡1、土坑、ビット、近代以前の廻戸1	市内14	
37	川崎芋森町25-2-2	2012.9.28	1,298	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	市内15	
38	川崎芋森町165-3	2012.12.25, 2013.2.26~27	176	個人住宅	鐵文時代1~2世紀住居跡1、土坑、埴1	市内15	
39	川崎芋森町227-1	2013.4.4~5	1,121.33	個人住宅	鐵文時代住居跡1、鐵文土器、土坑器、須恵器、埴器	市内15	
40	川崎1-1, 2	2013.10.11~17(1)	447	共同使用	鐵文時代住居跡なし	市内18	
41	川崎21-1の部	2014.8.10~10.31	419	道路	鐵文時代住居跡2~3(?)、土坑2~4、ビット15、埴1(?)、須恵器、土坑、石器、石製品、土封跡、須恵器、須器	川崎遺跡第41次(2014年8月調査)報告書	
42	川崎芋森町23-9	2015.6.26~7.2	200	集中地	奈良平安時代住居跡1、須恵器、土坑器、土坑	市内21	
43	川崎芋森町165-5~9-9	2015.6.26	175.21	個人住宅	鐵文時代住居跡1、土坑、埴1	市内22	
44	川崎芋森町202-1~8	2015.11.24~12.10 2016.1.5~20	273.56	土壤	鐵文時代住居跡2、奈良平安時代住居跡1、日輪1、土坑1~2、土封跡、須恵器、石器、石製品、土坑器、須器	川崎遺跡第41次(2015年11月調査)報告書	
45	川崎芋森町4-7~8-8	2017.2.24	254.72	個人住宅	埴1(?)古墳に隣接する、須恵器、石器、石製品、土坑器、須器	未報告	
46	川崎芋森町101-5, 102-3	2017.3.13	199	個人住宅	鐵文時代住居跡1、土封跡、須器	未報告	
47	川崎芋森町15-1, 16-1	2017.12.19(1)	749	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	未報告	
48	川崎芋森町34-1	2018.8.27~30	266	個人住宅	鐵文時代住居跡1、古墳以降、鐵文土器、土坑器、須器	未報告	
49	川崎芋森町1-5	2019.2.8	509	土壤	鐵文時代住居跡なし	未報告	
50	川崎芋森町10-4~9-1部	2014.9.6	120	個人住宅	鐵文時代住居跡なし	市内20	

市境: 上福岡市教育委員会編成文化財の調査報告書、上総: 上福岡市環境調査会報告書、教説: 上福岡市教育委員会、市内: みみ野市市内道路群報告書



第23図 川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)

第17表 川崎遺跡古代住居跡一覧表

住居 番号	調査年度	調査名	調査年 度	平面形 (直角座標)	寸 寸	層 層	戸 戸		力マト 高さ cm	周囲 周囲	主軸方位 主軸方位	時期 時期	備考 備考	文 文
							戸 戸	戸 戸						
1	1974	第1地N72	実測	扇形	760×730×40	K	未	未	60×50	○	N-6-E	1世紀後半	赤道文化財	川崎遺跡1次査定
2	1974	第1地N65	実測	方形	390×320×	K	未	未	未	○	N-5-E	国分	国分	国分
3	1974	第1地N66	実測	圓弧形	320×320×	K	未	未	未	○	N-5-W	9C・中期	国分	国分
4	1974	第1地N67	実測	方形	320×320×	K	未	未	80×90	○	N-5-W	9C・中期	国分	国分
5	1974	第1地N24	実測	扇形	470×340×50	K	北	北	120×75	○	N-6-E	10C・中期	国分	国分
6	1974	第1地N25	実測	方形	320×320×	K	北	北	40×40	○	N-6-E	9C・中期	国分	国分
7	1974	第1地N28	西側未測	(直角形)	×300	K	未	未	50×60	○	N-6-W	9C・中期	国分	国分
8	1974	第1地N71	東側未測	(直角形)	×600	未	未	未	未	未	未	未	未	未
9	1975	第2地N75	部分	(直角形)	未	未	未	未	未	未	未	未	未	川崎遺跡2次査定
10	1975	第2地N92	部分	(直角形)	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
11	1975	第2地N72	実測	扇形	250×250×13	K	未	未	50×80	○	N-1-E	国分	国分	国分
12	1975	第2地N67	実測	方形	720×420	K	北	北	未	○	N-3-E	6C・後半	ピット多量、土手い	ピット多量、土手い
13	1975	第2地N64	実測	方形	390×350	K	未	未	60×70	○	N-6-E	6C・前半	前庭六有り	前庭六有り
14	1975	第2地N65	実測	扇形	450×370	K	北	北	100×80	○	N-6-E	10C・2中期	国分	国分
15	1975	第2地N19	14に切られたまま	未	未	未	未	未	未	未	未	9C・中期	未が切たまま	未が切たまま
16	1975	第2地N14	実測	扇形	370×280	K	北	北	90×80	○	N-4-E	9C・3中期	国分	国分
17	1975	第2地N12	南北未測	扇形	700×	未	未	未	未	未	未	6C	坑道柵	坑道柵
18	1975	第2地N33	17以上と全く重複して不規	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
19	1975	第2地N60	実測	扇形	410×420	K	北東	北東	未	○	N-4-E	6C・後半	窓好	窓好
20	1975	第2地N2	実測	扇形	410×130	K	北	北	120×120	○	N-2-W	未	未	未
21	1975	第2地N53	実測	扇形	350×280	K	未	未	70×60	○	N-7-E	10C・2中期	22往を切る	22往を切る
22	1975	第2地N54	部分	方形	330×130	K	未	未	未	○	未	未	未	未
23	1975	第2地N20	3/5	(直角形)	×350	K	北	北	未	○	N-2-E	9C・2中期	前庭六有り	前庭六有り
24	1975	第2地N21	ほぼ正方形	正方形	580	K	北西	北西	50×70	○	N-3-W	未	未	未
25	1977	第3次1号住居	南北未測	扇形	未	未	未	未	未	未	未	未	未	川崎遺跡第3次
26	1977	第3次2号住居	実測	扇形	350×130	K	北	北	×70	○	国分	国分	積物品多い	積物品多い
27	1977	第3次3号住居	(実測)	扇形	350×100	K	未	未	170×110	○	国分	国分	○と埋文書19	○と埋文書19
28	1977	第3次4号住居	(実測)	扇形	350×130	K	未	未	120×90	○	国分	国分	○と埋文書19	○と埋文書19
29	1977	第3次5号住居	4/5	正方形	440×	K	北	北	155×90	○	9C・4中期	落失窓	落失窓	落失窓
30	1977	第3次6号住居	1/2	(直角形)	415×	未	未	未	未	未	未	未	未	未
31	1979	第4次1号住居	未	未	340×	未	未	未	未	未	未	9C・2中期	埋文書18	埋文書18
32	1979	第4次2号住居	1/3	未	340×	K	北	北	140×80	○	9C・1中期	鐵製品多い	鐵製品多い	鐵製品多い
33	1984	埋文書4次3号住居	実測	扇形	340×340	K	未	未	120×100	○	8C	3中期	埋文書18	埋文書18
34	1990	第1次1号住居	1/2~1/3	未	390×	未	未	未	未	未	未	7C・後半	埋文書18	埋文書18
35	1990	第1次2号住居	南北1/2	未	340×	K	未	未	未	○	9C・1中期	9C~10C	埋文書18	埋文書18
36	1991	第1次3号住居	未	未	395×285	K	北東	北東	未	未	未	未	未	未
37	1991	第1次4号住居	未	未	380×180	K	未	未	未	未	未	9C・中期	未	未
38	1991	第1次5号住居	未	未	265×340	K	南東	南東	未	未	未	9C・初期	未	未
39	1991	第1次6号住居	1/2	未	580×	K	未	未	未	未	未	8C末~9C初期	未	未
40	1991	第1次7号住居	3/4	未	280×	K	北	北	未	未	未	9C・前半~中	未	未
41	1991	第1次8号住居	正方形	425×270	K	北	北	未	未	未	未	8C・後半	35.36位と埋植	35.36位と埋植
42	1991	第1次9号住居	1/2	未	570×	K	北	北	未	未	未	9C・前半	縫合陶器、焼失窓	縫合陶器、焼失窓
43	1994	第16地1号住居	1/2	未	450×	未	未	未	未	未	未	9C・前半~後半	未報告	未報告
44	1994	第16地2号住居	未	未	340×	K	北	北	140×80	○	9C・前半~後半	未	未	未
45	1994	第16地3号住居	未	未	340×	K	北	北	140×80	○	9C・前半~後半	未	未	未
46	1994	第16地4号住居	未	未	340×	K	北	北	140×80	○	9C・前半~後半	未	未	未
47	1994	第16地5号住居	2/3	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
48	1994	第16地6号住居	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
49	1994	第16地7号住居	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
50	2005	第20地4号住居	未	未	320×250	K	北西	北西	未	○	N-4-W	7C・前半~中	内通路部1	内通路部1
51	2006	第20地5号住居	未	未	410×365×10	K	未	未	140×125	○	N-10-E	9C・後半	内通路部3	内通路部3
52	2006	第20地6号住居	未	未	375×295×20	K	未	未	100×80	○	N-10-E	9C・後半	内通路部6	内通路部6
53	2006	第20地7号住居	未	未	340×315×13	K	北	北	95×80	○	N-10-E	9C・後半	未	未
54	2006	第20地8号住居	未	未	431×205×20	K	北	北	70×	○	N-10-E	9C・後半	未	未
55	2006	第20地9号住居	未	未	424×296×20	K	北	北	98×71	○	N-4-E	8C	未	未
56	2006	第20地10号住居	未	未	190×(215)×15	K	北	北	98×84	○	N-19-E	8C~9C・後半	未	未
57	2006	第20地11号住居	未	未	4040×254×2	未	未	未	未	○	N-19-E	未	未	未
58	2006	第20地12号住居	未	未	375×295×20	K	未	未	100×80	○	N-10-E	8C~9C・後半	未	未
59	2006	第20地13号住居	未	未	214×(205)×16	K	未	未	105×95	○	N-10-E	8C~9C・後半~10C	未	未
60	2006	第20地14号住居	未	未	370×372×12	K	北	北	71×90	○	N-10-E	9C・後半	未	未
61	2006	第20地15号住居	未	未	294×232×26	K	未	未	141×88	○	N-10-E	9C・前半	未	未
62	2006	第20地16号住居	1/2	(直角形)	375×110×17	未	未	未	88×140	○	N-5-E	9C・後半	未	未
63	2009	第1地H3号住居	未	未	310×276×29	K	未	未	105×90	○	N-7-E	9C	未	未
64	2009	第1地H4号住居	未	未	215×265×15	K	未	未	82×40	未	N-8-E	9C	未	未
65	2011	第1地H5号住居	未	未	355×400×25	K	北東	北東	113×132	○	N-27-E	10C	未	未
66	2011	第1地H6号住居	未	未	420×365×30	K	未	未	49×105	○	N-9-E	8C後半~9C初期	未	未
67	2011	第1地H7号住居	未	未	(200)×330×30	K	未	未	未	○	N-9-E	10C	未	未
68	2011	第1地H8号住居	未	未	(370)×470×50	K	未	未	未	未	未	未	未	未
69	2011	第1地H9号住居	未	未	320×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
70	2012	第1地H10号住居	2/3	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未
71	2012	第1地H11号住居	未	未	370×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
72	2012	第1地H12号住居	未	未	370×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
73	2012	第1地H13号住居	未	未	370×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
74	2012	第1地H14号住居	未	未	370×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
75	2012	第1地H15号住居	未	未	370×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
76	2012	第1地H16号住居	未	未	370×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
77	2012	第1地H17号住居	未	未	370×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
78	2012	第1地H18号住居	未	未	370×(177)×60	K	北	北	77×40	○	E-7-S	9C・後半	未	未
79	2015	第42地H7号住居	未	未	(340)×(350)	未	未	未	未	未	未	未	未	未
80	2015	第44地H8号住居	1/2~1/3	(直角形)	330×140G上	未	未	未	未	○	9-C代	未	未	未

II 川崎遺跡第42地点

(1) 調査の概要

調査は集会所建設に伴うもので、原因者より2015年5月18日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月26日と7月2日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、現地表面下約20cmで平安時代の住居跡1軒を確認した。建物基礎の深さは43cmであるが、55cmの盛土を行うため30cm以上の保護層が確保できることとして、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

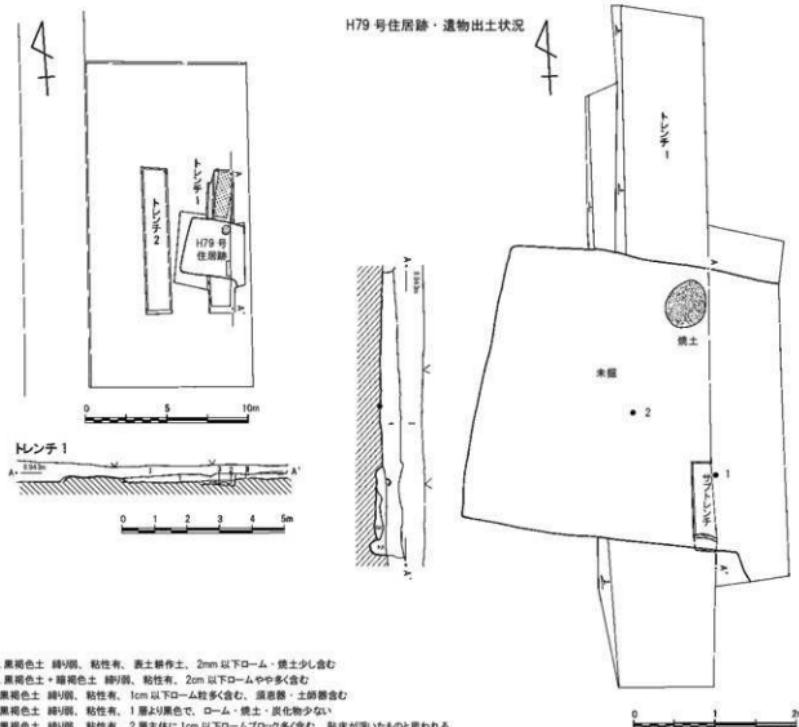
(2) 遺構と遺物

① H79号住居跡

調査区東側中央でプランのみ検出した。東西3.4m以上、南北3.5mの規模を有する。窓は確認していないが、北東隅で焼土が集中する箇所を検出した。

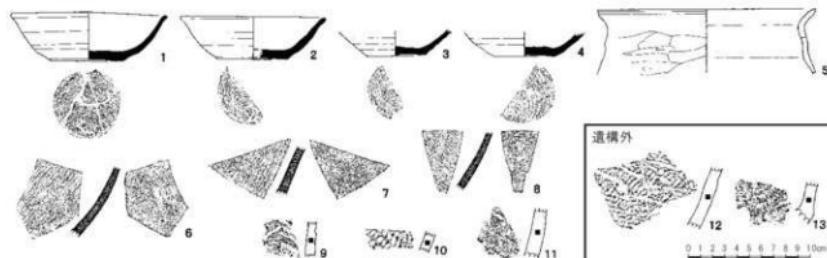
② 出土遺物

遺物については第25図及び第18表に掲載した。



第24図 川崎遺跡第42地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、H79号住居跡(1/60)

H79号住居跡



第25図 川崎遺跡第42地点出土遺物(1/4)

第18表 川崎遺跡第42地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

回収番号	出土遺構	種別/器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法・文様/胎土・備考	推定産地	推定年代
第25図-1	H79号住居跡	須恵器/环	12.5	4.2	5.7	回転糸切り未調整、酸化炎焼成	—	9世紀後半
第25図-2		須恵器/环	(12.0)	3.5	(5.8)	回転糸切り未調整／僅かに海綿骨針を含む、チャート等小器を含む	南比企産	9世紀後半
第25図-3		須恵器/环	—	(1.9)	(5.0)	回転糸切り未調整、灰白色を呈する	—	9世紀後半以降
第25図-4		須恵器/环	—	(2.0)	(5.0)	回転糸切り未調整／白色粒子が多く含む	東金子産	9世紀後半以降
第25図-5		土師器/甕	(18.0)	(5.3)	—	口縁部内外面ナデ、体部外表面ハラケズリ	—	9世紀後半
第25図-6		須恵器/甕	—	(5.7)	—	外表面平行タタキ、内面無文當て具／僅かに海綿骨針を含むか、微細な白色粒子を多く含む	—	—
第25図-7		須恵器/甕	—	(4.0)	—	外表面平行タタキ、内面無文當て具／微細な白色粒子を多く含む	—	—
第25図-8		須恵器/甕	—	(4.8)	—	外表面平行タタキ、内面無文當て具、灰白色を呈する	—	—
第25図-9		縄文/破片	—	—	—	沈線	—	縄文前期
第25図-10		縄文/破片	—	—	—	縦位RL縄文	—	縄文前期
第25図-11		縄文/破片	—	—	—	無文	—	縄文
第25図-12	遺構外	縄文/破片	—	—	—	付加条(軸RL+r?)	—	縄文前期
第25図-13	遺構外	縄文/破片	—	—	—	底部付近、磨滅が激しい	—	縄文前期

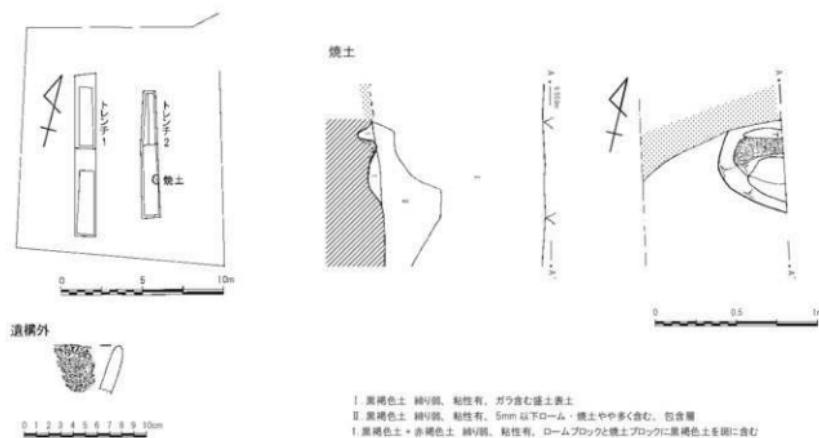
III 川崎遺跡第43地点

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年5月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月26日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1~1.2mのトレンチ2本を設定

し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは1~1.2mである。時期不明の焼土跡を確認したが、遺物は伴わなかった。遺構の属性が確認できなかったため、今回は遺構として取り扱っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

表土中より1点遺物が出土している。口縁部である。磨滅が激しく、文様・時期等は不明である。縄文時代。



第26図 川崎遺跡第43地点遺構配置図(1/300)、焼土(1/30)、出土遺物(1/4)

IV 川崎遺跡第44地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年11月24日～12月10日まで試掘調査、2016年1月5日～20日まで本調査を行った。調査の結果、縄文時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡1軒、貝層を伴う地下式坑他を検出した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集「市内遺跡群19」(2017年3月刊行)にて報告済みのため本書では割愛するが、地下式坑内から出土した貝についての報告が十分ではなかつたため、本書にて追記する。

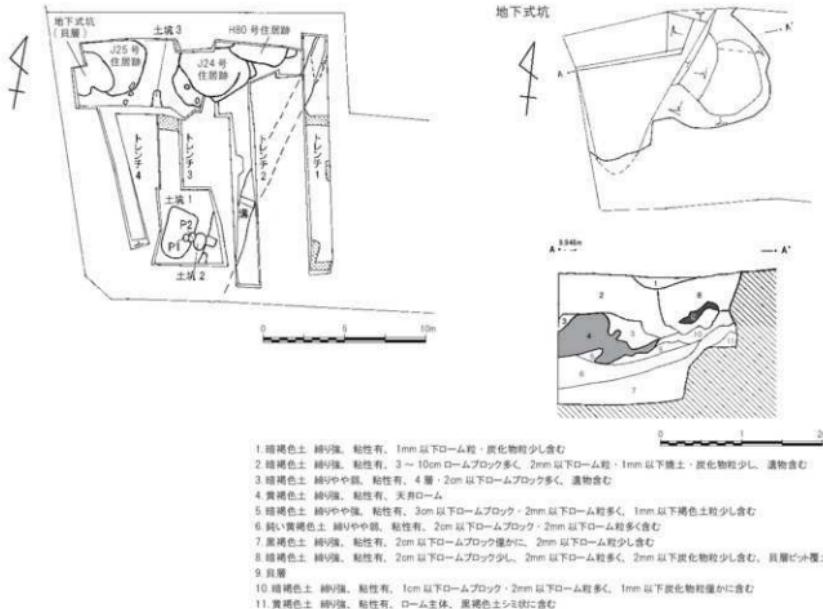
(2) 遺構と遺物

貝層は地下式坑の覆土中より出土した。土層の観察から、地下式坑の埋没過程で廃棄がなされたものと考えられる。貝の詳細については第19表及び第28図に掲載した。

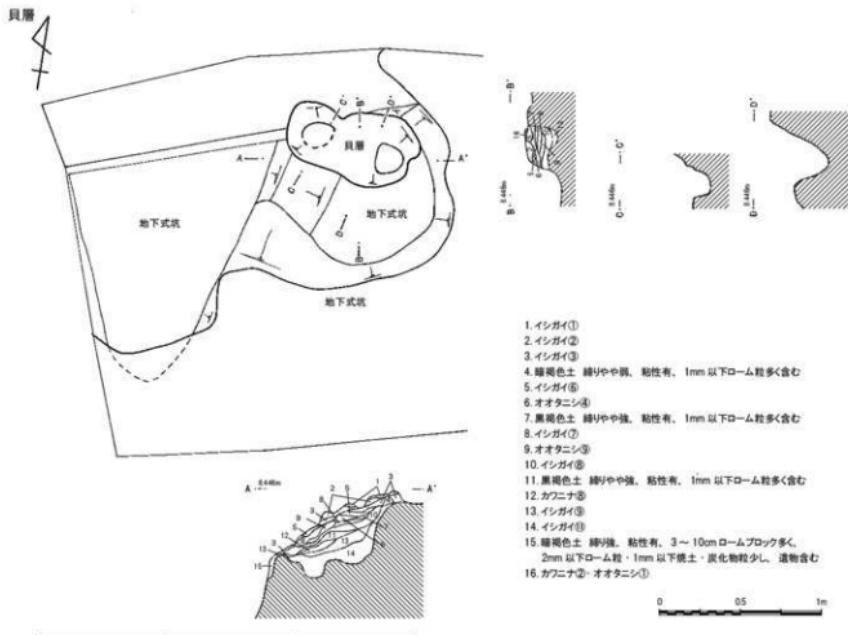
本地点で出土した貝はマツカサガイ・チリメンカワニナ・オオタニシ・マルタニシである。主体はマツカサガイで、全体量の72.6%を占める。次にチリメン

カワニナ、オオタニシと続く。マルタニシは数点確認できたのみである。出土した貝はいずれも淡水に生息するもので、新河岸川で採取したものと廃棄した跡と推測できる。

今回の調査で発見された貝塚は、地下式坑の天井崩落以降あまり間を置かずに廃棄が開始されたものと考えられる。地下式坑の帰属時期は遺構の大半が未調査のため不明である。本地点から南西に約240m離れた第22地点の調査で検出した地下式坑は、出土した瀬戸産の陶器の花瓶から14世紀中葉に帰属する。本地点の地下式坑も同様の時期である可能性が考えられる。また、中世と思われる貝塚としては本地点より約1.3km南の滝遺跡第25地点で確認されている。古代以降と考えられる井戸が完全に埋没した後、新たにビットを掘削して貝類を廃棄している。ここで検出した貝類も主体はマツカサガイで、チリメンカワニナとタニシを含んでおり、本地点の貝類の構成と共通する。周辺の事例を含めて考えると、今回の調査で発見された貝塚も中世以降の所産である可能性が高い。



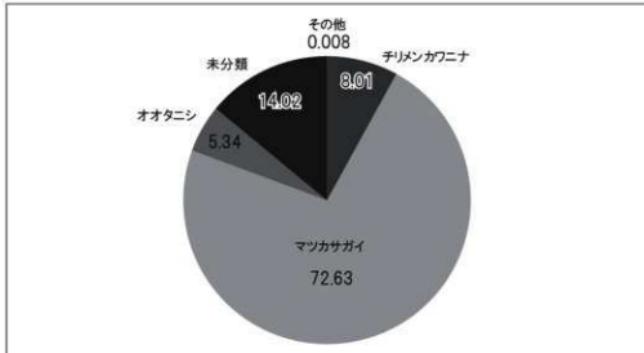
第27図 川崎遺跡第44地点遺構配図(1/300)、地下式坑(1/60)



洗浄前 全体重量(g)	貝類重量(g)	混貝率(%)
49362.93	5719.43	11.60

チリメンカワニナ	マツカサガイ	オオタニシ	未分類	その他	合計
457.99	4153.8	305.57	801.6	0.47	5719.43

第19表 川崎遺跡第44地点地下式坑出土貝層の貝類出土量と混貝率



第28図 川崎遺跡第44地点貝層(1/30)、地下式坑出土貝層の貝類遺体組成

第6章 ハケ遺跡の調査

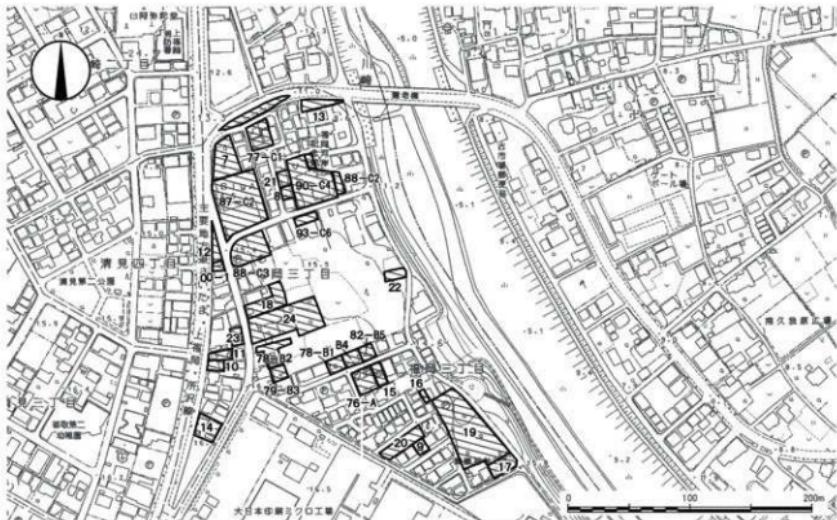
I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武藏野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武藏野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16mで、遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畠が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晚期、古墳時

代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年4月現在31ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015年の第19地点でも新たに3基の円墳を検出した。本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。

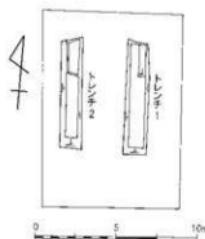


II ハケ遺跡第21地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年9月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年1月5日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1.5mのトレーニング2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

調査の結果、現地表面から約100cmまで擾乱土であり地山ローム層は確認できなかった。遺構・遺物は確認されなかつたため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第30図 ハケ遺跡第21地点調査区域図(1/300)

第20表 ハケ遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (平成試掘調査)	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中幡町字通井1228~2021	1976.9.11~16	306	個人住宅	古墳住居跡1、竪穴状遺構3、縄文土器	上福岡市道跡調査報告書
C-1次	大字中幡町字通井1480	1977.8.2~27	1,794	宅地造成	古墳住居跡5、奈良平安住居跡2、竪穴状遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会・ハケ遺跡C地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28~9.10	165	個人住宅	道幅なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(1)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11~25	360	自家建設	土坑4、炉跡1、土器	埋蔵文化財の調査(1)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20~31	166	土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(2)	
B-5次	大字中幡町字通井1228-46	1982.5.30~17	165	溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(5)	
C-2次	福岡3-2068-1~2	1987.4.16~5.29	1,900	食庫付住宅改築	城文中期住居跡11、奈良平安住居4、竪穴1	埋蔵文化財の調査(X)
C-3次	福岡3-2-1	1988.8.15~20	627	駐車場	城文中期住居跡4、平安住居2	埋蔵文化財の調査(11)
C-5次	福岡3-4-2	1988.10.24~28	60	施設改修工事	城文中期住居跡1	埋蔵文化財の調査(11)
C-4次	旧福岡廢熱地内	1990.6.20~9.6 H3.1月末~健続調査予定	500	旧廃熱地付近石路跡、廻沿厚壁遺跡、(櫛形・火炎3・木置跡・粘土丸)・(土坑4・竪穴6・柱跡1)・(城文中期住居跡12・溝1~4・奈良住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文後・弥生後・施設跡3	2年度健続調査 市史資料編	
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6~18	141.91	個人住宅	城文中期土器6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10~1.31	54	河岸記念整理整備・ 造成工事	城文中期住居跡5、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C-5次	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	道幅遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10~22)	666	宅地造成	城文・奈良平安住居跡接出	市内遺跡群3
CX-8	福岡3-2069-9	(2009.1.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群6
CX-9	福岡3-1257-7、1259-1	(2010.2.2~4)	120	個人住宅	土坑1、風削木1	市内遺跡群8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	個人住宅	時代不明1	市内遺跡群14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21~22)	157.7	分譲住宅	城文時代厚壁堆積1、土器	市内遺跡群14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ビット1、土器	市内遺跡群15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.2~3)	183	個人住宅	道幅遺物なし	市内遺跡群18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	道幅遺物なし	市内遺跡群18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8~9)	184.09	共同住宅	道幅遺物なし	市内遺跡群20
16	福岡3-1254-7+14+17	(2014.8.11~9.2.9.3~9)	68	分譲住宅	古墳1基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	市内遺跡群21
17	福岡3-1219-1~2	(2014.9.26~30)	98.58	個人住宅	現代の古玉1、近世~近代陶磁器、ガラス製品	市内遺跡群20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4~10) 2015.1.6~16	510.67	個人住宅	城文時代中期住居跡1、炉4、土坑2、溝2、縄文土器	市内遺跡群16
19	福岡3-1222-1、1223~1225、 1255	(2015.3.17~5/11/10/13) 6/2~9/19	2,296.5	宅地造成	古墳3、溝1、縄文土器、土器器、埴輪	市内遺跡群21
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14~16) 2015.10.29~30	375	分譲住宅	古代以降の竪穴1、土坑1、土器器、火工廠焼却机	市内遺跡群21
21	福岡3-1193-4~15、2069-10	(2016.1.5)	101	個人住宅	道幅遺物なし	市内遺跡群22
22	福岡3-2061の一部	(2016.12.26~2017.1.19) 2017.1.25~2.8	249.32	まけ自治会集合施設	古代住居跡1(H18)、土坑13、ビット13、縄文土器、土器器	未報告
23	福岡3-1183-1の一部	(2017.7.18)	137	個人住宅	ビット、縄文土器片	未報告
24	福岡3-1178-1、1179-1、1180- 1、1181-2、2066-2、2067	(2017.7.19~27) 2017.7.28~8.7	1,702.15	宅地造成	城文時代住居跡1、竪穴状遺構1、土坑2、輪明不明集石土 坑1、ビット2、縄文土器、石器、須恵器、陶瓶器	未報告

第7章 権現山遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

権現山遺跡は、武藏野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武藏野段丘面のいわゆる川崎台の南東端部に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。また、南側は旧清水という小川が流れれる低地で、やはり急傾斜の斜面を形成する。標高は16~18mを測る。遺跡の範囲は南北300m、東西300m以上ある。

周辺の遺跡は、台地続きの北側に縄文時代前期・中期・晚期、古墳時代の集落がある著名な上福岡貝塚、台地下の低地面に縄文時代早期・前期、古墳から奈良・平安時代の集落跡である滝遺跡がある。

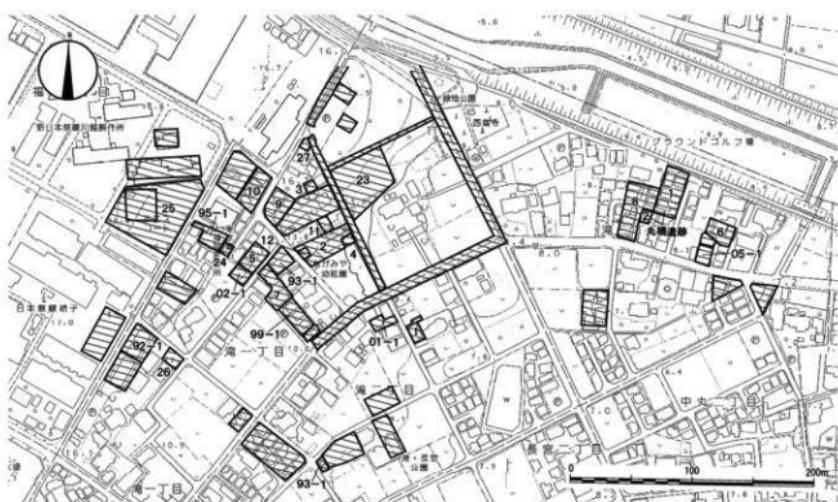
権現山遺跡は大正6年に安部立郎氏により「権現山といふ円形古墳」(安部1917)として紹介された。その後、1937年(昭和12年)に山内清男、関野克によって上福岡貝塚が調査された折に作成された遺構配置図には、新河岸川沿いに3群6基の古墳が記述されている。(山内1937)戦後は『埼玉県史』(1951)、『古墳調査報告書一入間地区』(1961)等に古墳の記載がある。しかし、1965年に行われた通称「厄病塚」

(権現山北古墳群2M・3M)の調査では古墳の確証が得られず、十三塚の可能性が考察されている。

一方、通称「権現山」(権現山古墳群2M)は徳川家康が鷹狩りに訪れたという伝承から、1963年に市指定文化財(上福岡市)に指定された。資料上の初見は元禄12(1699)年の「武州入間郡福岡村除地水帳」に「権現 社地」の記載があり、塚の上には天保11(1840)年2月造立の「東照神祖命」の石造物が安置される。

その後1982年~1993年までの6次にわたる発掘調査により、古墳時代前期の古墳群(11基)が発見され、「権現山」はいわゆる前方後方墳であることが判明し、2002年3月22日県指定文化財に指定された。

1982年以来2018年4月現在、27ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代中期の集落、古墳時代前期の方形周溝墓群、古墳時代の集落、奈良・平安時代の集落である。なお、滝遺跡の第3・5・9・10次調査および、1995年と2002年の試掘は権現山遺跡の範囲に入っているため、権現山遺跡第1・2・5~7・14・17地点へ変更した。



第31図 権現山遺跡の地形と調査区(1/4,000)

II 権現山遺跡第26地点

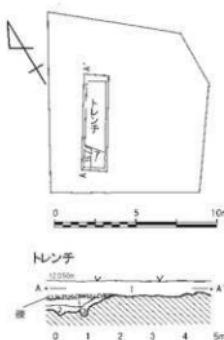
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年10月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月30日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったが、表土層下で砂利を作う道路状の硬化面と溝状の掘り込みを検出した。土層の観察から近代以降に帰属するものと考えられる。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第21表 権現山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (~)は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	満1-4-15	1980.6.27~7.3	76	個人住宅	古墳住居跡1。横(田舎3次)	埋蔵文化財の調査(III)
2	満1-3-21	1980.7.20~31	330		遺構なし。中世以降陶器片(田舎5次)	埋蔵文化財の調査(III)
3	満3-4-7	1982.1.20~2.6	50	自転車駐営設置 「公共事業」	古墳方形周溝墓。豊形土器、磁文中期住居跡1。磁文土器多数	56年度教育費観
4	満1-5-4	1982.1.28~28	200	範囲確認調査	古墳方形周溝墓6。古墳古墳跡1	埋蔵文化財の調査(V)/上福岡市史資料編1
4	満1-5-4	1983.5.18~6.28	100	範囲確認調査	古墳住居跡1。万葉周溝墓1	埋蔵文化財の調査(V)/上福岡市史資料編1
5	満1-4-4	1984.5.11~22	466	住宅建設	満2(田舎9次)	埋蔵文化財の調査(VII)/上福岡市史資料編1
6	満1-3-17	1984.6.1~12	363	住宅建設	古墳住居跡1、満4、土坑3(田舎10次)	埋蔵文化財の調査(VI)/上福岡市史資料編1
7	満1-4-2	1984.6.28~30	33	住宅建設	集石2、土坑2(田舎11次)	埋蔵文化財の調査(VI)/上福岡市史資料編1
8	大学福岡1500	1985.1.20~2.25	市道舗装工事	方形周溝墓2。古墳3。酒器器-豊形土器	59年度教育費観/上福岡市史資料編1	
9	満1-4-8	1985.8.9~9.9	430	範囲確認調査	古墳住居跡2。平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(VII)
10	満1-5-9~10	1986.2.10~22	202	範囲確認調査	第2南溝の前方部の調査	埋蔵文化財の調査(VII)
11	福岡3-1187-4	1988.6.7~14	3,200	工場増築	古1。奈良-平安住居跡4	
12	満1-6-7	1989.2.20~3.6	2,000	農地改善工事	古墳住居跡3。方形周溝4。古墳溝跡1。中世大溝跡 古墳住居跡1。中世大溝跡1	埋蔵文化財の調査(11)/上福岡市史資料編1
13	満1-6-1	1989.5.8~	1,724	農地改善工事	方形周溝4	H1年度教育費観
13	満1-5-4	1993.7~8		範囲確認調査	2号地。11年壙のトレンチ調査	上福岡市史資料編1
14	満1-3-13	1995.11.27~30	462	共同住宅	なし(田舎試掘)	埋蔵文化財の調査(18)
15	満1-4-3	1996.6.15~5.7	396	個人住宅	古墳住居跡1。満1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(19)
16	満1-3-49	2002.5.29~30	165	個人住宅	なし(田舎試掘)	埋蔵文化財の調査(25)
17	満1-3-16	2004.5.17~27	856	範囲確認調査	奈良敷穴住居跡2(16、17号)【調査済み】	埋蔵文化財の調査(27)
18	満1-5-4	2006.4.25~27		古墳群保存整備工事		
19	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
20	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
21	字福岡2-1500-23(工場内)			工場増築		
22	満1-3-58~60			住宅建設		
23	満1-6-7	2008.10.23~29	1,576	古墳群保存整備	土坑3、魚石1。須恵器、土器	市内遺跡群6
24	満1-3-25	(2013.5.17)	90	個人住宅	遺構なし。土師器、土器	市内遺跡群18
25	福岡2-1-1	(2014.6.2~7.18) 2014.7.22~9.2	3,588	事務所	磁文時代の卯穴2-土坑1。古代住居跡3-満3、須恵器-土器	市内遺跡群16
26	満1-3-23	(2015.11.30)	97	個人住宅	遺構物なし	市内遺跡群22
27	満1-4-6	(2017.7.3~4)	63	建売住宅	ピット2(時期不明)、磁文土器、土師器、須恵器破片	未報告



第32図 権現山遺跡第26地点調査区域図(1/300)、
土層(1/150)

第8章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武藏野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武藏野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

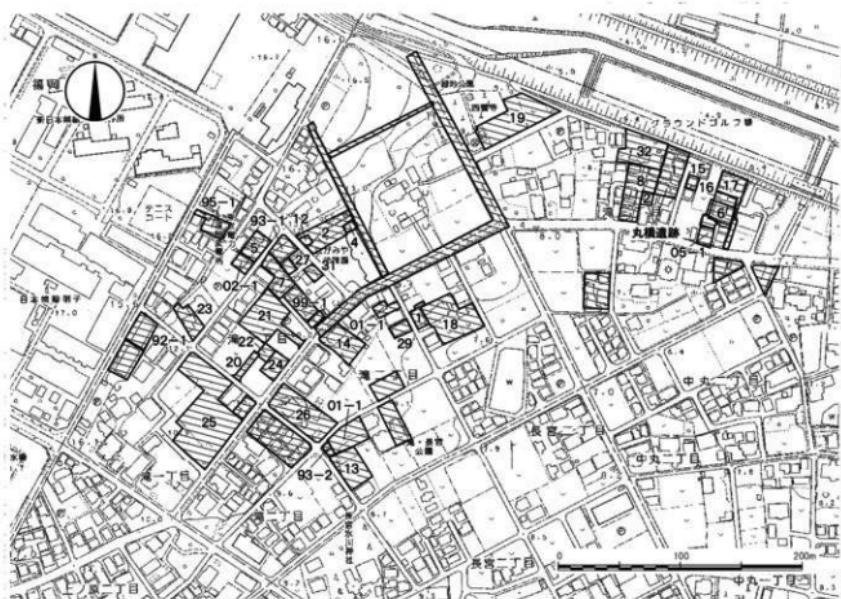
「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畠が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期・中期・晚期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ

南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡(1981年の変更増補で滝遺跡と合併)で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以来2018年4月現在、44ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(I)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡第1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と構造は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代～奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り造構(集石を作り)である。



第33図 滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第 22 表 淹遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (~)は試掘調査	面積 (m ²)	調査原因	確認された構造と遺物	所収報告書	備考
丸橋 1 次	瀬3-3-77~81	(1976.6.26~72) 1976.7.26~8.12	543	住宅建設	古墳前期住居跡 1・後期住居跡 1	上福岡市道跡調査報告書	丸橋遺跡は港道跡への統合
丸橋 2 次	瀬3-3-13	1978.7.26~8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑 1・現代溝 1	埋蔵文化財の調査(1)	
1 次	瀬2-6-11	1978.10.2~13	129	住宅建設	住居跡 1・土師器	埋蔵文化財の調査(1)	
2 次	瀬1-4-2	1979.4.15~5.7	278	幼稚園・保育園	住居跡 5・周溝、土坑、瓦器、土器	埋蔵文化財の調査(1)	
3 次	瀬1-4-15	1980.6.27~7.3	76	住宅建設	椎明山道路 1 地点に変更。欠番とする	埋蔵文化財の調査(3)	椎明山道路へ変更
4 次	瀬1-4-15	1980.7.7~12	105	住宅建設	道路なし。平安土器群片	埋蔵文化財の調査(4)	
5 次	瀬1-3-21	1980.7.20~31	330	住宅建設	椎明山道路 2 地点に変更。欠番とする	埋蔵文化財の調査(5)	椎明山道路へ変更
6 次	瀬3-3-6	1980.11.20~12.2	166	住宅建設	埴文土器。奈良住居跡 2・櫛文朝土器、石器、奈良土器	埋蔵文化財の調査(6)	
7 次	瀬1-1-19	1981.7.30~31	400	個人住宅	道路なし。埴文土器片	埋蔵文化財の調査(7)	
8 次	瀬3-3-15他	1983.11.14~26	990	住宅建設	古墳住居跡 2	埋蔵文化財の調査(8)	
9 次	瀬1-4-4	1984.5.11~22	466	住宅建設	椎明山道路 5 地点に変更。欠番とする	埋蔵文化財の調査(9)	椎明山道路へ変更
10 次	瀬1-3-17	1984.6.1~12	363	住宅建設	椎明山道路 6 地点に変更。欠番とする	埋蔵文化財の調査(10)	椎明山道路へ変更
11 次	瀬1-4-2	1984.6.28~30	33.12	物置建設	椎明山道路 7 地点に変更。欠番とする	埋蔵文化財の調査(11)	椎明山道路へ変更
12 次	瀬1-4-2	1984.12.22~24	94	住宅建設	道路遺物なし	埋蔵文化財の調査(12)	
93試(1)	瀬1-2-14の一部	(1992.7.6~8)	400	倉庫建設	道路遺物なし	埋蔵文化財の調査(13)	
93試(1)	瀬1-1-4	(1993.4.23~26)	313.08	共同住宅	道路遺物なし	埋蔵文化財の調査(14)	
93試(2)	瀬2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	道路遺物なし	埋蔵文化財の調査(15)	
95試(1)	瀬1-3-13	(1995.11.27~30)	462	共同住宅	椎明山道路 14 地点に変更。欠番とする	埋蔵文化財の調査(16)	
99試(1)	瀬1-1-6	(1999.10.21~22)	511.09	宅地造成(土器分離)	道路遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)	
00試(1)	瀬2-5-20	(2001.1.23~24)	154.7	個人住宅	道路遺物なし	埋蔵文化財の調査(23)	
01試(1)	瀬2-2-8	(2001.4.17~20)	519.64	共同住宅	奈良初跡住居跡 1	埋蔵文化財の調査(24)	
02試(1)	瀬1-3-49	(2002.5.29~30)	165	個人住宅	椎明山道路 17 地点に変更。欠番とする	埋蔵文化財の調査(25)	
05試(1)	瀬3-3-5-143	(2005.6.24~27)	350	個人住宅	道路遺物なし	市内道路群 1	
立会	瀬1-4-1-26-27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	道路遺物なし	市内道路群 1	
12	瀬2-5-3-4の一部	2007.2.6	472	個人住宅	道路遺物なし	市内道路群 3	
13	瀬2-2-6	2007.10.24~11.11	737.7	共同住宅	埴土範囲 2、ピット 8	市内道路群 4	
14	瀬2-5-11-17	(2007.11.8~19) 2007.11.20~12.6	692	分譲住宅	住居跡 7・溝 3、井戸 1。済器器、土師器	市内道路群 4	
15	瀬3-3-84	(2009.9.2~14) 2009.10.23~11.6	106	分譲住宅	8 号跡住居跡 1、井戸 1・土坑 6、ピット 20、済器器、土師器、絆繩	市内道路群 7	
16	瀬3-145	(2009.12.2~14)	434	宅地造成	ピット 3	市内道路群 8	
17	瀬3-3-6-144	(2010.5.6~6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡 5・井戸 1・土坑 4、溝 2、集石	市内道路群 10	
18	瀬2-6-4-6	(2011.6.6~13) 2011.6.14~7.4	1,164	個人住宅	古墳時代住居跡 2 地・土師器、近世陶器等	市内道路群 14	
19	瀬3-4-2	(2011.10.17~24)	1,277.16	分譲住宅	溝 2、陶器等	市内道路群 14	
20	瀬1-8-9	(2012.5.9~11)	124.45	道路施設	奈良・平安時代住居跡 1。時期不明井戸、土坑、ピット	市内道路群 12	
21	瀬1-1-7-26-31	(2012.5.11~21) 2012.7.17~8.25	1,176.25	共同住宅	奈良平安時代窯冶付住居跡 1 (H31)・奈良平安時代古代住居跡 2 (H32~H33)・擬立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、土師器、絆繩、窯冶関連遺物	市内道路群 12	
22	瀬1-1-40	(2013.7.30)	114	個人住宅	道路遺物なし	市内道路群 18	
23	瀬1-3-5の一部	(2014.2.12)	371	個人住宅	道路遺物なし	市内道路群 18	
24	瀬1-1-8の一部	(2014.7.16~18)	222.8	分譲住宅	奈良平安時代と見られる土坑 2、ピット 2	市内道路群 20	
25	瀬1-2-4-32	(2014.7.17~8-26) 2014.9.8~10.31	2,804	宅地造成	古代住居跡 8 (H34~H41)、擬立柱建物跡、井戸 4、土坑 3、溝 2、ピット 23、済器器、土器	市内道路群 16	
26	瀬2-5-6-8	(2015.10.19~27) 2015.11.9~10	1,231	個人住宅	古代時代と見し穴 1、古代住居跡 2 (H42~H43)、時代不明井戸 5・土坑 7、ピット 44、溝 2、陶文土器、石器、土師器、絆繩	市内道路群 22	
27	瀬1-1-25	(2015.11.27~12.1)	155	個人住宅	古代住居跡 1 (H44)、ピット 3、土師器、磁石	市内道路群 22	
28	瀬1-4-4-26-27	(2016.9.3~6)	2,492.15	幼稚園・保育園	住居跡 1・土師器、支脚	未報告	
29	瀬2-5-46	(2016.11.10)	150.41	個人住宅	溝 2、陶文土器、土師器	未報告	
30	瀬1-1-3	(2017.2.13~15)	303	分譲住宅	道路遺物なし。陶文土器	未報告	
31	瀬1-1-3	(2017.2.13~15)	109	個人住宅	道路遺物なし。	未報告	
32	瀬3-3-14	(2017.6.26~29)	784.54	分譲住宅	井戸 1、ピット 10 (近世以降か)、陶文土器、近世陶器等	未報告	

※理: 上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上通理: 上福岡市道跡調査報告書、改理: 上福岡市小学校報告書、市内: みじみ野市市内道路群報告書



第34図 淹没跡構分布図(1/2,000)

第23表 滝遺跡古代住居跡一覧表

新規 登録 年号	旧 開闢 年度	調査名	調査率	平面形 (「」は推定 又は推定値)	規模 (「」は推定 又は推定値)	炉 竈K.	設置 場所 位置	カド・炉環様 長軸 幅	面積	主軸 方向	時期	備考	文 獻		
1	1978	第1次1号住居	5/6	楕丸方形	640×(580)×40	伊	中央 西寄り	115	70	○	S-35-W	4世紀前半	4本柱穴、方形炉藏穴 110×95×40	埋蔵文化財の調査Ⅰ	
2	1979	第2次2号住居		延辺完解	正方形	(460)×470×45	K	北	{100}	106	○	N-32-W	7世紀前半	唐失住居、方形炉藏穴 62×55×45	埋蔵文化財の調査Ⅱ
3	1978	丸構造1次3号住居	2/3	正方形	(510×470)×15	K	北東	210	102	○	N-38-W	7世紀前半	唐失住居、(4本柱穴)	上福島市遺跡調査報告書	
6		第2次3号住居	完解	方形	(480×460)×15	—	—	—	—	○		9世紀前半		埋蔵文化財の調査Ⅱ	
4	1979	第2次4号住居	延辺完解	長方形	南北340×東西 380=415×30	K	北	160	110	○	N-14-W	8世紀前半		埋蔵文化財の調査Ⅱ	
5	1979	第2次5号住居	3/8	(正方形)	(490)×610×60	—	—	—	—	○	不明	8世紀前半	椭圓形外方内圓形	埋蔵文化財の調査Ⅱ	
—	1980	第3次5号住居	1/5	不明	(260×270)×30	—	—	—	—	○	不明	4世紀前半	複数山道跡、2号住居跡に 変更	埋蔵文化財の調査Ⅱ	
7	1980	第6次7号住居	1/3	正方形	620×(250)×12	K2基	A面:北 B面:西	115×90 122×90	○	N-52-E N-37-W	7世紀前半	建て替り、不規則 時藏穴175×95×20、 床面埴土面有	埋蔵文化財の調査Ⅱ		
8	2001	2001年度勘定確認 調査第15号住居跡		完解	方形	400×400×	K	北	不明	不明	○	不明	(8世紀前半) 今後15号住居跡から8 号住居跡に名称変更	埋蔵文化財の調査24	
9	1983	第8次9号住居	2/3	楕丸方形	(500)×470×20	伊3	中央北 西寄り	65×40 (35)×32 40×32	○	—	—	4世紀前半	唐失住居、床面硬化 範囲2ヶ所	埋蔵文化財の調査VI	
10	1983	第8次10号住居	完解	正方形	690×660×15	K	北東	215	125	○	N-52-E N-37-W	6世紀前半 (80)×75×35	椭圓形外方内圓形	埋蔵文化財の調査VI	
11	1984	第10次1号住居	完解	楕丸方形	445×(380)×35	K	北	115	95	○	N-5-W	6世紀前半	複数山道跡に変更	埋蔵文化財の調査VI	
12	1978	丸構造1次 12号住居	延辺完解	楕丸方形	980×770×20	土器 炉竈	北部	140	100	○	N-54-W N-36-E	4世紀前半	床面埴土有在	市史記述編1巻	
13	2007	第14次3号住居	1/2	方形	370×370×45	K	東	90	65	○	N-36-E		貼床	市内通路群4	
14	2007	第14次14号住居	4/5	(長方形)	385×(380)×202	K	北	171	82	○	東北	8世紀前半	北企型糞多出土、貼床	市内通路群4	
15	2007	第14次15号住居	1/3	不明	(370×)×20	—	—	—	—	—	—		糞未検出、貼床	市内通路群4	
16	2007	第14次16号住居	1/4	不明	(250)×170×48	—	—	—	—	○	—		糞未検出、貼床	市内通路群4	
17	2007	第14次17号住居	1/3	不明	(344×360)×102	—	—	—	—	○	—		糞未検出、貼床	市内通路群4	
18	2008	第14次18号住居	1/5	不明	(297×270)×30	—	—	—	—	○	—		糞未検出、貼床	市内通路群4	
19	2008	第14次19号住居	1/5	不明	(450×-)×350	K	北	{85}	(82)	—	—	8世紀前半 ～	14号住居より新	市内通路群4	
20	2009	H20号住居	2/3	楕丸方形	370×350×398							8世紀		市内通路群7	
21	2009	H21号住居	一部	不明	285×(135)×	K	東							市内通路群8	
22	2009	H22号住居	一部	不明	—									市内通路群8	
23	2010	H23号住居	プラン	長方形	595×700×27	K	北				N-46-W	8世紀	H24、H26住居より新	市内通路群10	
24	2010	H24号住居	プラン	(方形)	590×(265)×30							8世紀	H23、H26住居より古、 H25住居より新	市内通路群10	
25	2010	H25号住居	プラン	長方形	810×700×12						N-46-W	7世紀	H23、H24住居より古	市内通路群10	
26	2010	H26号住居	プラン	(方形)	450×(110)×40							8世紀	H24住居より新	市内通路群10	
27	2010	H27号住居	プラン	方形	420×400×10									市内通路群10	
28	2011	H28号住居	完解	楕丸方形	660×630×18.2	伊		165	110	○	N-34-W	4世紀後半		市内通路群14	
29	2011	H29号住居	1/2	(楕丸長方形)	290×648×18.2							4世紀後半		市内通路群14	
30	2012	H30号住居	4/5	方形	410×390×5	K	東			○	N-75-E	9世紀		市内通路群12	
31	2012	H31A号住居	完解	方形	780×770×50	K	北・東	95	130	○	N-92-E	8世紀前半		市内通路群12	
31	2012	H31B号住居	完解	方形	640×640×50	K	北	135	170	○	N-2-E	8世紀前半	圓泡炉	市内通路群12	
32	2012	H32号住居	一部	(方形)	—×—×25								保存のため調査	市内通路群12	
33	2012	H33号住居	一部	(方形)	—						N-0-E		保存のため調査	市内通路群12	
34	2014	H34号住居		(方形か長方 形)	420以上	K	東	156	132	○		7世紀中頃	全容は不明	市内通路群16	
35	2014	H35号住居	完解	長方形	360×220×48.6	K2基	北	119	111	○		8世紀中～ 後半	別住居の裏襍か鍵縛	市内通路群16	
36	2014	H36号住居		(方形か長方 形)	415×535×105	K	東	100	100	□2		8世紀前半 ～中頃		市内通路群16	
37	2014	H37号住居		正方形	460×460×66	K	北	111	87	○		7世紀後半	芦戸1と並重、住居のは うが古	市内通路群16	
38	2014	H38号住居											未調査	市内通路群16	
39	2014	H39号住居											未調査	市内通路群16	
40	2014	H40号住居											未調査	市内通路群16	
41	2014	H41号住居											未調査	市内通路群16	
42	2015	H42号住居	1/2以下	(正方形か長 方形)	(250×192)×20	K	北	{109}	{72}	□?		7世紀後半		市内通路群22	
43	2016	H43号住居	完解	方形	345×303×20	K	北	{108}	{90}	○		8世紀中頃 ～後半		市内通路群22	
44	2016	H44号住居	完解	不明	305×(250)					○		7世紀後半 ～		市内通路群22	

II 滝遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅及び分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや西寄りに位置する。申請者と協議の結果、個人住宅と分譲住宅2軒分に当たる南側を先行して試掘調査し、北側部分は既存建物撤去後に調査することとなった。

南側部分の調査は2015年10月19～27日まで実施した。調査は幅約1.5～1.8mのトレンチ6本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。北側部分は、2016年7月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が再提出された後、2016年8月24～9月9日まで試掘調査を実施した。調査は幅約1.2～1.5mのトレンチ8本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50～60cmである。

調査の結果、全体を通して平安時代の住居跡2軒、落とし穴1基、土坑7基、井戸5基、ピット多数、溝2条を検出した。個人住宅建設部分のみ遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、本調査を実施した。

本調査は2015年11月9～10日まで、調査区南東部の井戸3が確認された部分を重機で表土除去後、人力による調査を行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H42号住居跡

【位置・時期】 本住居跡は調査区東側、トレンチ6に位置する。東側は調査区外に延びるために未検出である。時期は出土遺物から7世紀後半と考えられる。

【形状・規模】 平面形態は長方形とみられるが全容は不明である。規模は長軸250cm以上、短軸192cm以上、深さ20cmである。柱穴、周溝は確認できなかった。

【竈】 竈は住居の北側に位置する。擾乱によって壊されており、僅かに袖部分と思われる粘土塊が残る程度であった。

【遺物出土状況】 遺物は竈の周辺部に集中して出土した。

② H43号住居跡

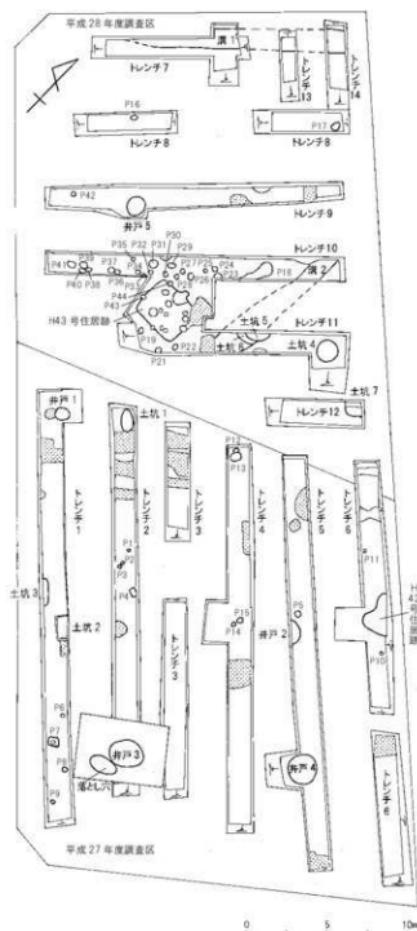
【位置・時期】 調査区中央部、トレンチ10・11に位置する。出土遺物から8世紀中～後半に帰属するも

のとみられる。

【形状・規模・掘方】 平面形態は方形で、北東部分が一部擾乱によって破壊されている。遺構の規模は345×303cm、深さ20cmである。掘方は地山ローム層まで全体的に掘り下げた後、貼床を行う。

【周溝】 周溝は北側の一部で僅かに確認できた。規模は上幅13.3cm、下幅6cm、深さ17cmである。

【ピット】 住居内で10基のピットを検出した。ピットの詳細については第37図及び第24表に掲載した。

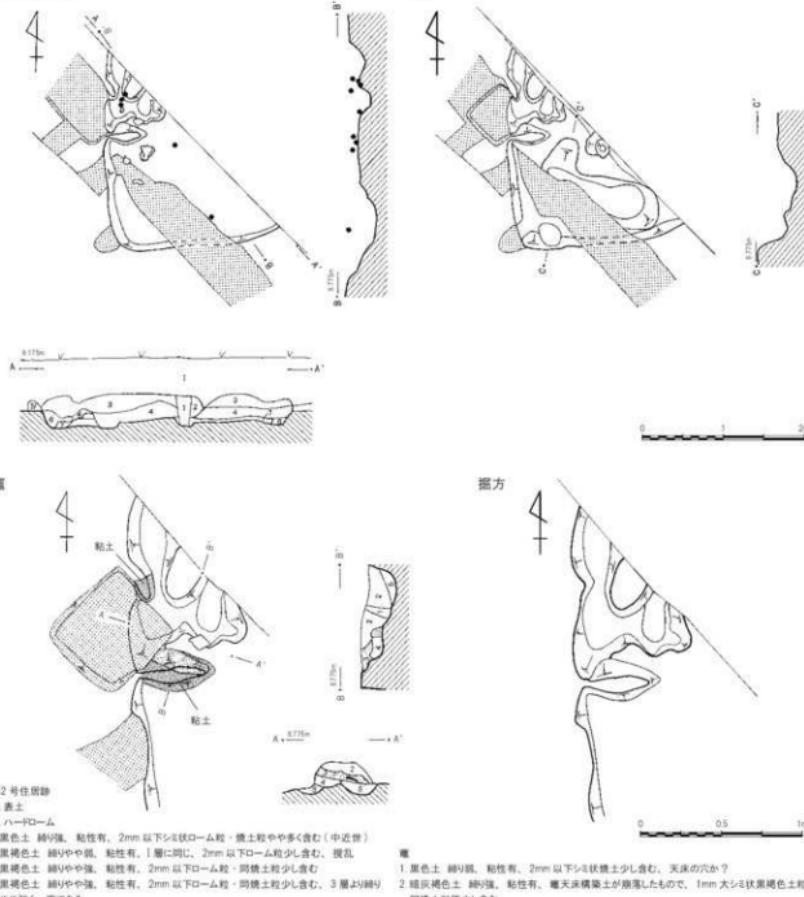


いずれのピットも浅いが、P4 と P6 は柱穴の可能性も考えられる。

【竈】北側に位置する。天井部は崩落しているが奥壁・燃焼部・両袖部が部分的に残存していた。竈残存部は黄灰色の粘土である。竈残存部は長軸 108 cm、幅 90 cm である。

【遺物出土状況】遺物は竈の周辺から集中して出土した。

遺物出土状況



第 36 図 滝遺跡第 26 地点 H42 号住居跡 (1/60)、竈 (1/30)

③落とし穴

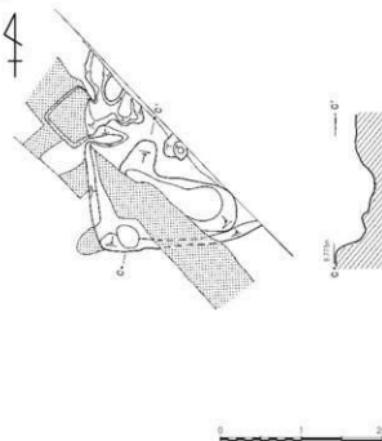
調査区南側で検出した。井戸 3 と切り合う。平面形状は楕円形で、遺構の規模は確認面径 167 × 101 cm、底径 122 × 54 cm、深さ 115.8 cm である。土層の観察から縄文時代のものであろう。

④土坑

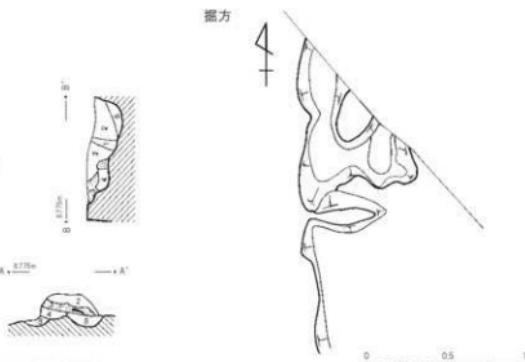
土坑の規模等詳細については第 25 表に掲載した。

【土坑 1】調査区中央部、トレーニチ 2 の東端で検出した。土層の観察から近世以降と考えられる。出土遺物はない。

掘方



竈



H42 号住居跡

I. 表土

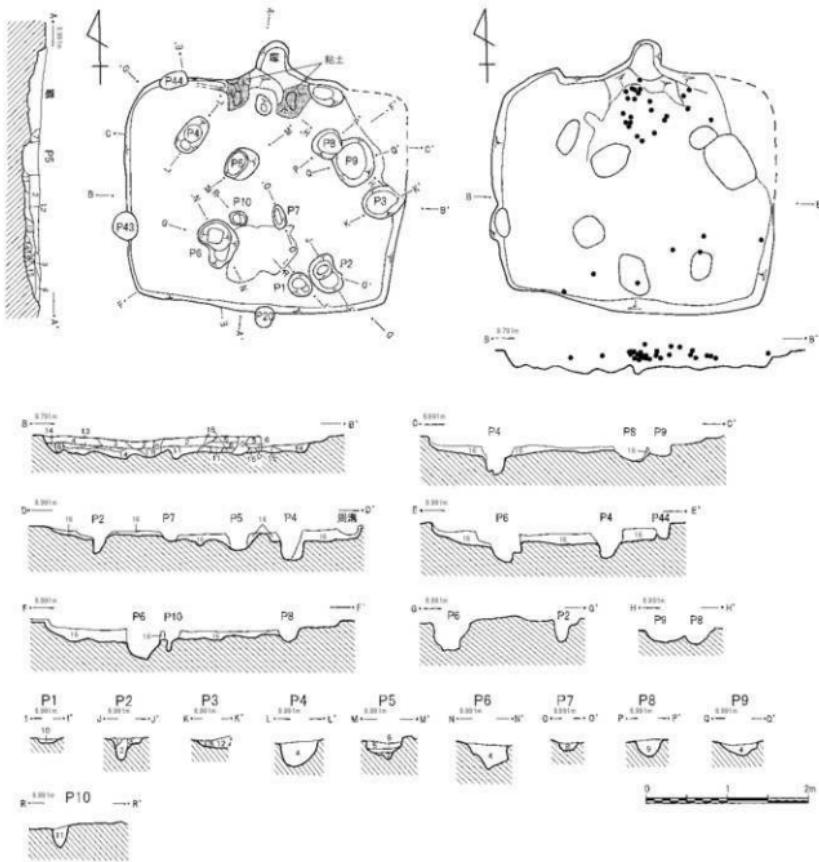
IV ハードローム

1. 黒色土 細り強、粘性有。2mm 以下シラムローム程・硬土程や多く含む(中近世)
2. 黒褐色土 細りや弱、粘性有。1 層に同じ、2mm 以下シラム粒少く含む、擾乱
3. 黑褐色土 細りや強、粘性有。2mm 以下シラム粒・同様土粒少く含む
4. 黑褐色土 細りや強、粘性有。2mm 以下シラム粒・同様土粒少く含む。3 層より細
5. 黑褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下シラム粒少く含む、擾乱層
6. 黑褐色土 細り強、粘性有。2mm 以下ローム粒多量に含む、擾乱層
7. 黑褐色土 細り強、粘性有。ローム主体に 1cm 以下黒土多く含む。粘土

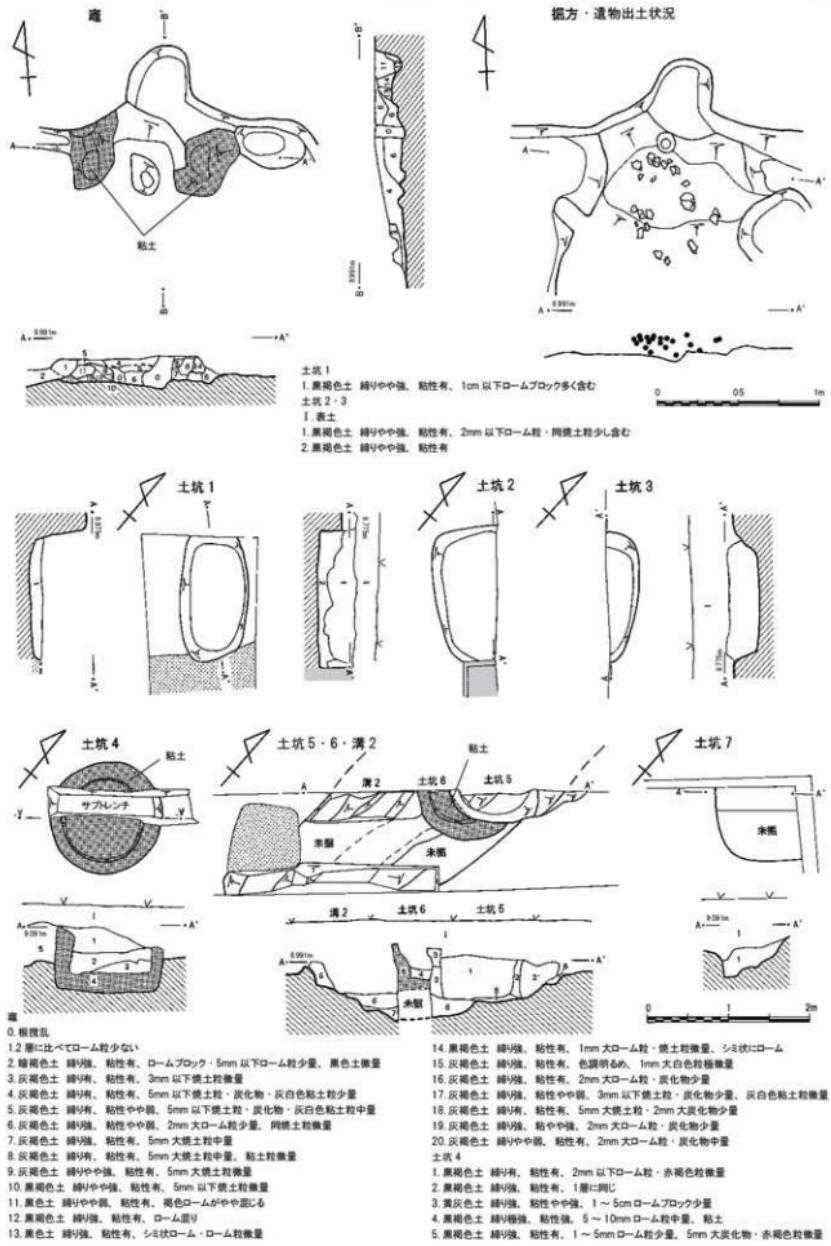
竈

1. 黒色土 細り強、粘性有。2mm 以下シラム粘土少し含む。天床の穴か？
2. 黑褐色土 細り強、粘性有。擾乱層で、天床の間接面
3. 黑褐色土 細りやや弱、粘性有。1mm 以下土粒多く含む。燃焼面下の灰層か？
4. 黑褐色土 細りやや弱、粘性有。5mm 以下ローム粒多く含む
5. 黑褐色土 細りやや弱、粘性有。5mm 以下ローム粒多く含む

遺物出土状況

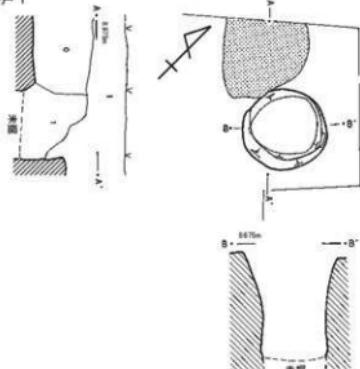
第24表 滝遺跡第26地点H43号住居内ピット一覧表
(単位cm)

0. 横乱
 1. 黒褐色土 繊りや強。粘性や強。1mm以下ローム粒少量含む
 2. 黒褐色土 繊りや強。粘性有。5mm以下ローム粒多量。同白色粒少量含む
 3. 黒褐色土 繊りや強。粘性有。2mm以下ローム粒微量に含む
 4. 黒褐色土 繊りや強。粘性有。1mm以下ローム粒少量含む
 5. 黒褐色土 繊りや強。粘性有。2層に近い。シミ柄にロームが混ざる
 6. 黑褐色土 粘り強。2mm以下ローム粒多量。鐵土粒極まれ。シミ柄にロームと上層の土が混じる
 7. 黑褐色土 繊り有。粘性有。2mm以下ローム粒。炭化物微量に。3mm以下鐵土粒少量含む
 8. 黑褐色土 繊り有。粘性有。5mm以下ローム粒多量。鐵土粒少量含む。周溝か
 9. 黑褐色土 繊りや強。粘性有。黒色土ブロック微量に含む
 10. 黑褐色土 細り強。粘性強。2mm以下ローム粒。炭化物微量に。3mm以下鐵土粒少量含む
 11. 黑褐色土 繊り有。粘性有。3mm以下ローム粒多量。同白色土少量含む
 12. 黑褐色土 細り強。粘性有。ローム・黒色土ブロック・5mm以下ローム粒少量含む
 13. 黑褐色土 細り強。粘性有。ローム・黒色土ブロック微量。5mm以下ローム粒中量含む
 14. 黑褐色土 細り強。粘性有。5mm以下ロームブロック・黒色土粒多量。ロームブロック少量含む
 15. 黄褐色土 繊り強。粘性や強。ローム主体。2cm 大量鐵土粒に含む。細り過ぎ?
 16. 鉄土

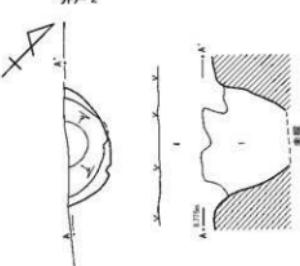


第38図 滝遺跡第26地点 H43号住居跡窟・据方(1/30)、土坑(1/60)

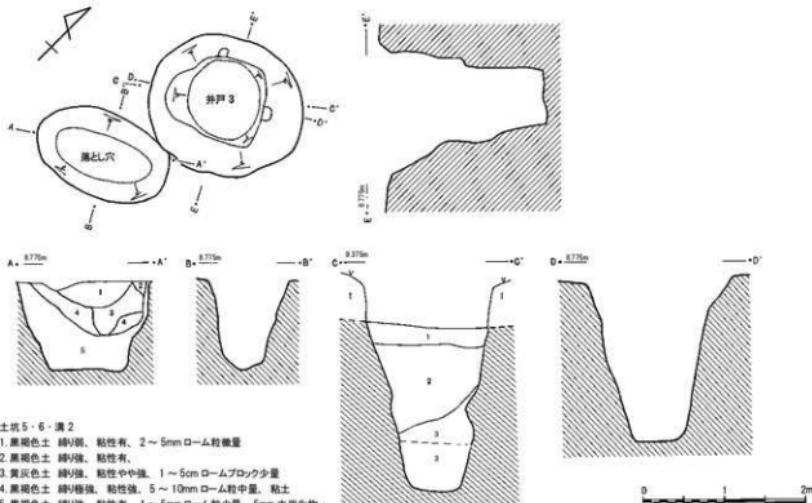
井戸 1



井戸 2



落とし穴・井戸 3



土坑 5・6・溝 2

1. 黒褐色土 繰り返す。粘性有。2~5mmローム粒微量
2. 黒褐色土 繰り返す。粘性有。
3. 黄褐色土 繰り返す。粘性や中強。1~5cmロームブロック少量
4. 黑褐色土 繰り返す。粘性強。5~10cmローム粒中量。粘土
5. 黑褐色土 繰り返す。粘性有。1~5mmローム粒少量。5mm大炭化物・赤褐色柱状量

土坑 7

1. 褐土
2. 黑褐色土 繰り返す。粘性有。1mm以下ローム粒微量に含む

落とし穴

1. 黑褐色土 繰り返す。粘性有。1mm以下ローム粒少し含む
2. 黄褐色土 繰り返す。粘性有。2cm大シミローム粒少し含む
3. 黄褐色土 繰り返す。粘性有。1cm以下ロームブロック・1mm以下ローム粒少し含む
4. 黄褐色土 繰り返す。粘性有。1cm以下ロームブロック・1mm以下ローム粒少し含む
5. 新よりローム生体

5. 黄褐色土 粘性有。1cm以下ロームブロック・1mm以下ローム粒多く。黒褐色土を斑に含む

井戸 4

1. 黑褐色土 繰りやや強。粘性有。3mm以下ローム粒・同ローム粒少し含む

2. 黄褐色土 繰りやや強。粘性有。ロームブロック

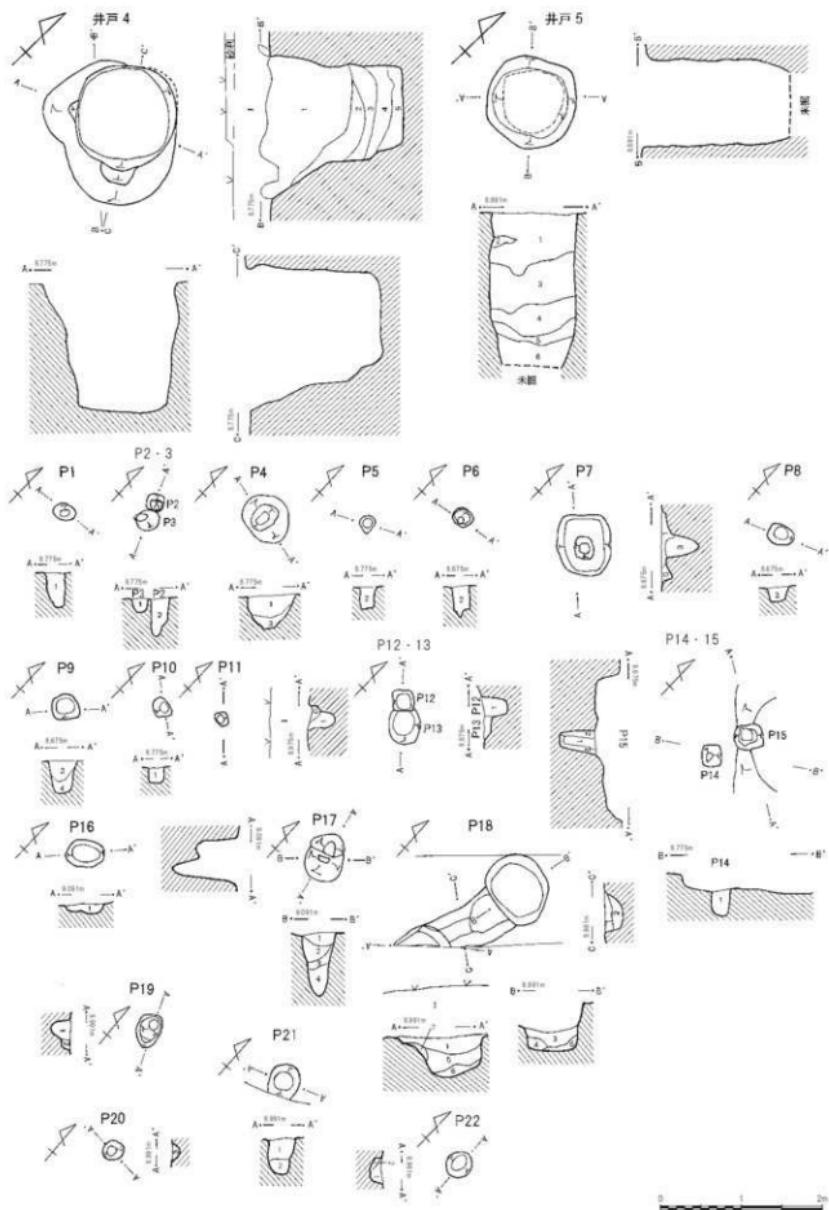
3. 黄褐色土 繰りやや強。粘性有。1cm程度ロームブロック・1mm以下ローム粒多く含む

4. 黑褐色土 繰りやや強。粘性有。1mm以下ローム粒僅かに含む

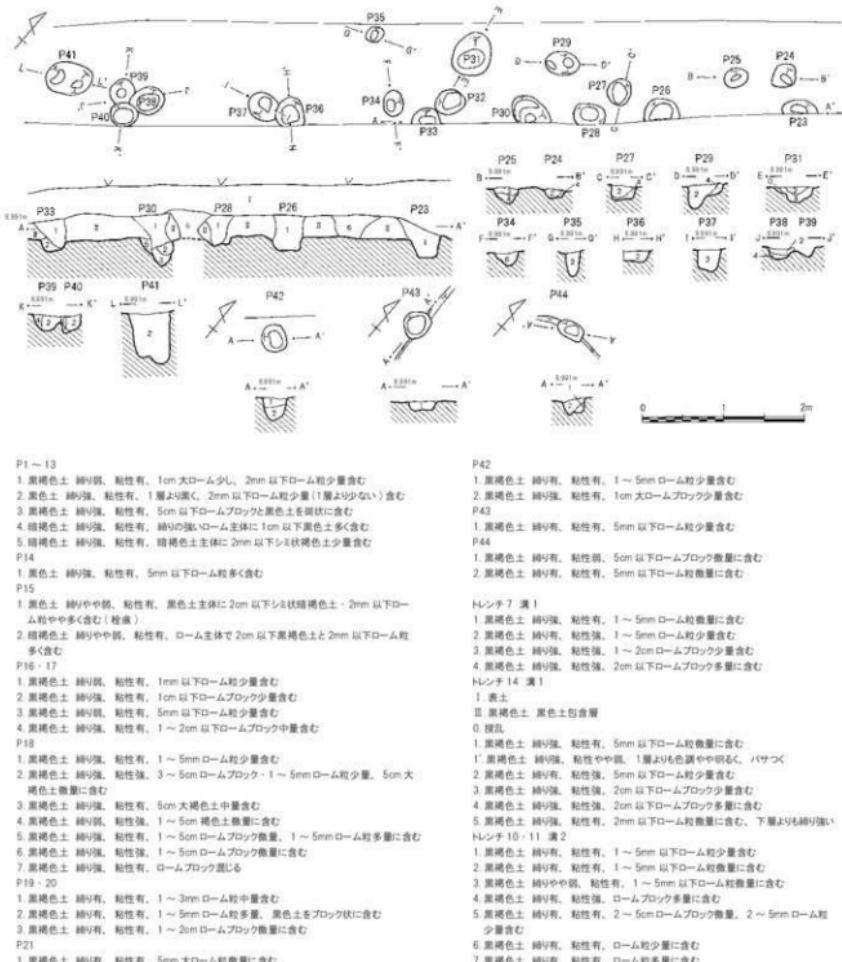
5. 黄褐色土 繰りやや強。粘性有。3cm以下ロームブロック・1mm以下ローム粒多く含む。ロームを少部分に含む

6. 黑褐色土 繰りやや強。粘性有。2mm以下ローム粒少し。炭化鉄を僅かに含む

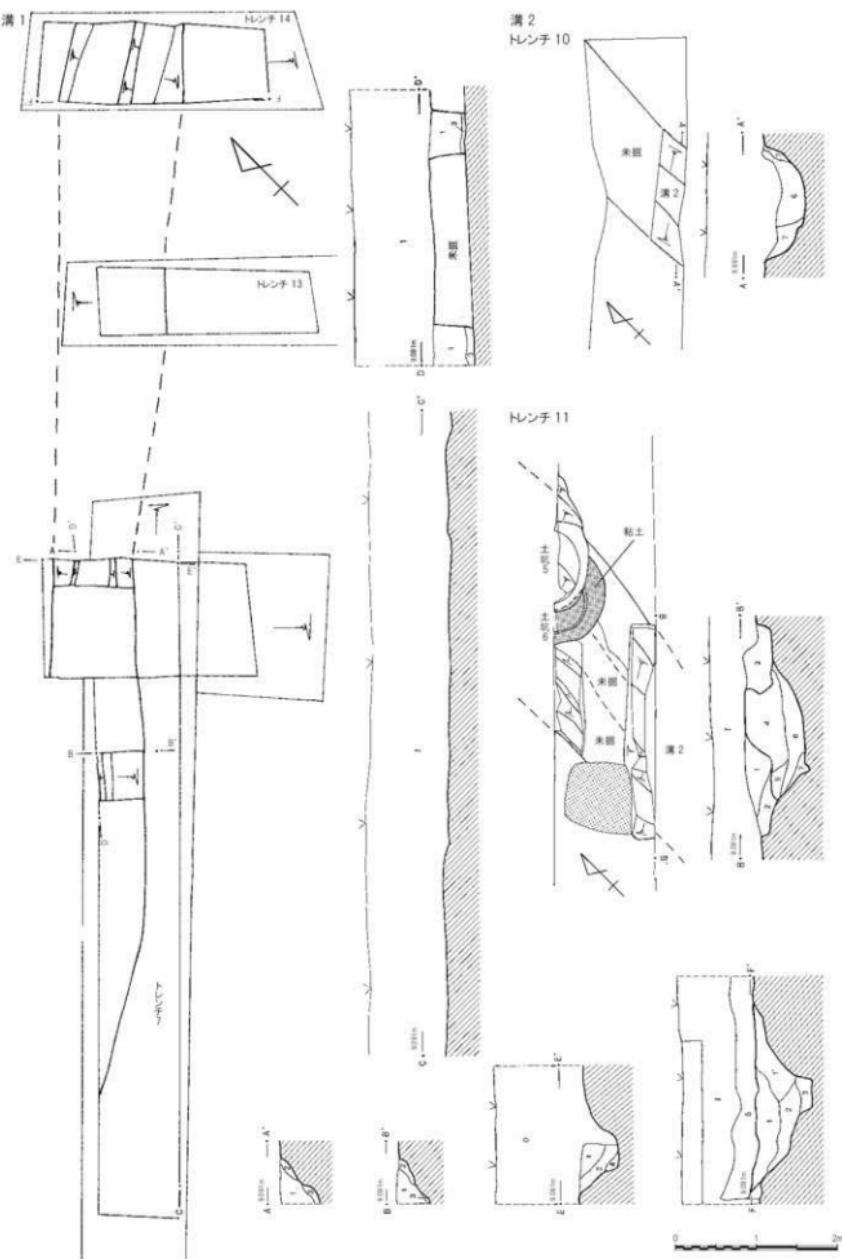
第39図 滝遺跡第26地点井戸①・落とし穴(1/60)



第 40 図 滝遺跡第 26 地点井戸②・ピット①(1/60)



第41図 滝遺跡第26地点ピット②(1/60)



第42図 滝遺跡第26地点溝(1/60)

【土坑2】 調査区南西部、トレンチ1で検出した。トレンチ東側へ続くため、全体の規模は不明。土層の観察から近世以降と考えられる。須恵器坏片1点が出土した。

【土坑3】 トレンチ1で検出した。トレンチ西側へ続いたため、全容は不明である。土層の観察から近世以降と考えられる。出土遺物はない。

【土坑4】 トレンチ11の東端で検出した。土坑の壁面と底面に厚さ25~35cmの白色粘土が貼り付けられる。近現代の吸い込み跡か。瓦片、金属製品、錢貨が出土した。

【土坑5】 調査区中央部、トレンチ11で検出した。溝2、土坑6と切り合う。この中では土坑5が最も新しい。土坑壁面に厚さ約15cmの粘土ブロックを含む層が巡っている。しかしながら土坑4・6のように底面には貼られていない。出土遺物はない。

【土坑6】 土坑5と溝2と切り合っており、土坑5より新しく溝2より古い。土坑4と同様、壁面と底面に白色粘土が貼られている。近現代の吸い込み跡か。

第25表 滝遺跡第26地点土坑一覧表(単位cm)

新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
1	長方形	(154)×84	130×67	20.3	2015年土坑1
2	不明	(166×79)	(155×66)	29.4	2015年土坑2
3	不明	(160×39)	(132×31)	31.9	2015年土坑3
4	円形	138×133	98×92	58.5	2016年土坑2
5	不明	(164×60)	88×(26)	40.5	2016年土坑3
6	不明	(103×57)	(34×27)	23.3	2016年土坑4
7	不明	(100×80)	—	32	2016年土坑5

陶器片が1点出土している。

【土坑7】 調査区東側、トレンチ12で確認した。調査区外へ広がるため詳細は不明。土層の観察から近世以降と考えられる。

⑤井戸

井戸の規模等詳細については第26表に掲載した。

【井戸1】 調査区西部、トレンチ1の北端で検出した。底部は未検出であるため、全容は不明である。出土遺物なし。

【井戸2】 調査区東側、トレンチ5の中央部で検出した。底部未検出であるため、全容は不明。出土遺物なし。

【井戸3】 調査区南側、トレンチ2の南端で検出した。落とし穴と僅かに切り合う。須恵器坏片が出土した。

【井戸4】 調査区東側、トレンチ5の南端で検出した。

【井戸5】 調査区西側、トレンチ9で検出した。底部は未検出のため、全容は不明である。出土遺物なし。

⑥ピット

検出したピットの詳細については第27表の掲載した。今回検出したピットはすべて近世以降である。

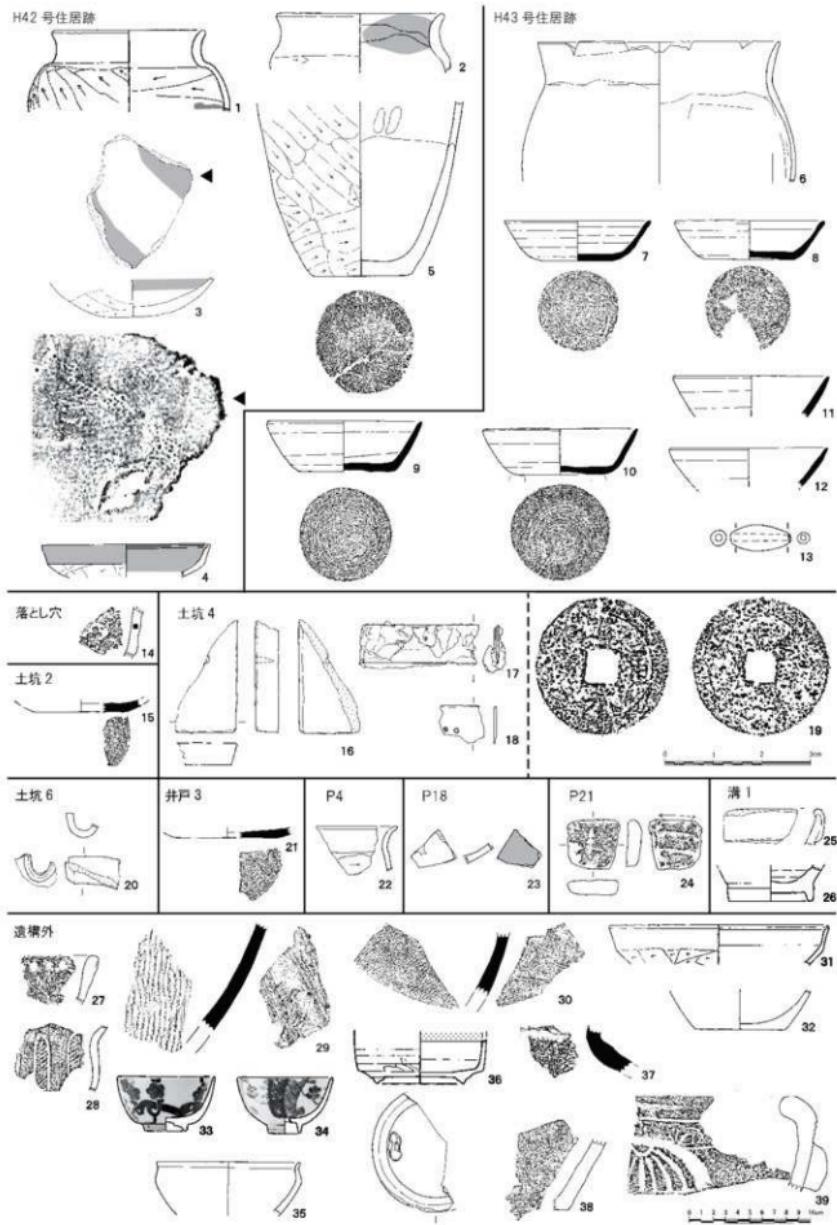
第26表 滝遺跡第26地点井戸一覧表(単位cm)

新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
1	円形	103×97	80×68	134.3	2015年井戸1
2	不明	145×(51)	56×(25)	90.4	2015年井戸2
3	円形	190×168	93×88	205.6	2015年井戸3
4	円形	172×168	112×111	166.4	2015年井戸4
5	円形	112×110	77×75	185.4	2016年井戸1

第27表 滝遺跡第26地点ピット一覧表(単位cm)

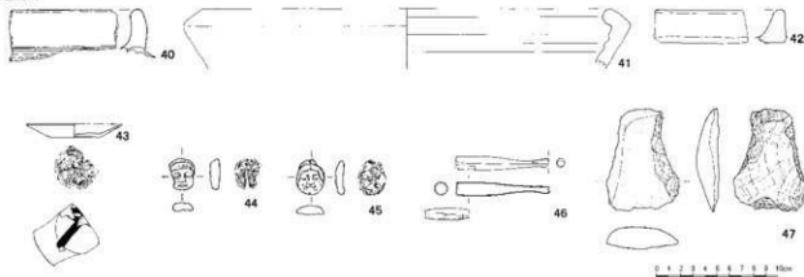
新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
1	椭円形	27×20	11×8	44.7	2015年P1
2	方形	22×21	8×6	49.6	2015年P2
3	円形	28×25	15×8	22.8	2015年P3
4	円形	64×54	17×11	41.6	2015年P4
5	方形	18×17	13×11	26.4	2015年P5
6	方形	23×23	9×7	36.1	2015年P6
7	方形	74×66	12×11	46	2015年P7
8	方形	34×25	17×15	23.9	2015年P8
9	方形	34×32	22×18	45.8	2015年P9
10	方形	24×20	13×10	18.8	2015年P10
11	方形	18×14	11×9	17.6	2015年P11
12	方形	26×26	19×17	34.4	2015年P12
13	円形	(39)×38	(28)×26	14.1	2015年P13
14	方形	26×24	11×8	38.5	2015年P14
15	方形	36×31	13×13	56.9	2015年P15
16	椭円形	48×34	35×20	12.2	2016年P1
17	椭円形	60×47	16×6	78.3	2016年P2
18	不明	(163)×82	67×55	62.3	2016年P3
19	椭円形	42×29	14×13	28.3	2016年P4
20	円形	27×25	12×11	13.2	2016年P5
21	椭円形	40×36	25×22	48.7	2016年P9
22	円形	33×31	23×15	22.1	2016年P10

新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
23	不明	44×(18)	18×(10)	32.8	2016年P11
24	椭円形	33×25	16×8	17.1	2016年P12
25	椭円形	31×23	13×4	20.4	2016年P13
26	不明	44×(27)	26×(21)	26.7	2016年P14
27	椭円形	33×29	27×18	24	2016年P15
28	不明	37×(26)	22×16	17.4	2016年P16
29	椭円形	42×29	14×5	30.9	2016年P17
30	不明	45×(32)	14×10	36	2016年P19
31	椭円形	56×45	35×22	18.1	2016年P20
32	椭円形	37×28	25×19	19.1	2016年P21
33	不明	35×(20)	21×(9)	13.2	2016年P22
34	円形	35×25	15×9	14.2	2016年P23
35	円形	20×19	13×6	31.3	2016年P24
36	円形	(35)×34	22×20	19.3	2016年P25
37	円形	35×33	15×15	29.1	2016年P26
38	椭円形	44×34	28×20	16.8	2016年P27
39	円形	31×30	12×11	25	2016年P28
40	円形	34×27	24×19	22.6	2016年P29
41	椭円形	55×40	13×10	78.4	2016年P30
42	円形	33×29	21×14	28.3	2016年P31
43	円形	33×31	22×22	13.3	2016年P39
44	椭円形	33×20	17×12	20.3	2016年P40



第43図 滝遺跡第26地点出土遺物①(1/4・1/1)

遺構外



第44図 滝遺跡第26地点出土遺物②(1/4)

第28表 滝遺跡第26地点出土遺物観察表(単位cm・g)

出土品番号	出土遺構	種別／陶器	口径・長さ	径系・幅	底径・厚さ	技法・文様／施上・備考	推定産地	時期／型式
H43B-1		土師器／壺	(12.6)	(6.2)	—	頭部ナメ方向へのラエズリ、口縁部ナデ。外面赤彩の施錆有、内面一部に復付着	—	7世紀後半
H43B-2		土師器／壺	(13.6)	(4.6)	—	頭部ナメ方向へのラエズリ、口縁部ナデ。外面赤彩有、白色粒子、黑色粒子	—	7世紀後半
H42号住居跡		土師器／壺	—	(3.0)	5.8	外側・底面へラエズリ、内面ナデ。内面赤彩。外側に黒斑。内面底部に施錆状の施錆有、白色粒子、黑色粒子。チャーフー	—	7世紀後半
H43B-4		土師器／壺	—	(2.7)	—	口縁部ナデ。底部へラエズリ。内面と外側に縫合部赤彩。口縁部の面に沈	—	7世紀後半
H43B-5		土師器／壺	—	(14.3)	8.0	外側・底部へラエズリ、内面ナデ。底部に木の墨文。内面に粘土施錆有、白色粒子、黑色粒子。底部内面に施錆有	—	7世紀後半
H43B-6		土師器／壺	(20.0)	(11.8)	—	頭部ヘラエズリ、口縁部ナデ。口縁部内面に赤彩。白色粒子、赤色少量。外面・外側へ白色粘土のようものが付着。	—	8世紀前葉
H43B-7		土師器／壺	10.0	3.3	6.5	頭部ヘラエズリ、口縁部ナデ。白色粒子、白色状物質。小穂が多い	南北企産	8世紀中葉
H43B-8		土師器／壺	12.6	3.2	7.0	頭部ヘラエズリ、口縁部ナデ。白色粒子、全表面に摩耗が激しい。焼成や成形で破損	—	8世紀中葉
H43B-9		土師器／壺	12.6	4.2	7.6	頭部ヘラエズリ、口縁部ナデ。白色粒子、石岩含む。焼成や不規	—	8世紀中葉
H43B-10		土師器／壺	(12.4)	3.2	7.2	頭部ヘラエズリ、口縁部ナデ。白色粒子、白色状物質。長石	南北企産	8世紀中葉
H43B-11		土師器／壺	13.0	(3.4)	—	裏面粒子。小穂ごく僅か。底部欠損	—	8世紀後葉～後半
H43B-12		土師器／壺	(13.0)	(3.2)	—	裏面粒子。小穂ごく僅か。底部欠損。焼成やや不良	—	8世紀後葉～後半
H43B-13		土製品／土鍍	5.0	2.1	—	中空れ。玉子0.5cm。底石に粘土を含む	—	—
H43B-14	第6・7・8穴	縄文土器	—	—	—	外側に粘土を含む。複雑な	縄文前期	—
H43B-15	土坑2	土師器／壺	—	—	—	頭部ヘラエズリ、口縁部ナデ。白色粒子、白色少。蓋母、石英	—	8世紀前葉～後半
H43B-16		土師器／壺	(9.3)	(5.1)	1.8	頭部ヘラエズリ、口縁部ナデ。白色粒子、白色状物質	南北企産	8世紀前葉～後半
H43B-17		鐵製品	(3.6)	(0.9)	—	板状鉄製品。繩目状の鋸切跡有	—	近代後葉
H43B-18		鐵製品	(3.0)	(3.7)	—	板状鉄製品。徑5.0cmの丸の2つ開く	—	近代後葉
H43B-19		鐵器／實水通鑑	2.8	2.8	—	丸5.0cm。全体に黒錆が激しい	—	18世紀後葉～半以前
H43B-20	土坑6	陶器／片口器	—	—	—	口部部分。内外面に灰斑	瀬戸・美濃	18世紀
H43B-21	井戸3	土師器／壺	—	(8.4)	—	頭部ヘラエズリ、口縁部ナデ。白色粒子、白色状物質。長石	南北企産	8世紀後葉～中葉
H43B-22	ピット4	土師器／壺	—	—	—	頭部ヘラエズリ。内面赤彩。白色粒子、黑色粒子。蓋母僅か／小型巻か	—	—
H43B-23	ピット18	土師器／壺	—	—	—	外側へラエズリ。内面赤彩。白色粒子、黑色粒子	—	—
H43B-24	ピット21	土器／新用石	(4.0)	(4.3)	—	赤色粒子有り／1使用用	—	—
H43B-25	溝1	陶器／丸	—	—	—	繩目成形。口縁部傾斜による二重口縁。内外面に灰釉・黑色粒子	瀬戸・美濃	近代以前
H43B-26		磁器／碗	—	(7.0)	—	繩目成形。高台部分に施錆有	—	18世紀後葉～以前
H43B-27		縄文／深鉢	—	—	—	上部外側に刻文有。黑色粒子。赤色粒子。燒成が激しい	—	中葉
H43B-28		縄文／深鉢	—	—	—	上部外側に文字。区画間に斜め矢印充填。表面ミカマ／白色粒子、黑色粒子、黑色粒子	—	加曾利E III～IV
H43B-29		土師器／壺	—	—	—	外側平行タキ及び横格子タキ。内面ナデ。白色粒子、黑色粒子、白色状物質。長石	南北企産	—
H43B-30		土師器／壺	—	—	—	外側平行タキ。内面ナデ。白色粒子、黑色粒子	南北企産	—
H43B-31		土師器／壺	18.0	(3.2)	—	外側道ケズリ。外側内面口縁部ナデ。口縁部内面に沈線／白色粒子、黑色粒子	—	8世紀前葉
H43B-32		土師器／壺	—	(3.2)	(7.6)	外側ケズリ後ナデ。白色粒子、黑色粒子	—	—
H43B-33		磁器／碗	8.0	4.5	3.6	繩目成形。刷毛捺付。輪、の跡	瀬戸・美濃	19世紀後葉
H43B-34		磁器／碗	8.0	4.6	2.8	繩目成形。ゴム印捺付。松	瀬戸・美濃	20世紀以降
H43B-35		陶器／天目茶碗	11.8	(4.4)	—	繩目成形。内外面に斜縫。黑色粒子	瀬戸・美濃	17世紀以前
H43B-36		陶器／香炉	—	(4.2)	(8.0)	外側平行タキ及び横格子タキ。頭部／白色粒子、黑色粒子、黑色粒子。底部に粘土塊を貼り付けた痕あり	瀬戸・美濃	18世紀以降
H43B-37	遺構外	土師器／壺	—	—	—	外側平行タキ及び横格子タキ。頭部／白色粒子、白色状物質。長石／焼成や不良	南北企産	古代
H43B-38		瓦質土器／壺	—	—	—	繩目成形。外側に自然縫	—	中近世
H43B-39		瓦質土器／火鉢	—	—	—	繩目成形。取っ手付。口縁部外面に文様。白色粒子、黑色粒子(共に僅か)	東山・松山	近代以前
H43B-40		瓦質土器／壺	—	—	—	繩目成形。大山字彌縫。白色粒子。蓋母	—	近世以降
H43B-41		瓦質土器／壺	(31.4)	—	—	繩目成形。白色粒子。黑色粒子。蓋母	—	近世以降
H43B-42		土器／燒成	—	—	—	繩目成形。底部に切妻形。底部調整。白陶	—	中近世
H43B-43		土器／かわ類	(7.7)	(3.8)	1.1	繩目成形。底部に切妻形。底部調整。白陶。内面に白色粘土	在地	近世後葉
H43B-44		土製品／泥质子	2.5	2.1	—	弓子形。蓋母。型壓し成形。一部欠損	—	近世後葉
H43B-45		土製品／泥质子	2.8	2.2	—	弓子形。蓋母。型壓し成形。	—	近世後葉
H43B-46		陶製品／煙管	1.0	7.6	—	筒状。口端は内側に巻き込む。ヤニ付着。蓋母は竹製。蓋母口径:0.86cm、長さ:3.5cm	—	18世紀以降
H43B-47		打製石器	8.2	5.9	1.8	磨擦研磨。重量:94.89g	—	—

⑦溝

【溝 1】調査区北側、トレンチ 7・13・14 で確認した。走行方向は N-48°-E で西から東へ流れる。遺構の規模は上幅 145 cm、下幅 35 cm、深さ 53.9 cm、断面形状は台形を呈する。陶器片 2 点が出土した。走行方向等から本地点の東側に位置する第 14 地点で検出した溝 2 に繋がる可能性も考えられる。

【溝 2】調査区中央部西側、トレンチ 10 及び 11 で確認した。主軸をほぼ南北方向にとり、北側は調査区外へ延伸するものと考えられる。南側はトレンチ 1 及び 2 では確認できないため、トレンチ 2 と 11 の間で走行方向を変えるか途切れる可能性がある。遺構の規模は上幅 115 cm、下幅 41 cm、深さ約 60 cm、断面形状は U 字状を呈する。出土遺物がないため時期は特定できないが、土層の観察から中近世以降に属するものと想定できる。

⑧出土遺物

出土遺物についての詳細については第 43・44 図及び第 28 表に掲載した。

III 滝遺跡第 27 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 11 月 13 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 27 日～12 月 1 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1～1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力に

よる表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは約 80～150 cm である。

調査の結果、奈良時代の住居跡 1 軒を検出した。本地点は斜面地に位置するため遺構確認面までが深く、保護層確保が可能であることから工事立会の措置となった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H44 号住居跡

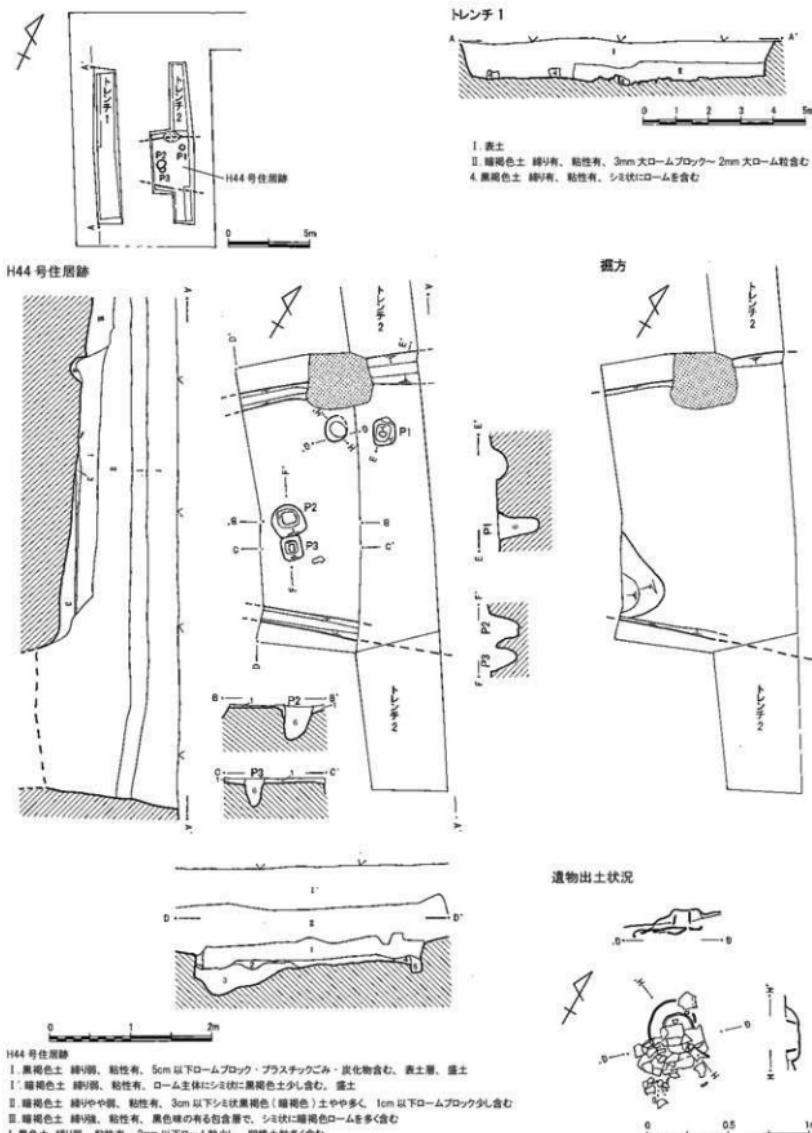
【位置・時期】調査区中央部、トレンチ 2 に位置する。【形状・規模・掘方】トレンチ内での確認のため形状・規模共に不明。今回の調査で確認できた平面規模は 305 × (250) cm である。掘方は中央部分を中心地山ローム層まで掘り下げた後、貼床を行う。

【周溝】上幅約 20 cm、下幅約 10 cm、深さ約 10 cm の周溝を確認した。

【ピット】住居内でピット 3 基を検出した。ピット 1 は住居内や北寄りに位置する。平面形態は不整円形で、確認面径 33×25 cm、底径 22×16 cm、深さ 50.5 cm である。ピット 2・3 は住居内や南に位置し、2 基が並ぶ。切り合い関係は判然としない。ピット 2 は円形を呈し、確認面径 40×36 cm、底径 15×13 cm、深さ 41.3 cm。ピット 3 は不整円形で、確認面径 30×25 cm、底径 9×6 cm、深さ 37 cm である。

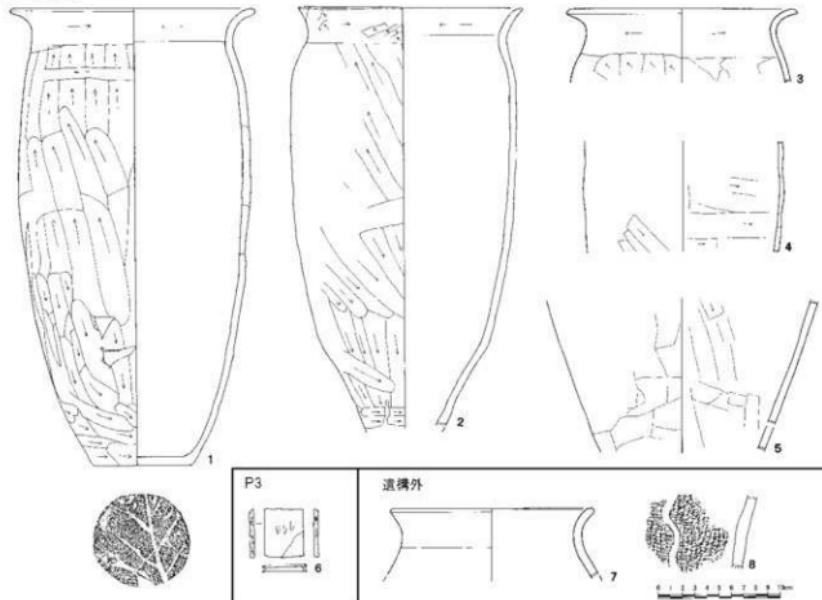
【窓】今回の調査では確認されなかった。

【遺物出土状況】遺物はピット 1 の東側でまとめて出土した。詳細については第 46 図及び第 29 表に掲載した。



第45図 滝遺跡第27地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、H44号住居跡・掘方(1/60)、遺物出土状況(1/30)

H44号住居跡



第46図 滝遺跡第27地点出土遺物(1/4)

第29表 滝遺跡第27地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版	番号	出土遺構	種別／器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法・文様／胎土・備考	推定年代
第46図	1	H44号住居跡	土師器／長胴甕	20.2	37.4	8.1	胸部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ、底部欠損	7世紀後半～8世紀初頭
	2		土師器／長胴甕	18.5	34.4	6.8	胸部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ、底部に木の葉文、完形	7世紀後半～8世紀初頭
	3		土師器／長胴甕	(19.0)	(6.0)	—	長胴甕口縁～胸部、胸部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ	7世紀後半～8世紀初頭
	4		土師器／長胴甕	—	(9.1)	—	長胴甕口縁～胸部、胸部復元径16.5cm、縦位ヘラケズリ、内面ヨコナデ	7世紀後半～8世紀初頭
	5		土師器／長胴甕	—	(12.2)	—	長胴甕口縁、胸部復元径18.0cm、縦位ヘラケズリ	7世紀後半～8世紀初頭
	6	P3	础石	(4.0)	3.3	(0.5)	重量:10.58g、粘板岩	—
	7	遺構外	土師器／甕	(16.8)	(5.4)	—	臺口縁部、ヨコナデ／内外面に部分的に煤付着	7世紀後半～8世紀初頭
	8		縄文／深鉢	—	(6.2)	—	地文RL単節、縦位に波状沈線を施す	縄文中期

第9章 長宮遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武藏野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武藏野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅100mほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500m南側には福岡江川が流れ、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北300m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に煙が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に繩文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が隣接する。1977年の保育園建設に伴う緊急調査で、中世の屋敷地と思われる

遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2018年4月現在95ヶ所で調査を行っている。主なる時代と遺構は繩文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に関係のある溝跡などである。

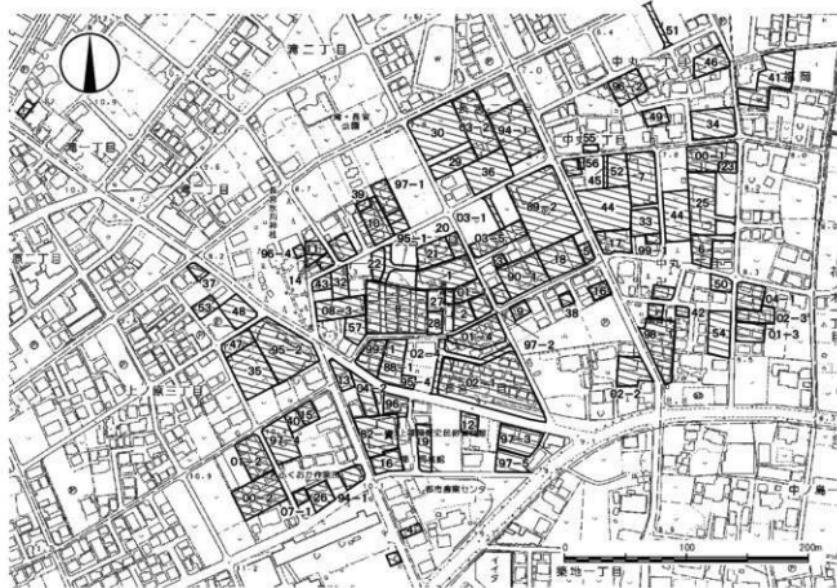
長宮遺跡第44地点の試掘調査および本調査については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第14集『市内遺跡群13』(2015.3)で報告済みのため、本書では割愛した。

II 長宮遺跡第52地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央やや東側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月11日～17日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ4本を設定し、



第47図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約70cmである。

試掘の結果、溝2条・井戸3基・土坑1基・ビットを検出したが、30cmの保護層の確保が可能なため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 土坑

土坑は調査区の調査区中央、トレンチ3で確認された。平面形態は梢円形で、規模は確認面径104×90cm、底径86×68cm、深さ18.9cmである。出土遺物はない。

② 井戸

【井戸1】 井戸1は調査区北側、トレンチ3で確認した。平面形態は不整形で、確認面径131×105cm、底径92×87cm、深さ86.9cmである。覆土中より縄文土器が出土したが、井戸の時期を特定するような遺物は出土していない。

【井戸2】 井戸2は調査区南側、トレンチ3の南端で検出した。平面形態は円形を呈する。規模は確認面径102×80cm、底径65×60cm、深さ94.2cmで、

井戸1よりやや小さい。井戸の時期を示す遺物の出土ではなく、覆土中より縄文土器片が1点出土したのみである。

【井戸3】 井戸3は調査区南西隅、トレンチ4の南端で溝2の走行方向を確認するために掘削した拡張部分で確認した。検出は行っていないため、平面形態は不明、プランの規模は(95)×(30)cmである。

③ ビット

ビット1～5はトレンチ1で、ビット6はトレンチ2で検出した。規模については第31表に掲載する。

④ 溝

【溝1】 調査区東側、トレンチ1で確認した。緩やかに蛇行しながら南北方向に走行する。確認面の規模は50～100cm、断面形状、深さは不明である。出土遺物はない。

【溝2】 調査区西側、トレンチ4で確認した。プランのみ確認のため規模、形状は不明。やや東に振れるが、南北方向に走行する。走行方向から第44・45地点で検出した溝4であると想定できる。

⑤ 出土遺物

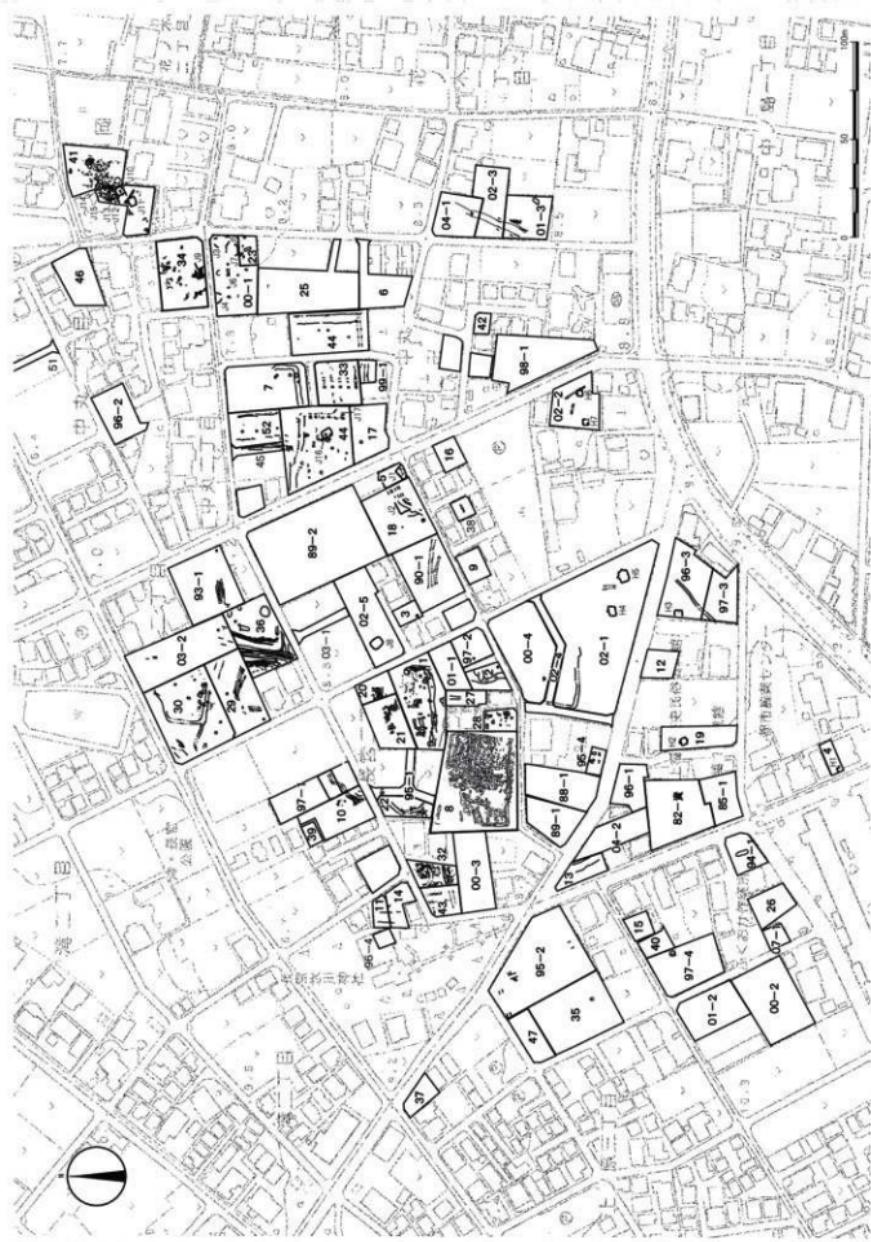
出土遺物の詳細については、第50・51図及び第32・33図に掲載した。

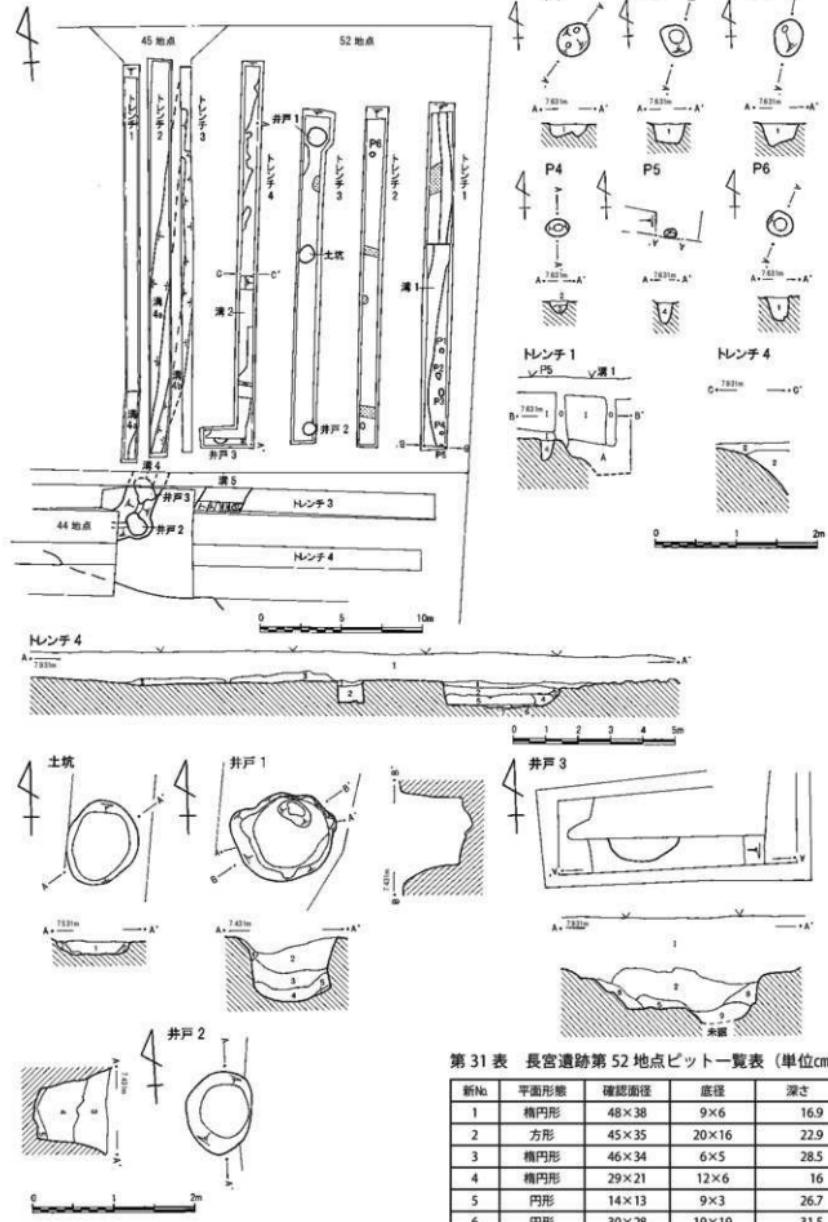
第30表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	長宮2-1-23	1977.10.3～30	1,000	保険面	溝3、土坑48、柱穴	月曜道路(第3次)長宮遺跡
2次	長宮2-1-27	1978.7.25～8.15	235	民邸宅地	溝2、土坑1、石臼、板碑、砾石、古鉢、陶器、馬骨	理(1)
3次	長宮2-5-11	1978.7.24～30	111	民邸宅地	土坑1	理(1)
4次	長宮1-1-14	1978.10.6～9	37		住居跡1、土壙壁、漆器座、鉄製品	理(1)
5次	長宮2-2-5	1979.4.16～20	110		縄文前期住跡1、鐵製土器片	理(1)(IV)
6次	中丸1-4-13	1980.4.21～30	515		遺構なし、中世以降陶器片	理(III)
7次	中丸1-3-6	1980.5.13～31	869		溝、井戸跡、鐵製土器、中世以降陶器片	理(III)
8次	長宮2-1-10～13	1980.9.8～10.8	1,900	宅地造成	中世溝、井戸、土坑、板碑、砾石、陶器座、古鉢、馬齒	遺跡1集
9次	長宮1-4-10	1980.9.21～30	200		遺構なし、中世以降陶器片	理(III)
10次	長宮2-3-4	1980.12.7～15	485		溝、土坑跡、鐵製土器、中世以降陶器片	理(III)
11次	長宮2-2-10	1980.12.16～22	117		溝、鐵製土器片、中世以降陶器	理(III)
12次	長宮1-2-7	1981.5.26～30	160	個人住宅	溝1、中世陶器片、鐵製土器片	理(V)
13次	長宮1-2-13	1981.6.3～11	251	個人住宅	遺構なし、中世陶器片	理(V)
12B	長宮1-2-12		1,000	歴史的民俗資料館	溝2	578教要
14次	長宮2-2-1	1985.9.24～27	156	個人住宅	溝1	理(VI)
15次	西原2-5-8	1985.10.22～31	116	個人住宅	なし	理(VII)
15B	長宮2-1-11	(1986.3.6～15)	400	宇賀保育園	溝2	605教要
16次	長宮1-4-7	1986.6.9～17	173	個人住宅	鐵製土器片	理(V)
17次	中丸1-3-11	1987.6.19～30	504	個人住宅	鐵文前紀土器散布	理(X)
88試	長宮1-3-8	(1988.9.13～16)	657	住宅建設	なし	理(11)
89試(1)	長宮1-3-9	(1989.9.20～30)	448	住宅建設	なし	理(12)
89試(2)	長宮2-5-19	(1989.11.14～28)	1,778	住宅建設	なし	理(12)
90試	長宮2-5-4	(1990.11.27～30)	919	共同住宅	なし	理(13)
18次	長宮2-5-3	1992.10.6～12.2	925	共同住宅	鐵文前紀土器、中世土器2、溝5	理(15)
19次	長宮1-2-21.35	1993.12.17～1994.1.22	467	駐車場	古墳末期住跡1	理(15)
93試	長宮2-4-20の一部	(1994.2.10～28)	1,501.54	共同住宅	溝2、土坑1、中世後期板碑	5年教要
94試	西原2-5-1	(1994.7.25～8.2)	314	心身障害者デイケア施設	断面图形1	理(17)
20次	長宮2-1-22の一部	1995.4.10～5.9	165.59	個人住宅	中世溝4	理(18)
21次	長宮2-1-63.05	(1995.6.19～8.8)	360.94	個人住宅	中世溝1、井戸7	理(18)
95試(1)	長宮2-1-209	(1995.8.9～28)	421	市道敷設	なし	理(18)
95試(2)	上ノ原1-3-69.4番	(1995.10.4～12)	1,528	共同住宅	溝1	理(18)

地點	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書	
95試(3)	長宮1-1-60	(1995.10.23~25)	269	駐車場	中近世墓1。井戸4	理(19)	
22試	長宮1-1-60	1995.10.27~11.9	269	駐車場	中近世井戸4、満1、陶器、板障破片、かわらけ	遺調6集	
95試(4)	長宮1-3-13	(1995.12.12~25)	120	駐車場	なし	理(18)	
96試(1)	長宮1-2-16	(1996.7.12~18)	348.52	宅地造成	なし	理(19)	
96試(2)	中丸1-2-9の3番	(1996.11.7)	568	宅地造成	なし	理(19)	
96試(3)	長宮1-2-4	(1997.1.14~21)	794.16	共同住宅	古墳+奈良住居跡1	理(19)	
96試(4)	長宮1-2-4	(1997.2.24)	204.78	社務所改築	なし	8年教養	
97試(1)	長宮1-3-3	(1997.4.8~9)	611	畠地天地区	満1(時期不明)	理(20)	
97試(2)	長宮1-2-1	(1997.4.9~11)	289	個人住宅	土坑1(時期不明)	理(20)	
97試(3)	長宮1-2-36,37	(1997.6.4~5)	423.33	駐車場	満1	理(20)	
97試(4)	西原1-5-6	(1997.8.15~21)	753	駐車場	中近世穴状遺構1	理(20)	
98試	中丸1-3-4	(1998.11.24~27)	1,014	宅地造成	なし	理(21)	
99試	中丸1-3-12	(1999.11.8~16)	98	個人住宅	満1、成文前集石2	理(22)	
00試(1)	中丸1-4-7	(2000.4.4~11)	932	宅地造成(土地分権)	成文前期(南山町)住居跡5、土坑13	理(23)	
00試(2)	西原1-4-8,10	(2000.7.17~24)	1,081	宅地造成(土地分権)	なし	理(23)	
00試(3)	長宮1-1-7	(2000.8.21~23)	687	共同住宅	なし	理(23)	
00試(4)	長宮1-3-3,4A	(2001.1.17~23)	1,189	宅地造成(土地分権)	近世以降土坑1	理(23)	
23次	中丸1-4-7	2001.7.16~26	137.01	個人住宅	土坑6(成文草單後集葉1、前期4、近世以降1)	理(24)	
01試(1)	長宮1-1-3	(2001.4.20~24)	330	個人住宅	なし	理(24)	
01試(2)	西原1-4-7	(2001.5.25)	634	共同住宅	なし	理(24)	
01試(3)	中丸1-1-3	(2001.8.7~24)	513	共同住宅	道路状遺構1、成文前期土坑1	理(24)	
01試(4)	長宮2-8-6	(2001.11.6)	130	個人住宅	なし	13年教養	
02試(1)	長宮1-3-2~5	(2002.6.5~11)	3,536	宅地造成(土地分権)	住居跡2【唐土保存】	理(25)	
02試(2)	長宮1-4-3	(2002.6.20~7.2)	575	確認調査	住居跡2、満2	理(25)	
02試(3)	中丸1-1-5	(2002.9.3~11)	622	宅地造成(土地分権)	道路状遺構1	理(25)	
02試(4)	長宮1-3-31	(2002.9.20~25)	362.19	地区計画道路	満1	理(25)	
24次	長宮1-4-3	2003.1.30~2.14	72	個人住宅	住居跡2	14年教養	
02試(5)	長宮1-5-6	(2003.1.10~12)	827	宅地造成	住居跡1【唐土保存】	14年教養	
03試(1)	長宮1-5-30,32	(2003.9.16)	196.64	区画道路	なし	理(26)	
03試(2)	長宮1-4-7	(2003.12.16~18)	1,123	宅地造成	井戸跡1	理(26)	
04試(1)	中丸1-1-11	(2004.11.26)	488	宅地造成	なし	理(27)	
04試(2)	長宮1-15	(2004.12.7~9)	466	墓地改修	なし	理(27)	
25	中丸1-4-8	(2007.2.15~16)	1,161	個人住宅	ビット3、成文土器・石器他	市内3	
26	西原1-5-2の一部	(2007.3.28)	594	個人住宅	成文土器片	市内3	
27	長宮2-1-4	(2007.5.30~31)	174.58	個人住宅	満、保存措置	市内4	
28	長宮1-8	(2007.5.31~6.5)	188	個人住宅	中近世井戸5、土坑10、ビット13他、成文土器・石器、中近世陶器他	市内4	
29	工事立会	西原2-5-31	2007.10.15	119.58	個人住宅		市内4
29	長宮2-4-6の一部	(2007.1.20~12.3)	618	共同住宅	土坑1、井戸2、窓跡1、満5、ビット10、成文土器、中近世土器他	市内4	
30	長宮2-4-6	(2009.9.28~11.2)	1,362.1	老人福祉施設	中近世土坑、井戸、ビット8、満2、成文土器・石器、中近世陶器他	市内7・8	
31	矢塚						
32	長宮2-1-18	(2010.1.15~25)	271	分譲住宅	中近世土坑20、ビット142、満3、成文土器、中近世陶器他	市内7・8	
33	中丸1-3-2	(2011.5.19~31)	534	分譲住宅	成文時代集石土坑1、土坑4、ビット13、満3、成文土器、瓦器、陶器	市内14	
34	中丸2-2-2,46	(2011.6.27~7.16)	914	分譲住宅	成文時代早期炉跡1、前期(南山)住居跡1、近世満、成文土器他	市内11	
35	上/西原3-1-4	(2011.9.19~26)	1,157.88	分譲住宅	成文時代炉押1、土器、石器	市内14	
36	長宮2-4-3	(2011.10.4~17)	981	分譲住宅	中近世井戸16、土坑4、満16、ビット20、板碑他	市内11	
37	上/西原3-6-6	(2011.11.8)	105	個人住宅	なし	市内14	
38	長宮1-4-27	(2011.11.24~25)	101	分譲住宅	なし	市内14	
39	長宮2-2-3	(2012.2.1)	130.54	個人住宅	なし	市内14	
40	西原1-5-7の一部	(2012.4.16)	201	個人住宅	道構なし、成文土器片	市内15	
41	福岡天丸橋888-1~3、999-2~5	(2012.7.17~25)	1,152.62	分譲住宅	成文時代伊60、成文時代前期住居跡6、落とし穴2、土坑27、ビット100、満2、成文土器・石器、中近世陶器等	市内12	
42	中丸1-2-24	(2012.7.31)	101	分譲住宅	なし	市内15	
43	長宮2-1-7	(2013.2.27~3.1)	231	個人住宅	中近世満2・土坑3・ビット17、土器、陶器	市内15	
44	中丸1-3-3,4-5	(2013.5.14~6.24)	1,329	分譲住宅	成文時代住居跡1、窓穴6、落とし穴1、土坑15、井戸5、満9、ビット4、成文時代初期土器・石器、中近世以降の陶器層や板壁	市内13	
45	中丸1-3-17-18、3-5	(2013.6.25~7.30)	119	道路整備	満2、土器群、石器、板磚	市内18	
46	中丸2-22-13	(2013.9.6~10)	488	黒鶴園デイサービスセンター	道構なし、陶器	市内18	
47	上/西原3-1-5	(2013.10.10)	330	共同住宅	道構造物なし	市内18	
48	上/西原3-6-1	(2014.4.2~8)	555	分譲住宅	井戸1、満1、道構造物なし	市内20	
49	中丸2-2-4	(2014.10.23~30)	293.09	集合住宅	土坑3(成文時代)、道構造物なし	市内20	
50	中丸2-2-17	(2015.3.16)	228	分譲住宅	道構なし、陶器層	市内20	
51	中丸2-3-45-46	(2012.4.5)	176	道路	道構なし、土器片1	市内15	
52	中丸1-3-24	(2013.6.11~17)	484	分譲住宅	土坑1、井戸3、ビット2、満2、土器片、石器、古墳、陶器	市内22	
53	上/西原3-6-3	(2016.7.11)	223	長屋敷設	道構なし、土器、陶器	未報告	
54	中丸2-2-16	(2017.5.16~23)	800	分譲住宅	成文時代住居跡1、土坑1、道路状遺構1、成文土器	未報告	
55	中丸2-2-60の一部	(2017.6.29)	191	個人住宅	土坑1、満1、土器片	未報告	
56	中丸1-3-37	(2017.7.5)	123	個人住宅	道構造物なし	未報告	
57	長宮2-1-6	(2018.2.15)	374.63	個人住宅	土坑1(成文時代)、成文土器片	未報告	

※附: 上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上調: 上福岡市道調査会報告書、表記: 上福岡市教育委員会、市内: ふじみ野市市内道路群報告書





第31表 長宮遺跡第52地点ピット一覧表(単位cm)

新No	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	橢円形	48×38	9×6	16.9
2	方形	45×35	20×16	22.9
3	橢円形	46×34	6×5	28.5
4	橢円形	29×21	12×6	16
5	円形	14×13	9×3	26.7
6	円形	30×28	19×19	31.5

第49図 長宮遺跡第52地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・井戸・ピット・溝(1/60)

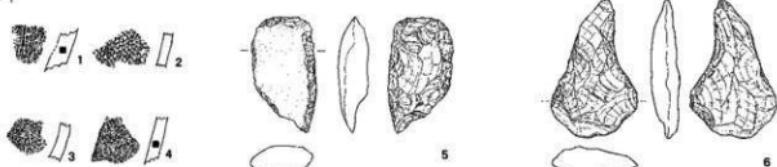
ハンチ 1・4、井戸 3

1. 新作土
2. 褐褐色土 糙りやや強、粘性有、ロームブロック少量に含む
3. 黒褐色土 糙りやや強、3mm以下ローム粒・2mm以下ローム粒多く、1mm以下炭化物・土灰少し含む
4. 褐褐色土 糙りやや弱、3mm以下ロームブロック・2mm以下ローム粒多く、1mm以下炭化物・土灰少し含む
5. 褐褐色土 糙り有、粘性有、ロームブロック少量に含む
6. 褐褐色土 糙りやや強、粘性や中強、3~5mmローム粒、1~2mm酸化鉄粒・鐵錆量含む
7. 黑褐色土 糙りやや強、粘性や中強、3~5mmローム粒、1~2mm酸化鉄粒・鐵錆量含む
8. 黑褐色土 糙りやや強、粘性や中強、3~5mmローム粒・酸化鉄粒少量、炭化物・鐵錆量含む
9. 黑褐色土 糙り強、粘性強、1~5mmローム粒少量含む

ビット

1. 褐褐色土 糙りやや弱、3mm以下ロームブロック多く、2mm以下ローム粒・炭化物少し含む
2. 褐褐色土 糙り強、1mm以下ローム粒少し、1mm以下赤褐色粒・炭化物僅かに含む
3. 黑褐色土 糙り強、1mm以下ローム粒多く、1mm以下赤褐色粒・炭化物少しある
4. 褐褐色土 糙りやや強、2mm以下ローム粒・炭化物少しある
5. 黑褐色土 糙りやや強、1mm以下ローム粒少し含む
6. 黑褐色土 糙りやや強、粘性や中強、地山ロームを少しここに含む
- 井戸 1・2
1. 褐褐色土 糙り強、1mm以下ローム粒・赤色粒子・炭化物少しある
2. 黄褐色土 糙り強、4mm以下ローム粒少しある
3. 黑褐色土 糙りやや強、粘性や中強、3層+ローム粒少量含む
4. 黑褐色土 糙り強、粘性強、3mm以下ローム粒少しある
5. 褐褐色土 糙り強、4mm以下ローム粒少しある
6. 黑褐色土 糙りやや強、粘性強、4層と同様
7. 黑褐色土 糙りやや強、粘性強、1~3mmローム粒少量含む
8. 黑褐色土 糙りやや強、粘性や中強、3~10mmローム粒少量含む
9. 黑褐色土 糙り強、粘性強、1~5mmローム粒少量含む

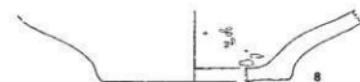
井戸 1



井戸 2

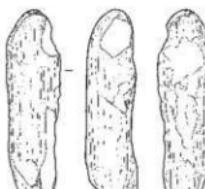


P4



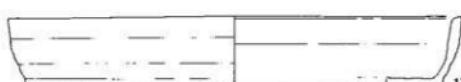
8

溝 2



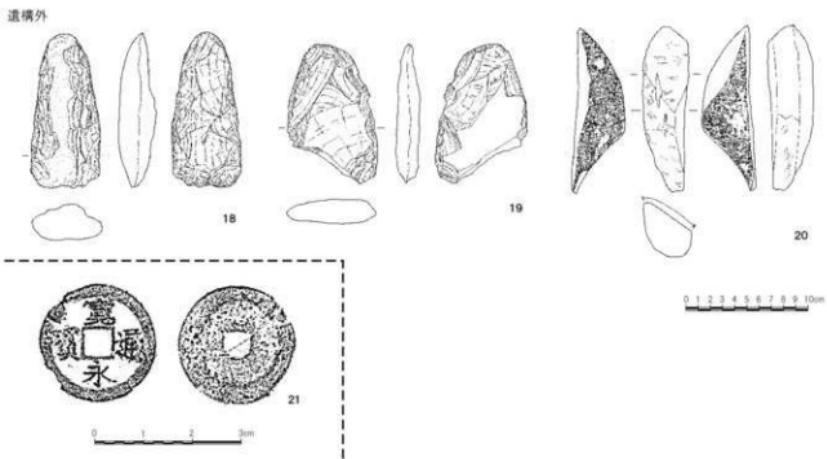
0 5 10cm

遺構外



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第50図 長宮遺跡第52地点出土遺物①(1/4・1/6)、トレンチ・土坑・井戸・ピット・土層説明



第51図 長宮遺跡第52地点出土遺物②(1/4・1/1)

第32表 長宮遺跡第52地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別／器形	技法・文様／胎土／備考	推定年代
第50回-1	井戸1	縄文／破片	燃糸力、磨滅が激しい／維維含む	縄文前期
第50回-2		縄文／破片	LR縄文	縄文前期／関山
第50回-3		縄文／破片	無文／砂粒を多く含む	縄文
第50回-4		縄文／破片	無文／白色針状物質、維維を含む	縄文
第50回-7	井戸2	縄文／破片	R縄文力、磨滅が激しい	縄文前期
第50回-8	P4	陶器／甕	常滑燒底部、輪積み成形、ナデ／小穢を多く含む、底径(15.6)	中世
第50回-9	溝2	縄文／破片	貝殻压痕文、口部に刻み／白色粒子を多く含む	縄文早期／茅山下層式
第50回-10		縄文／破片	Lr縄文／白色粒子を少量含む	縄文中期
第50回-11		土器／器	回転糸切り未調整／赤色粒子を僅かに含む／底径(6.0)	古代～
第50回-13		結晶片岩	長さ19.6cm、幅9.2cm、厚さ2.5cm、重量619.24g	—
第50回-14	遺構外	土器	口緣部、輪積み成形、ナデ／白色粒子、小穢を少量含む	中世～
第50回-15		縄文／破片	棒状工具による押引文力／白色粒子を多く含む	縄文中期
第50回-16		土器／焰	内面に内耳剥離痕／外面剥離	近世
第50回-17		土器／焰	輪轍成形／外面に煤付着／底径(34.0)	近世
第51回-21		銅貨／寛永通宝	鋳造／径1.5cm、中央穴0.5cm／背面は磨滅が激しい	1697～

第33表 長宮遺跡第52地点出土石器観察表(単位cm・g)

図版番号	遺構名・注記No	種別／器形	長さ	幅	厚さ	重量	石材／推定生産地	推定年代	残存／備考
第50回-5	井戸1	打製石斧	9.5	5.0	2.3	146.05	繊粒砂岩	縄文時代	完形
第50回-6		打製石斧	11.5	7.1	2.3	149.20	ホルンフェルス	縄文時代	上端部欠損
第50回-12	溝2	敲き石	16.3	4.4	4.1	478.72	泥岩	縄文時代	完形
第51回-18		打製石斧	12.5	5.6	3.0	227.91	凝灰岩	縄文時代	完形
第51回-19		打製石斧	11.4	7.2	1.8	177.86	中粒砂岩	縄文時代	刃部欠損
第51回-20	遺構外	砥石	13.44	3.8	4.4	220.38	上州	中世以降	完形

第10章 亀居遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高 25 ~ 26m で現谷底との比高差は 5m を測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない單一集落である。江川南遺跡の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前葉の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縱横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977 年の最初の調査から 2018 年 4 月現在まで 78 地点で調査され、縄文時代中期前半の住居跡 16 軒、屋外埋葬 2 基、集石土坑 99 基、土坑、ピット多数が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台上層期の土器片も出土している。

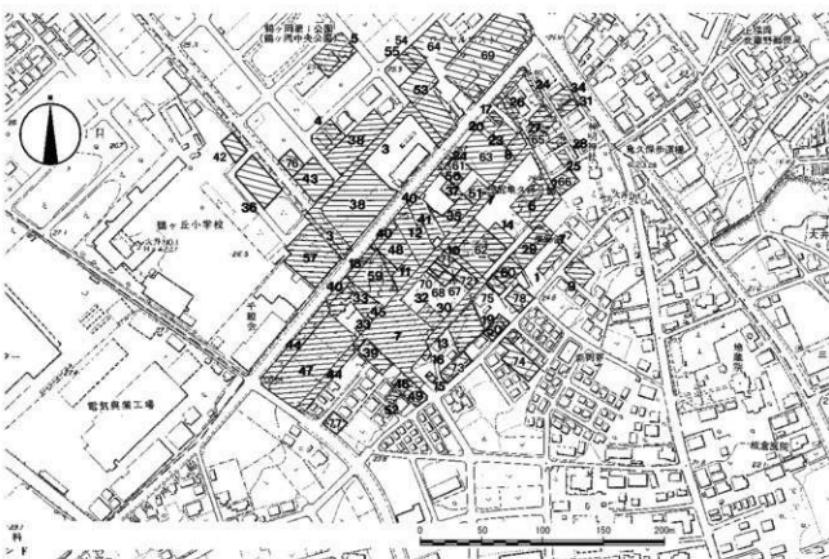
II 亀居遺跡第 75 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 25 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2015 年 6 月 8 日に試掘調査を実施した。

調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認面までの深さは 40 ~ 50 cm である。遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

遺物はトレンチ覆土中より縄文土器片 1 点が出土した。竹管状工具による横位の押引文を施す。胎土に白色粒子を多く含む。中期か。



第 52 図 亀居遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

III 亀居遺跡第76地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月6日に試掘調査を実施した。調査は幅約1~1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40~50cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかっただため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

IV 亀居遺跡第77地点

(1) 調査の概要

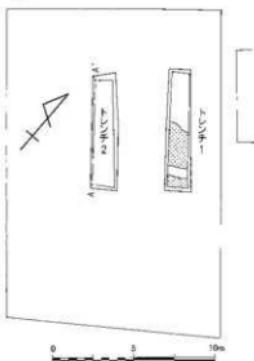
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2016年2月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月18日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約50cmである。

調査の結果、時期不明の根切り溝と見られる溝1条を確認したが、遺物もいたため今回は遺構して扱わない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第34表 亀居遺跡調査一覧表

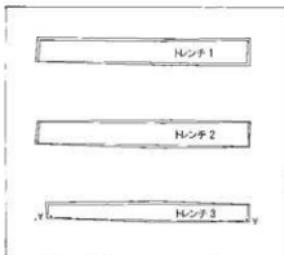
調査 番号	所在地	調査部門 (「は式調査報告書」)	実積 (m ²)	調査原因	遺構と遺物			所収報告書					
					土 壌	古 物	ビ ート						
1	亀久保1001	1972	155	農地転用	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
2	亀久保1005	1973	350	農地転用	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
3	新161-1	1979.11~12	750	区画整理	1	1	6	昭和遺跡調査 調査報告書集					
4	新162-2	1980.10~11	450	区画整理	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
5	新162-3	1980.10~11	390	区画整理	1			昭和史料編集 調査報告書集					
6	亀久保1008	1985	914	区画整理	7	4	30	昭和遺跡調査 調査報告書集					
7	亀久保1009	1985	2,740	区画整理	2	7	64	昭和遺跡調査 調査報告書集					
8	亀久保1001	1986.8	181	個人住宅	2	3	11	昭和遺跡調査 調査報告書集					
9	亀久保9-1	1986.9.10	10	区画整理	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
10	亀久保1010	1986.10	650	区画整理	1	20	17	昭和史料編集 調査報告書集					
11	亀久保1011-3	1987.10.11~11.13	389	個人住宅	2	7	73	昭和遺跡調査 調査報告書集					
12	亀久保1011-5	1987.11.16~12.16	387	個人住宅	1	48	1	昭和遺跡調査 調査報告書集					
13	亀久保1007-3	1988.8	422	区画整理	2			昭和史料編集 調査報告書集					
14	亀久保9-9	1988.9~8.3	165	個人住宅	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
15	亀久保1007	1988.9.1~8.3	1,524	区画整理	個人住宅	遺構なし		昭和史料編集 調査報告書集					
16	亀久保1007	1988.9.2	45	個人住宅	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
17	亀久保9-5	1989.9.14~18	112	個人住宅	1	3	8	昭和遺跡調査 調査報告書集					
18	川越遺跡場	1990.3	210	区画整理	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
19	亀久保1007	1990.3.11~26	613	個人住宅	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
20	亀久保1001-3	1990.5.21~25	118	個人住宅	1			昭和史料編集 調査報告書集					
21	亀久保1001-14*	1990.9.30~10	180	個人住宅	10			昭和史料編集 調査報告書集					
22	亀久保9-4	1990.12	1,524	区画整理	1	1	3	昭和史料編集 調査報告書集					
23	亀久保9-7	1991.3.12~16	162	個人住宅	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
24	亀久保1001-14	1991.2.14~3.15	259	個人住宅	2	60	6	内内遺跡調査 調査報告書集					
25	亀久保9-9	1991.5	249	個人住宅	5			内内遺跡調査 調査報告書集					
26	亀久保9-6	1991.12.4~21	475	個人住宅	6			内内遺跡調査 調査報告書集					
27	亀久保9-2	1991.7	92	集合住宅	1	2	36	昭和史料編集 調査報告書集					
28	新1007-3	1991.7	116	個人住宅	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
29	亀久保9-4	1991.9.9	197	個人住宅	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
30	亀久保9-2-7	1991.9.9	115	個人住宅	6			昭和史料編集 調査報告書集					
31	亀久保1008-1	1991.9.13~9	115	個人住宅	6			昭和史料編集 調査報告書集					
32	亀久保1011-1	1991.9.12~9.24	998	個人住宅	1	3	42	昭和史料編集 調査報告書集					
33	亀久保9-5-2	(1992.2.13)	634	個人住宅	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
34	亀久保1012-7	1993.9.28~11.5	470	個人住宅	1	2	7	56	昭和史料編集 調査報告書集				
35	亀久保1012-7	1993.9.28~11.5	470	個人住宅	1	2	7	56	昭和史料編集 調査報告書集				
36	新1012-1-2	(1994.2.17~18)	798	札幌建設課	1		残し	昭和史料編集 調査報告書集					
37	亀久保1003-2-6	1994.2.18~25	566	店舗	1	13		昭和史料編集 調査報告書集					
38	新12-1-2-2-3	1994.6.32~7-30	3,162	店舗	37	21	29	昭和史料編集 調査報告書集					
39	亀久保1008-5	1994.8.26~29	342	駐車場造成	1	5	47	昭和史料編集 調査報告書集					
40	亀久保1012-5	1995.5	590	道路造成	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
41	亀久保9-23-24	1995.5.31~6.4	3,160	道路造成	1	66		昭和史料編集 調査報告書集					
42	新1013-14	1995.7.11~18	196	南西隅洋建	遺構なし			昭和史料編集 調査報告書集					
43	新102-3-1	(1995.8.9~30)	818	立候補用	4	3		昭和史料編集 調査報告書集					
44	亀久保1013-1	1995.10.22~124	1,030	道路造成	167.3	7	29	昭和史料編集 調査報告書集					
調査 番号	所在地	調査部門 (「は式調査報告書」)	実積 (m ²)	調査原因	遺構	土 壌	古 物	ビ ート	所収報告書				
45	亀久保1005-5	2011.5-1		昭和史料編集 調査報告書集	619	共同住宅			5	内内1	市内遺跡群VI		
46	亀久保1002-17	2011.6-1		昭和史料編集 調査報告書集	173	分譲住宅				内内1	市内遺跡群VI		
47	亀久保1013-1	他		昭和史料編集 調査報告書集	2,741	共同住宅	1	14	4	174	残し 市内遺跡群VII 市内遺跡群VI		
48	亀久保9-19			昭和史料編集 調査報告書集	1,079	2.29~29	85%	アパート 賃貸	1	内内1	市内遺跡群VI		
49	亀久保1007-14			昭和史料編集 調査報告書集	214	自宅併用住宅					市内遺跡群VI		
50	亀久保1007-5			昭和史料編集 調査報告書集	1,998	2.29~30	197%	個人住宅	1	内内1	市内遺跡群VI		
51	亀久保1013地区4周			昭和史料編集 調査報告書集	1,696	3.15~7.9	222	個人住宅	6	4	11	市内遺跡群IX	
52	亀久保7街区4周			昭和史料編集 調査報告書集	2,000	2.1~12	121	個人住宅				市内遺跡群IX	
53	新102-28-1			昭和史料編集 調査報告書集	1,422	立候補	7					市内遺跡群X	
54	新102-28-17			昭和史料編集 調査報告書集	2,001	4.24~27	149	個人住宅				市内遺跡群X	
55	新102-28-16			昭和史料編集 調査報告書集	2,001	3.14~16	149	個人住宅				市内遺跡群X	
56	新102-28-15			昭和史料編集 調査報告書集	2,023	11.25~21	172	個人住宅				市内遺跡群X	
57	新102-28-14			昭和史料編集 調査報告書集	2,003	4.24~28	1,356	立候補				市内遺跡群X	
58	新102-28-13			昭和史料編集 調査報告書集	2,005	4.16~19	1,073	立候補	2	1	1	市内遺跡群X 報告書集	
59	新102-28-12			昭和史料編集 調査報告書集	2,006	10.10~13	290	個人住宅	1	2	1	市内遺跡群X	
60	新102-28-11			昭和史料編集 調査報告書集	2,007	11.32~26	1,284	立候補	28	28		市内遺跡群X	
61	新102-13-5			昭和史料編集 調査報告書集	2,008	9.17~10.15	998.3	モディルー 店	1			市内遺跡群6	
62	新102-28-19			昭和史料編集 調査報告書集	2,008	3.9~26	90%	駐車場建				市内遺跡群6	
63	新102-16-1			昭和史料編集 調査報告書集	2,011	7.13~7.19	408	新社社屋				市内遺跡群14	
64	新102-12-11-12			昭和史料編集 調査報告書集	2,011	8.1~8	136	個人住宅	1			市内遺跡群14	
65	新102-12-20-20			昭和史料編集 調査報告書集	2,011	8.1	136	個人住宅				市内遺跡群14	
66	新102-10-12-11-12			昭和史料編集 調査報告書集	2,011	8.1~8	136	個人住宅				市内遺跡群14	
67	新102-12-11-12			昭和史料編集 調査報告書集	2,011	8.1~8	136	個人住宅	1			市内遺跡群14	
68	新102-12-26-27			昭和史料編集 調査報告書集	2,011	8.1~8	136	個人住宅				市内遺跡群14	
69	新102-10-26-4-11			昭和史料編集 調査報告書集	2,011	8.1~8	136	個人住宅				市内遺跡群14	
70	新102-12-13			昭和史料編集 調査報告書集	2,012	3.27~12	1,023	立候補	111	個人住宅	1		市内遺跡群14
71	新102-12-2-12			昭和史料編集 調査報告書集	2,012	4.27~27	1,132	個人住宅				市内遺跡群15	
72	新102-12-16-12-15			昭和史料編集 調査報告書集	2,012	10.11	247.80	個人住宅				市内遺跡群15	
73	新102-12-17-14			昭和史料編集 調査報告書集	2,014	7.4.7~17	326.14	個人住宅				市内遺跡群20	
74	新102-9-7-13-14			昭和史料編集 調査報告書集	2,014	11.27~1	557	立候補	1			市内遺跡群20	
75	新102-17-10-10			昭和史料編集 調査報告書集	2,015	6.8~	47	個人住宅				市内遺跡群22	
76	新102-10-3-2			昭和史料編集 調査報告書集	2,015	8.6~	247.80	個人住宅				市内遺跡群22	
77	新102-9-24			昭和史料編集 調査報告書集	2,016	3.18~18	160	個人住宅				市内遺跡群22	
78	新102-17-10-11 の名古			昭和史料編集 調査報告書集	2,018.25	266.57	個人住宅	遺構なし				未収	

第 75 地点

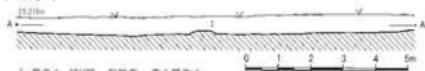


I. 黒土耕作土 細り弱、粘性有、黒色土と10cm以下ロームブロックを多く含む

第 76 地点

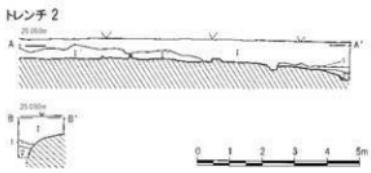
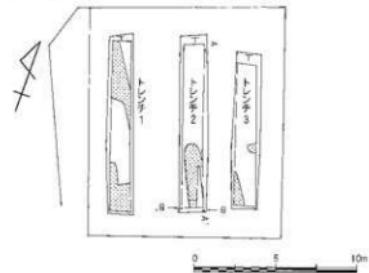


トレンチ 3



I. 黒色土 細り弱、粘性有、表土耕作土

第 77 地点



I. 黒土 細り有、粘性有、ロームブロック・黒色土を多く含む

1' 黑褐色土 細りや強、粘性弱、ロームブロック混じる

1 黑褐色土 細りや弱、粘性やや弱、1mmの大ローム粒少量

2 黑褐色土 細りや弱、粘性やや弱、1~3mmのローム粒や多量

第 53 図 龜居遺跡第 75 ~ 77 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、第 75 地点出土遺物 (1/4)

第11章 鶴ヶ舞遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

鶴ヶ舞遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～900m程下った左岸に位置している。標高21～23mで現谷底との比高差は5mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜を成し、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畠地が残っている。

周辺の遺跡は約200m西に亀居遺跡、約150m南に江川南遺跡、約200m南東に東久保遺跡がある。

1987年の最初の調査から2018年4月現在、29地点で試掘及び発掘調査が行われ、旧石器時代の石器、縄文時代の炉穴、落とし穴、平安時代の溝を検出し、平安時代の須恵器壺が出土している。

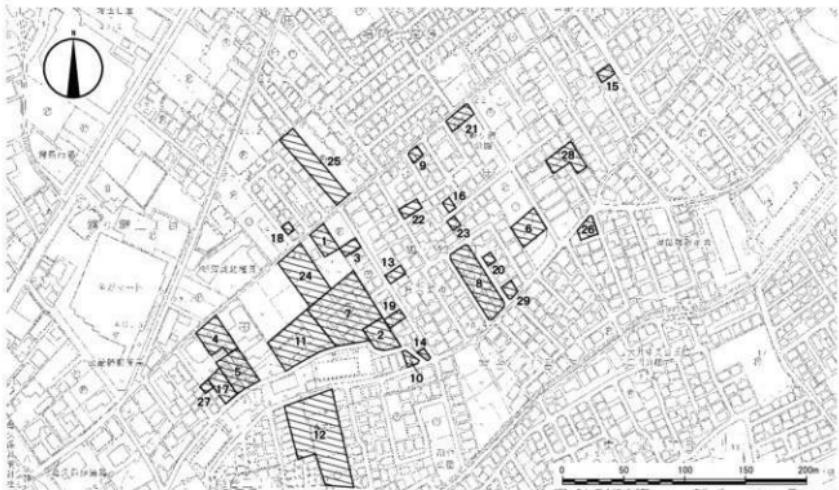
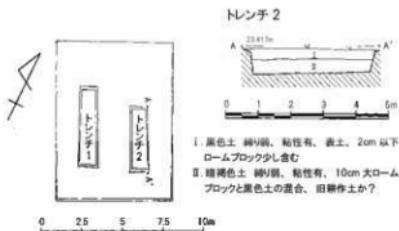
II 鶴ヶ舞遺跡第23地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範

囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月29日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.1mのトレーナー2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約75cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかつたため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



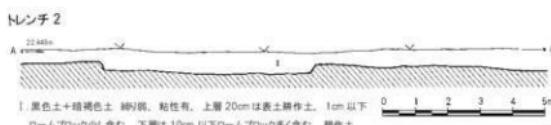
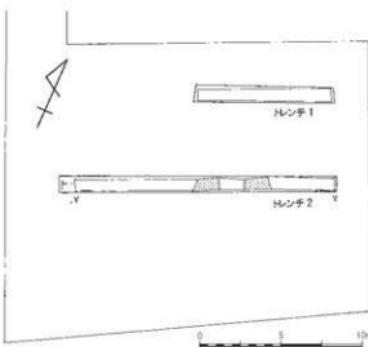
第54図 鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第23地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

III 鶴ヶ舞遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月31日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60~70cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第55図 鶴ヶ舞遺跡第24地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第35表 鶴ヶ舞遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()内は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	鶴ヶ舞67-3	(1986.1.18~29)	499	個人住宅	土坑1。縄文中期土器片	東部遺跡群VI
2	鶴ヶ舞1-65-6	(1987.4.16~30)	495	個人住宅	井戸1、土坑2。平安時代溝1。旧石器、土器片。須恵器	東部遺跡群VI
3	鶴ヶ舞1-69-1	(1994.7.10)	141	駐車場造成	遺構なし。	町内遺跡群V
4	鶴ヶ舞1-60-6-10	(1997.8.26~29)	318	共同住宅	近世溝6。井戸1	町内遺跡群VI
5	鶴ヶ舞1-61-3	(1997.11.4~6)	266	分譲住宅	近世溝2	町内遺跡群VI
6	鶴ヶ舞1-84	(2002.9.10~13)	474	個人住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群VI
7	鶴ヶ舞1-65-1	(2003.5.29~6.14)2003.6.23~7.3	2,030	分譲住宅	旧石器群、縄文土坑1	町内遺跡群VI
8	鶴ヶ舞1-69-46~51-61~66	(2005.7.11~8.11)2005.8.24	1,087	分譲住宅	井戸6。ビット3	調査報告書15集
9	鶴ヶ舞1-16-5	(2005.11.1)	104	共同住宅	ビット3。遺物なし	市内遺跡群2
10	鶴ヶ舞1-64-6	(2006.6.5)	96	個人住宅	桃型土溝1。旧石器時代遺跡群1	市内遺跡群3
11	鶴ヶ舞1-65-2-6	(2006.9.21~10.5)	1,316	建物解体工事	遺構遺物なし	市内遺跡群3
12	鶴ヶ舞1-58-4	(2011.7.19~21)	97.7	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
13	鶴ヶ舞1-78-7	(2011.7.21)	115	個人住宅	遺構なし。土器片	市内遺跡群14
14	鶴ヶ舞1-79-7	(2011.9.22)	56.3	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
15	南798-33	(2011.11.22)	100.3	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
16	鶴ヶ舞1-73-10	(2012.9.7)	63	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
17	鶴ヶ舞1-58-2	(2012.11.16)2012.11.16	324.2	個人住宅	溝1。土器片、近世陶磁器	市内遺跡群15
18	福岡武藏野1406-7-9(6)	(2013.1.21)	61	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
19	鶴ヶ舞1-79-25	(2013.4.10)	94.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
20	鶴ヶ舞1-69-70	(2013.5.13)	68.55	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
21	鶴ヶ舞1-73-27-51-52-54	(2013.10.23)	135.55	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
22	鶴ヶ舞1-69-35-4	(2014.12.4)	171	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
23	鶴ヶ舞1-73-19	(2015.6.29)	72	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
24	鶴ヶ舞1-67-3-4の一部	(2015.8.31)	499	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
25	福岡武藏野1406-7-9-10-11	(2013.5.22)	1,124.99	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
26	鶴ヶ舞1-99-10~12	(2016.1.25)	252	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
27	鶴ヶ舞1-58-8	(2017.4.13)	54	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
28	鶴ヶ舞1-85-3-4-19-20-21-22	(2017.11.16~17)	497.81	分譲住宅	井戸6。土坑1。ビット2。縄文土器	未報告
29	鶴ヶ舞1-69-103	(2017.11.17)	106.00	個人住宅	ビット1(時期不明)。遺物なし	未報告

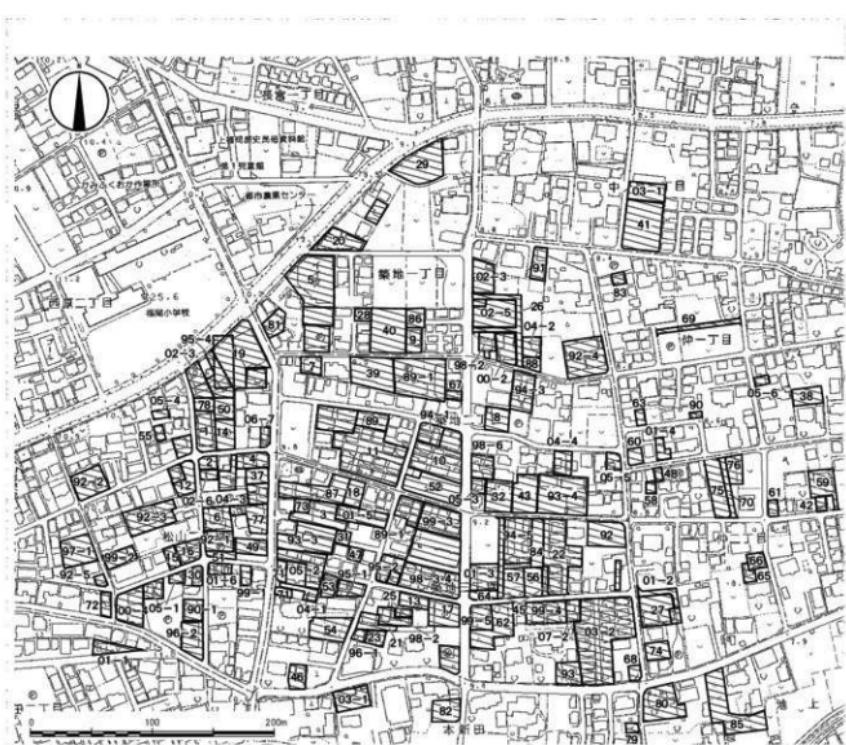
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武藏野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9~10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畠が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期~後期、飛鳥時代および中世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、

西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

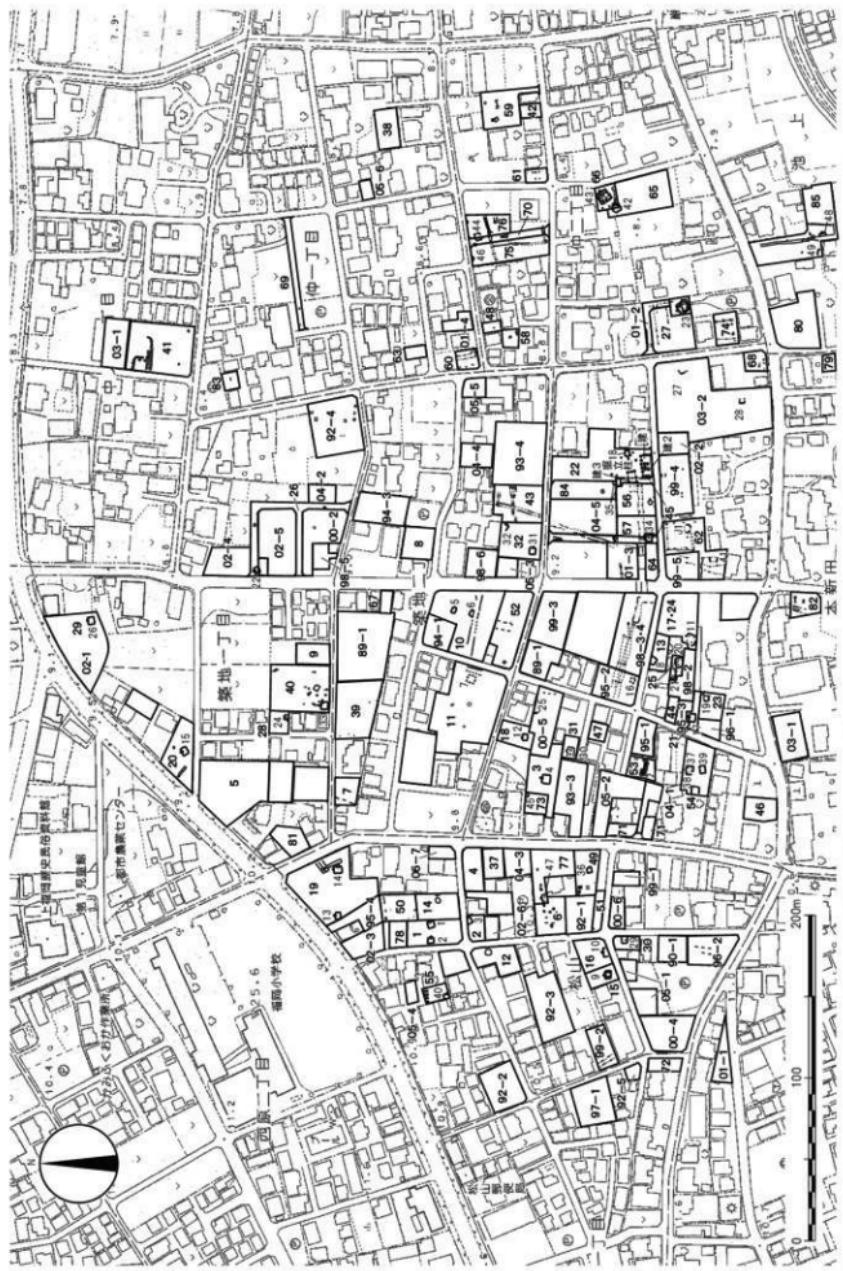
1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのがはじめ、宅地造成などにより2018年4月現在、約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。



第56図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第36表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
048(1)	篠地3-1-16,32	(2004.4.22~23)	976	宅地造成なし		埋(27)
048(2)	篠地1-3-37	(2004.4.26)	165	個人住宅なし		埋(27)
048(3)	松山2-6-11	(2004.6.16)	309	宅地造成なし		埋(27)
048(4)	篠地2-5,14,25,27	(2004.8.5)	280	個人住宅なし		埋(27)
048(5)	篠地3-4-12	(2004.9.6~8)	911	宅地造成なし	墓1	埋(27)
058(1)	松山2-2-4の一部	(2005.4.6~7)	313	土地分譲	遺構,遺物なし	市内1
058(2)	篠地1-32-34,43	(2005.4.19~21)	549	土地分譲	遺構,遺物なし	市内1
058(3)	篠地2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構,遺物なし	市内1
31次	篠地1-49	(2005.6.14~21)(2005.6.9~13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内3
058(4)	篠地2-5-3	(2005.8.30~9/13)	567	宅地造成	平安時代住居跡1	市内1
32次	篠地2-5-3の一部	(2005.8.30~9/7)(2005.9.8~13)	132	個人住宅	平安時代住居跡2	市内1
058(5)	篠地2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構,遺物なし	市内1
058(6)	松山2-4-23	(2005.10.20~21)	161	個人住宅	遺構,遺物なし	市内1
058(6)	神戸4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構,遺物なし	市内1
058(7)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構,遺物なし	市内2
37	松山2-6-10-13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構,遺物なし	市内3
38	神戸4-3-9~12・13~14	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構,遺物なし	市内3
39	篠地2-3-10	(2007.1.10~20)	937	宅地造成	遺構,遺物なし	市内3
40	篠地1-1-5	(2007.2.2~8)(2007.2.21~3)	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡1, 中世遺構検出	市内3
41	中ノ島1-2-5	(2007.2.7~9)(2007.2.21~35)	1,281	宅地造成	中世遺構検出	市内3
42	仲2-3-15	(2007.2.13)	108	個人住宅	遺構,遺物なし	市内3
43	篠地2-5-2	(2007.4.11~24)	668.13	分譲住宅	宿跡1, 土坑1, 古石器ナイフ1点	市内4
44	篠地2-10-14	(2008.6.9~11)	132	個人住宅	遺構,遺物なし	市内6
45	篠地3-4-7の一部	(2008.9.4~30)(2008.10.1~23)	390	道路	遺構,遺物なし	市内6
46	篠地1-3-33-35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構,遺物なし	市内6
47	篠地1-5-2	(2009.5.11~12)	121	個人住宅	ビット	市内8
48	仲2-3-4	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構,遺物なし	市内8
49	松山2-6-14-22の一部	(2009.10.7~22)(2009.10.27~11月)	449	宅地造成	平安時代住居跡1(住居内副葬炉検出), 土坑1, 墓1, ピット1	市内8
50	松山2-5-3-17	(2009.11.27~12.1)	79	分譲住宅	墓1, ピット1	市内8
51	松山2-6-22-23-28の一部	(2010.5.10~13)	360	分譲住宅	遺構,遺物なし	市内10
52	篠地2-2-1	(2010.8.26~9/3)	694	分譲住宅	墓1, 落とし土1, 工事立会	市内10
53	篠地1-1-11	(2010.9.10~21)	205	個人住宅	近代柱建物跡1, 棚1, 土坑1, 土器1, 土器2, 地場, 工事立会	市内10
54	篠地1-6-76~83	(2010.9.21~10/1)(2010.10.4~11.5)	539.51	実地造成	奈良奈良代住居跡1, 狹長形柱建物1, 本調査	市内9
55	松山2-4-24の一部	(2011.3.17~2011.3.18~31)	226.37	個人住宅	奈良奈良代柱建物1, 狹長形柱建物1, 本調査	市内10
56	篠地3-4-7-8の一部	(2011.4.14~14)(2011.4.11~15)	482.53	即売住宅	奈良奈良代柱建物跡2他, 本調査(一部工事立会)	市内11
57	篠地3-4-47	(20011.4.4~15)	241	分譲住宅	複数43地点からなるH34号住居跡と墓, 遺物なし	市内14
58	仲2-2-31	(2011.6.6~8/2011.6.14)	114.54	個人住宅	井戸1, 井戸1, ピット1, 本調査	市内14
59	仲2-3-6~9	(2011.8.8~9/2011.10~11)	559.7	個人住宅	土坑2, 漢1, 磨文土器, 須恵器, 本調査	市内14
60	仲1-1-15	(2012.3.26~27)	165.31	個人住宅	地場1, 漢1, 土器1, 土器2, 土器3, 土器4, 土器5, 土器6, 土器7, 土器8, 土器9, 土器10, 土器11, 土器12, 土器13, 土器14, 土器15, 土器16, 土器17, 土器18, 土器19, 土器20, 土器21, 土器22, 土器23, 土器24, 土器25, 土器26, 土器27, 土器28, 土器29, 土器30, 土器31, 土器32, 土器33, 土器34, 土器35, 土器36, 土器37, 土器38, 土器39, 土器40, 土器41, 土器42, 土器43, 土器44, 土器45, 土器46, 土器47, 土器48, 土器49, 土器50, 土器51, 土器52, 土器53, 土器54, 土器55, 土器56, 土器57, 土器58, 土器59, 土器60, 土器61, 土器62, 土器63, 土器64, 土器65, 土器66, 土器67, 土器68, 土器69, 土器70, 土器71, 土器72, 土器73, 土器74, 土器75, 土器76, 土器77, 土器78, 土器79, 土器80, 土器81, 土器82, 土器83, 土器84, 土器85, 土器86, 土器87, 土器88, 土器89, 土器90, 土器91, 土器92, 土器93, 土器94, 土器95, 土器96, 土器97, 土器98, 土器99, 土器100, 土器101, 土器102, 土器103, 土器104, 土器105, 土器106, 土器107, 土器108, 土器109, 土器110, 土器111, 土器112, 土器113, 土器114, 土器115, 土器116, 土器117, 土器118, 土器119, 土器120, 土器121, 土器122, 土器123, 土器124, 土器125, 土器126, 土器127, 土器128, 土器129, 土器130, 土器131, 土器132, 土器133, 土器134, 土器135, 土器136, 土器137, 土器138, 土器139, 土器140, 土器141, 土器142, 土器143, 土器144, 土器145, 土器146, 土器147, 土器148, 土器149, 土器150, 土器151, 土器152, 土器153, 土器154, 土器155, 土器156, 土器157, 土器158, 土器159, 土器160, 土器161, 土器162, 土器163, 土器164, 土器165, 土器166, 土器167, 土器168, 土器169, 土器170, 土器171, 土器172, 土器173, 土器174, 土器175, 土器176, 土器177, 土器178, 土器179, 土器180, 土器181, 土器182, 土器183, 土器184, 土器185, 土器186, 土器187, 土器188, 土器189, 土器190, 土器191, 土器192, 土器193, 土器194, 土器195, 土器196, 土器197, 土器198, 土器199, 土器200, 土器201, 土器202, 土器203, 土器204, 土器205, 土器206, 土器207, 土器208, 土器209, 土器210, 土器211, 土器212, 土器213, 土器214, 土器215, 土器216, 土器217, 土器218, 土器219, 土器220, 土器221, 土器222, 土器223, 土器224, 土器225, 土器226, 土器227, 土器228, 土器229, 土器230, 土器231, 土器232, 土器233, 土器234, 土器235, 土器236, 土器237, 土器238, 土器239, 土器240, 土器241, 土器242, 土器243, 土器244, 土器245, 土器246, 土器247, 土器248, 土器249, 土器250, 土器251, 土器252, 土器253, 土器254, 土器255, 土器256, 土器257, 土器258, 土器259, 土器260, 土器261, 土器262, 土器263, 土器264, 土器265, 土器266, 土器267, 土器268, 土器269, 土器270, 土器271, 土器272, 土器273, 土器274, 土器275, 土器276, 土器277, 土器278, 土器279, 土器280, 土器281, 土器282, 土器283, 土器284, 土器285, 土器286, 土器287, 土器288, 土器289, 土器290, 土器291, 土器292, 土器293, 土器294, 土器295, 土器296, 土器297, 土器298, 土器299, 土器300, 土器301, 土器302, 土器303, 土器304, 土器305, 土器306, 土器307, 土器308, 土器309, 土器310, 土器311, 土器312, 土器313, 土器314, 土器315, 土器316, 土器317, 土器318, 土器319, 土器320, 土器321, 土器322, 土器323, 土器324, 土器325, 土器326, 土器327, 土器328, 土器329, 土器330, 土器331, 土器332, 土器333, 土器334, 土器335, 土器336, 土器337, 土器338, 土器339, 土器340, 土器341, 土器342, 土器343, 土器344, 土器345, 土器346, 土器347, 土器348, 土器349, 土器350, 土器351, 土器352, 土器353, 土器354, 土器355, 土器356, 土器357, 土器358, 土器359, 土器360, 土器361, 土器362, 土器363, 土器364, 土器365, 土器366, 土器367, 土器368, 土器369, 土器370, 土器371, 土器372, 土器373, 土器374, 土器375, 土器376, 土器377, 土器378, 土器379, 土器380, 土器381, 土器382, 土器383, 土器384, 土器385, 土器386, 土器387, 土器388, 土器389, 土器390, 土器391, 土器392, 土器393, 土器394, 土器395, 土器396, 土器397, 土器398, 土器399, 土器400, 土器401, 土器402, 土器403, 土器404, 土器405, 土器406, 土器407, 土器408, 土器409, 土器410, 土器411, 土器412, 土器413, 土器414, 土器415, 土器416, 土器417, 土器418, 土器419, 土器420, 土器421, 土器422, 土器423, 土器424, 土器425, 土器426, 土器427, 土器428, 土器429, 土器430, 土器431, 土器432, 土器433, 土器434, 土器435, 土器436, 土器437, 土器438, 土器439, 土器440, 土器441, 土器442, 土器443, 土器444, 土器445, 土器446, 土器447, 土器448, 土器449, 土器450, 土器451, 土器452, 土器453, 土器454, 土器455, 土器456, 土器457, 土器458, 土器459, 土器460, 土器461, 土器462, 土器463, 土器464, 土器465, 土器466, 土器467, 土器468, 土器469, 土器470, 土器471, 土器472, 土器473, 土器474, 土器475, 土器476, 土器477, 土器478, 土器479, 土器480, 土器481, 土器482, 土器483, 土器484, 土器485, 土器486, 土器487, 土器488, 土器489, 土器490, 土器491, 土器492, 土器493, 土器494, 土器495, 土器496, 土器497, 土器498, 土器499, 土器500, 土器501, 土器502, 土器503, 土器504, 土器505, 土器506, 土器507, 土器508, 土器509, 土器510, 土器511, 土器512, 土器513, 土器514, 土器515, 土器516, 土器517, 土器518, 土器519, 土器520, 土器521, 土器522, 土器523, 土器524, 土器525, 土器526, 土器527, 土器528, 土器529, 土器530, 土器531, 土器532, 土器533, 土器534, 土器535, 土器536, 土器537, 土器538, 土器539, 土器540, 土器541, 土器542, 土器543, 土器544, 土器545, 土器546, 土器547, 土器548, 土器549, 土器550, 土器551, 土器552, 土器553, 土器554, 土器555, 土器556, 土器557, 土器558, 土器559, 土器560, 土器561, 土器562, 土器563, 土器564, 土器565, 土器566, 土器567, 土器568, 土器569, 土器570, 土器571, 土器572, 土器573, 土器574, 土器575, 土器576, 土器577, 土器578, 土器579, 土器580, 土器581, 土器582, 土器583, 土器584, 土器585, 土器586, 土器587, 土器588, 土器589, 土器590, 土器591, 土器592, 土器593, 土器594, 土器595, 土器596, 土器597, 土器598, 土器599, 土器600, 土器601, 土器602, 土器603, 土器604, 土器605, 土器606, 土器607, 土器608, 土器609, 土器610, 土器611, 土器612, 土器613, 土器614, 土器615, 土器616, 土器617, 土器618, 土器619, 土器620, 土器621, 土器622, 土器623, 土器624, 土器625, 土器626, 土器627, 土器628, 土器629, 土器630, 土器631, 土器632, 土器633, 土器634, 土器635, 土器636, 土器637, 土器638, 土器639, 土器640, 土器641, 土器642, 土器643, 土器644, 土器645, 土器646, 土器647, 土器648, 土器649, 土器650, 土器651, 土器652, 土器653, 土器654, 土器655, 土器656, 土器657, 土器658, 土器659, 土器660, 土器661, 土器662, 土器663, 土器664, 土器665, 土器666, 土器667, 土器668, 土器669, 土器670, 土器671, 土器672, 土器673, 土器674, 土器675, 土器676, 土器677, 土器678, 土器679, 土器680, 土器681, 土器682, 土器683, 土器684, 土器685, 土器686, 土器687, 土器688, 土器689, 土器690, 土器691, 土器692, 土器693, 土器694, 土器695, 土器696, 土器697, 土器698, 土器699, 土器700, 土器701, 土器702, 土器703, 土器704, 土器705, 土器706, 土器707, 土器708, 土器709, 土器710, 土器711, 土器712, 土器713, 土器714, 土器715, 土器716, 土器717, 土器718, 土器719, 土器720, 土器721, 土器722, 土器723, 土器724, 土器725, 土器726, 土器727, 土器728, 土器729, 土器730, 土器731, 土器732, 土器733, 土器734, 土器735, 土器736, 土器737, 土器738, 土器739, 土器740, 土器741, 土器742, 土器743, 土器744, 土器745, 土器746, 土器747, 土器748, 土器749, 土器750, 土器751, 土器752, 土器753, 土器754, 土器755, 土器756, 土器757, 土器758, 土器759, 土器760, 土器761, 土器762, 土器763, 土器764, 土器765, 土器766, 土器767, 土器768, 土器769, 土器770, 土器771, 土器772, 土器773, 土器774, 土器775, 土器776, 土器777, 土器778, 土器779, 土器780, 土器781, 土器782, 土器783, 土器784, 土器785, 土器786, 土器787, 土器788, 土器789, 土器790, 土器791, 土器792, 土器793, 土器794, 土器795, 土器796, 土器797, 土器798, 土器799, 土器800, 土器801, 土器802, 土器803, 土器804, 土器805, 土器806, 土器807, 土器808, 土器809, 土器810, 土器811, 土器812, 土器813, 土器814, 土器815, 土器816, 土器817, 土器818, 土器819, 土器820, 土器821, 土器822, 土器823, 土器824, 土器825, 土器826, 土器827, 土器828, 土器829, 土器830, 土器831, 土器832, 土器833, 土器834, 土器835, 土器836, 土器837, 土器838, 土器839, 土器840, 土器841, 土器842, 土器843, 土器844, 土器845, 土器846, 土器847, 土器848, 土器849, 土器850, 土器851, 土器852, 土器853, 土器854, 土器855, 土器856, 土器857, 土器858, 土器859, 土器860, 土器861, 土器862, 土器863, 土器864, 土器865, 土器866, 土器867, 土器868, 土器869, 土器870, 土器871, 土器872, 土器873, 土器874, 土器875, 土器876, 土器877, 土器878, 土器879, 土器880, 土器881, 土器882, 土器883, 土器884, 土器885, 土器886, 土器887, 土器888, 土器889, 土器890, 土器891, 土器892, 土器893, 土器894, 土器895, 土器896, 土器897, 土器898, 土器899, 土器900, 土器901, 土器902, 土器903, 土器904, 土器905, 土器906, 土器907, 土器908, 土器909, 土器910, 土器911, 土器912, 土器913, 土器914, 土器915, 土器916, 土器917, 土器918, 土器919, 土器920, 土器921, 土器922, 土器923, 土器924, 土器925, 土器926, 土器927, 土器928, 土器929, 土器930, 土器931, 土器932, 土器933, 土器934, 土器935, 土器936, 土器937, 土器938, 土器939, 土器940, 土器941, 土器942, 土器943, 土器944, 土器945, 土器946, 土器947, 土器948, 土器949, 土器950, 土器951, 土器952, 土器953, 土器954, 土器955, 土器956, 土器957, 土器958, 土器959, 土器960, 土器961, 土器962, 土器963, 土器964, 土器965, 土器966, 土器967, 土器968, 土器969, 土器970, 土器971, 土器972, 土器973, 土器974, 土器975, 土器976, 土器977, 土器978, 土器979, 土器980, 土器981, 土器982, 土器983, 土器984, 土器985, 土器986, 土器987, 土器988, 土器989, 土器990, 土器991, 土器992, 土器993, 土器994, 土器995, 土器996, 土器997, 土器998, 土器999, 土器1000, 土器1001, 土器1002, 土器1003, 土器1004, 土器1005, 土器1006, 土器1007, 土器1008, 土器1009, 土器1010, 土器1011, 土器1012, 土器1013, 土器1014, 土器1015, 土器1016, 土器1017, 土器1018, 土器1019, 土器1020, 土器1021, 土器1022, 土器1023, 土器1024, 土器1025, 土器1026, 土器1027, 土器1028, 土器1029, 土器1030, 土器1031, 土器1032, 土器1033, 土器1034, 土器1035, 土器1036, 土器1037, 土器1038, 土器1039, 土器1040, 土器1041, 土器1042, 土器1043, 土器1044, 土器1045, 土器1046, 土器1047, 土器1048, 土器1049, 土器1050, 土器1051, 土器1052, 土器1053, 土器1054, 土器1055, 土器1056, 土器1057, 土器1058, 土器1059, 土器1060, 土器1061, 土器1062, 土器1063, 土器1064, 土器1065, 土器1066, 土器1067, 土器1068, 土器1069, 土器1070, 土器1071, 土器1072, 土器1073, 土器1074, 土器1075, 土器1076, 土器1077, 土器1078, 土器1079, 土器1080, 土器1081, 土器1082, 土器1083, 土器1084, 土器1085, 土器1086, 土器1087, 土器1088, 土器1089, 土器1090, 土器1091, 土器1092, 土器1093, 土器1094, 土器1095, 土器1096, 土器1097, 土器1098, 土器1099, 土器1100, 土器1101, 土器1102, 土器1103, 土器1104, 土器1105, 土器1106, 土器1107, 土器1108, 土器1109, 土器1110, 土器1111, 土器1112, 土器1113, 土器1114, 土器1115, 土器1116, 土器1117, 土器1118, 土器1119, 土器1120, 土器1121, 土器1122, 土器1123, 土器1124, 土器1125, 土器1126, 土器1127, 土器1128, 土器1129, 土器1130, 土器1131, 土器1132, 土器1133, 土器1134, 土器1135, 土器1136, 土器1137, 土器1138, 土器1139, 土器1140, 土器1141, 土器1142, 土器1143, 土器1144, 土器1145, 土器1146, 土器1147, 土器1148, 土器1149, 土器1150, 土器1151, 土器1152, 土器1153, 土器1154, 土器1155, 土器1156, 土器1157, 土器1158, 土器1159, 土器1160, 土器1161, 土器1162, 土器1163, 土器1164, 土器1165, 土器1166, 土器1167, 土器1168, 土器1169, 土器1170, 土器1171, 土器1172, 土器1173, 土器1174, 土器1175, 土器1176, 土器1177, 土器1178, 土器1179, 土器1180, 土器1181, 土器1182, 土器1183, 土器1184, 土器1185, 土器1186, 土器1187, 土器1188, 土器1189, 土器1190, 土器1191, 土器1192, 土器1193, 土器1194, 土器1195, 土器1196, 土器1197, 土器1198, 土器1199, 土器1200, 土器1201, 土器1202, 土器1203, 土器1204, 土器1205, 土器1206, 土器1207,	



第57図 松山遺構分布図 (1/3,000)

第37表 松山遺跡古代住居跡一覧表（単位cm）

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率 (%)は推定	平面形 ()は推定	規模	押 カマドX 引置壁 カマドX	カマド 横幅(cm)	雨溝 主軸方位	時 期	備 考	文 献
1	1978	第1次1号住居	完掘	正方形	390×380	K 東	110×75	○	国分前半	埋蔵文化財の調査1	
2	"	第1次2号住居	完掘	台形	360×320	K 東	120×85	○	国分前半	埋蔵文化財の調査1	
3	1979	第2次3号住居	2/3 (方形)	350× ×10	K 東	—	—	一部	国分後半	埋蔵文化財の調査II	
4	"	第3次4号住居	完掘	方形	530×475	K 北	200×100	○	N-E-E	埋蔵文化財の調査II	
5	1991	第10次5号住居	完掘	長方形	230×350	K 北→東	—	○	9C 2半期	埋蔵文化財の調査14	
6	"	第10次6号住居	2/3 方形	340×300	K 東	—	—	○	9C 2半期	埋蔵文化財の調査14	
7	"	第10次7号住居	完掘	正方形	400×400	—	—	○	B-C 4半期	埋蔵文化財の調査14	
8	1992	第13次8号住居	3/4 (方形)	400×	—	—	—	—	N-E-E	B-C 3半期	埋蔵文化財の調査15
9	1993	第15次9号住居	完掘	A 440×350 B 420×310 C 260×300	K 東→北	A 210×210 B 210×210 C 80×65	○	9C 1半期	鉄体型須恵器出土	埋蔵文化財の調査16	
10	"	第16次10号住居	1/3 正方形	560×560	K 北	130×80	○	—	B-C 4半期	埋蔵文化財の調査16	
11	"	第17次11号住居	完掘	方形	600×600	K 北	—	○	褐色住居土	黒色土師器出土	埋蔵文化財の調査16
12	"	第18次12号住居	完掘	方形	400×320	K 北	—	(○)	B-C 4半期	埋蔵文化財の調査16と市史	
13	1994	第19次13号住居	完掘	長方形	450×300	K 北	—	○	N-E-E	9C 1半期	松山遺跡第19次調査報告
14	"	第19次14号住居	完掘	長方形	450×500	K 東→北	—	○	N-E-E	9C 1半期	松山遺跡第19次調査報告
15	"	第20次15号住居	完掘	長方形	370×470	K 北西	70×70	○	7C 4半期	松山遺跡第20次の調査	
16	1995	7号試掘(2)16号住居	—	—	—	—	—	—	N-20-W	6C	未報告
17	"	第21次17号住居	完掘	長方形	480×400	K 北	—	○	7C 4半期	埋蔵文化財の調査19	
18	1997	第22次18号住居	完掘	長方形	240×460	K 東	90×60	○	N-E-E	B-C末	埋蔵文化財の調査20
"	第22次1号掘立	部分	長方形	東西5.5間 南北3間	—	—	—	—	B-C末～9C初	埋蔵文化財の調査20	
"	第22次2号掘立	部分	長方形	東西2.5間 南北2.5間	—	—	—	—	B-C末～9C初	埋蔵文化財の調査20	
"	第22次3号掘立	部分	長方形	(東西2.5間)南北3間	—	—	—	—	B-C末～9C初	埋蔵文化財の調査20	
19	1998	第23次19号住居	4/5	長方形	260×290	—	—	○	N-30-W	B-C後半	埋蔵文化財の調査21
20	1999	第25次20号住居	—	—	—	—	—	—	B-C初頭	粗粒土師器	市史通史編
21	"	第25次21号住居	—	—	—	—	—	—	B-C初頭	—	未報告
22	2000	第26次22号住居	完掘	—	360×	K 北	—	○	7C後半	14年度完掘、他失住居	埋蔵文化財の調査23
23	"	第27次23号住居	完掘	台形	600×720	K 北	—	○	B-C半ば	—	埋蔵文化財の調査23
24	2001	第28次24号住居	1/2	—	340×	K 北西	—	○	B-C中葉	—	埋蔵文化財の調査24
25	2000	12年度試掘5	2/3	—	—	—	—	—	—	—	埋蔵文化財の調査23
26	2002	第29次26号住居	完掘	長方形	420×360	K 北	—	○	7C後半	—	埋蔵文化財の調査25
27	2003	15年度試掘27号住居	—	(遺土保存)	—	—	—	—	—	—	プランのみ確認
28	"	15年度試掘28号住居	1/2	(遺土保存)	—	—	—	—	—	—	プランのみ確認
29	"	第30次29号住居	完掘	長方形	360×420	K 東	—	○	9C前半	—	埋蔵文化財の調査26
30	2005	第31次30号住居	完掘	長方形	360×600	K 北	—	○	—	土壁出土	市内通跡群1
31	"	第32次31号住居	完掘	長方形	380×330×	K 東	—	○	S-56-E	9C中葉	市内通跡群1
32	"	第32次32号住居	1/2	長方形	東西3m×南北3m以上	K 東	—	○	S-85-E	—	市内通跡群1
33	2006	40地点H33号住居	完掘	方形	455×420	K 北	98×154	○	N-S-E	B-C後半	市内通跡群3
34	2008	45地点H34号住居	完掘	方形	364×361	K 東	122×125	○	N-96-E	—	市内通跡群6
35	2008	45-84地点H35号住居	1/2	方形	504×480	—	—	—	—	他失住居	市内通跡群6-22
36	2009	49地点H36号住居	完掘	—	280×290	K 東	105×100	○	N-92-E	B-C後半	観測炉1
37	2010	54地点H37号住居	完掘	方形	434×524	K 北	70×86	○	N-13-E	B-C1四半期	市内通跡群9
38	2010	54地点H38号住居	一部	方形	(440)×468	K 東	95	○	N-107-E	B-C1四半期	プラン確認
39	2010	54地点H39号住居	完掘	方形	336×459	K 北	79×101	○	N-4-E	B-C1四半期	市内通跡群9
40	2011	55地点H40号住居	3/4 (方形)	(300)×(320)	K 東	95×123	○	N-90-E	9C前半	市内通跡群10	
41	2012	62地点H41号住居	3/4 (方形)	410×(300)	K 北	—	—	—	N-16-E	—	市内通跡群12
42	2013	65-66地点H42号住居	—	—	460×440	K 東	110×106	○	N-62-E	9C前半	市内通跡群13
43	2013	66地点H43号住居	—	—	—	—	—	—	N-66-E	9C中葉前後以降	市内通跡群15
44	2013	66地点H43日号住居	—	—	700×700	K 東	—	—	N-66-E	9C中葉前後以降	市内通跡群15
45	2013	73地点H45号住居	不明	—	(238×125)	—	—	—	—	—	市内通跡群18
46	2013	75地点H46号住居	不明	—	(320×145)	—	—	—	—	—	市内通跡群18
47	2013	77地点H47号住居	不明	410×(95)	K 北	156×135	○	—	B-C後半～9C初	—	市内通跡群18

II 松山遺跡第82地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年7月30～31日に試掘調査を実施した。

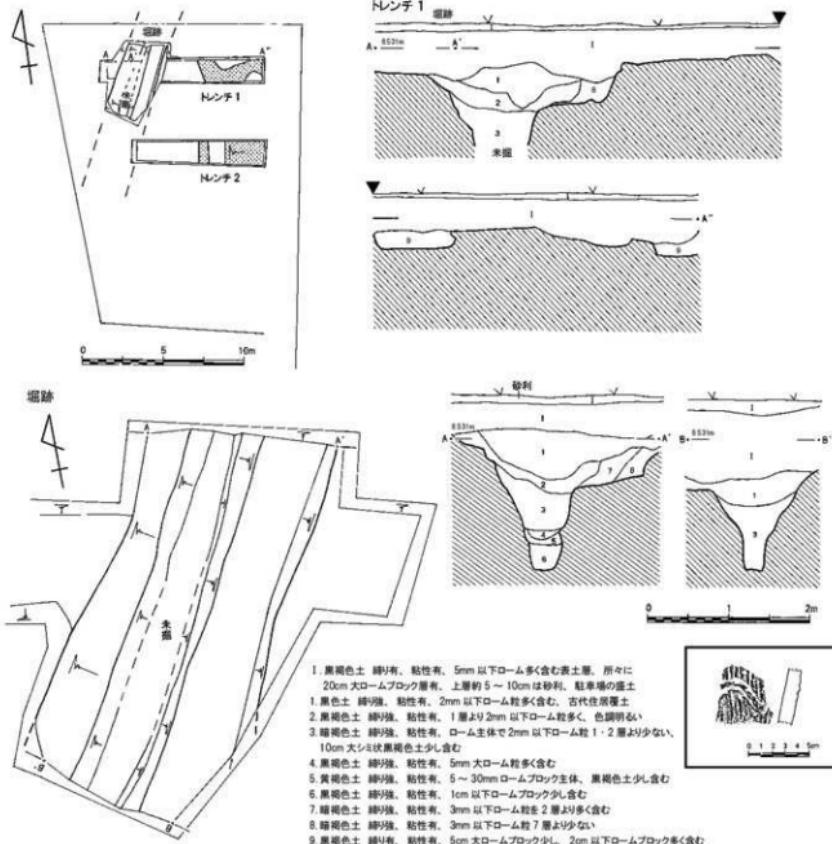
試掘調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約40cmである。試掘の結果、堀

跡1本を確認した。中近世以降と考えられるが時期不明であるため、遺構の存在を確認する調査に留め、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 堀跡

堀跡はトレンチ1で確認した。走行方向を確認するため、一部調査区を確認したところ、ほぼ南北方向であることが判明した。規模は上幅220～245cm、下幅約25cm、深さ約160cmである。出土遺物はなく、時期は不明である。



第58図 松山遺跡第82地点遺構配置図(1/300)、堀跡(1/60)、出土遺物(1/4)

②出土遺物

トレンチ1表土中より縄文土器片1点が出土した。綴位の平行沈線後に2本の波状沈線を施す。中期か。

III 松山遺跡第83地点

(1) 調査の概要

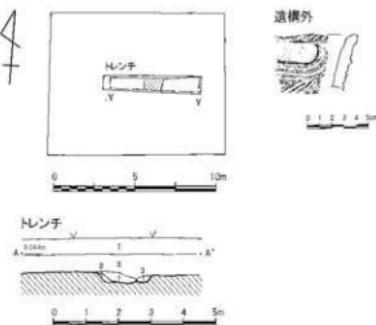
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月31日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月31日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約1mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約1mである。調査の結果、遺構は確認されなかった。遺構外から縄文土器片が1点出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行つたうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物は遺構外で発見された。縄文土器深鉢の口縁部である。隆帯と沈線で方形に区画、その下に沈線と押引文、口縁部には刻みを施す。縄文時代中期。

第83地点



- I 黒褐色土 縛り弱、粘性有、埴土でロームブロックと黒色土の混合
- II 黒色土 縛り強、粘性有、田耕作土 5m以下ローム状ローム少しあむ
- 3 黒褐色土 縛り強、粘性有、1cm以下ロームブロック少しあむ
- 2 緯褐色土 縛り強、粘性有、縦褐色土ローム主体に黒色土モジテ状に少し含む
- 3 黑色土 縛り強、粘性有、1層にはぼ同じややロームブロック少ない

第59図 松山遺跡第83地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)

IV 松山遺跡第84地点

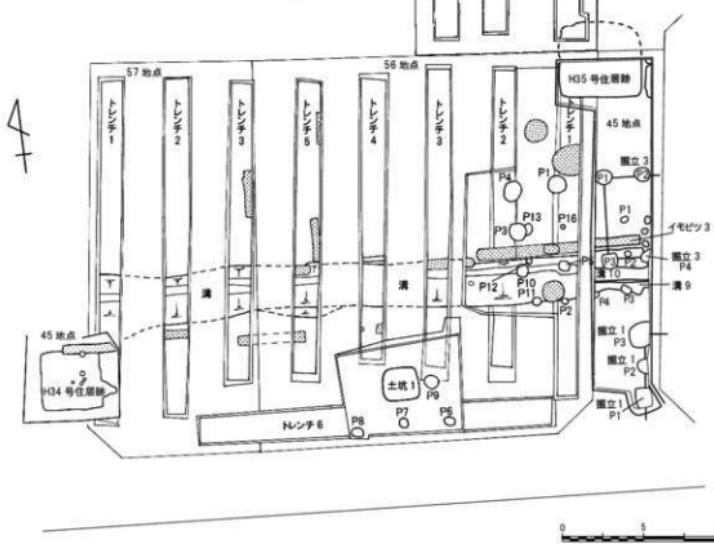
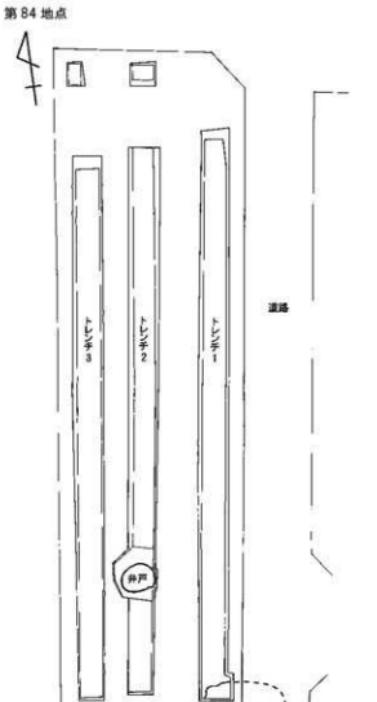
調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2015年8月27日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年9月15～16日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.8mのトレンドチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約50cmである。試掘の結果、平安時代の住居跡1軒と時期不明の井戸跡1基を確認した。住居跡は検出範囲が狭小で本調査が不可能だったため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H35号住居跡

調査区南東部、トレンドチ1の南端で検出した。確認された位置から、2008年に調査を実施した第45地点のH35住居跡北西隅であることが判明した。残存状況が悪く、床面までに深さは20cm程度である。今回の調査で確認できた遺構の規模は(150×45)cm



第60図 松山遺跡第84地点遺構配置図(1/300)

で、周溝を作る。周溝は上幅約 30 cm、下幅約 10 cm、深さ 10 cm である。柱穴、竈等は未検出である。掘方は地山ローム層を掘り下げた後、貼床を行う。住居に伴う出土遺物はない。

②井戸

井戸は調査区南側、トレンチ 2 で検出した。平面形態は円形を呈し、確認面径 204 × 174 cm、底径 110 × 73 cm、深さ 173.6 cm である。出土遺物はない。底部付近で炭化物を含む層を確認した。

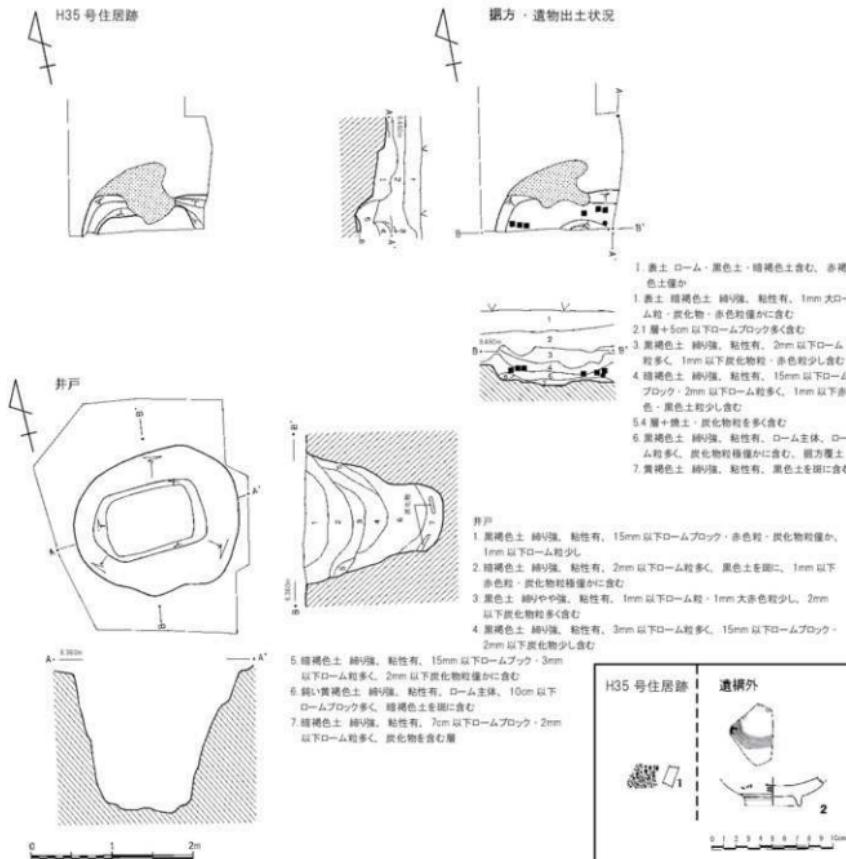
③出土遺物

縄文土器片 1 点と磁器片 1 点が出土した。1 は H35 号住居跡の覆土中から出土した縄文土器片であ

る。条痕を施す。早期か。2 は蛇の目軸剥ぎ磁器皿の底部破片である。底径 (4.6) cm、染付で高台脇に一重圓線、高台部に二重圓線を施す。肥前産で 18 世紀後半以降のものと考えられる。

V 松山遺跡第 85 地点

調査は分譲住宅建設に伴い、2015 年 10 月 1 日～19 日に試掘調査、10 月 20 日～26 日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 20 集『市内遺跡群 19』(2017 年 3 月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。



第 61 図 松山遺跡第 84 地点 H35 号住居跡・掘方・井戸 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第13章 江川東遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000m程下った右岸に位置している。標高15～19mで現谷底との比高差は3mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な

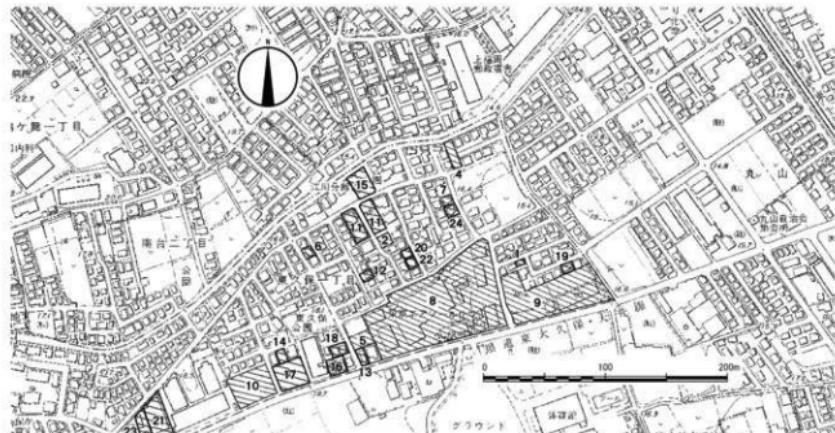
市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畠地が残っている。

周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、現在は表面採取がほとんど不可能である

第38表 江川東遺跡調査一覧表

地番	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保1-145-14	(1994.3.24～25)	52	個人住宅建設	溝状遺構、埴文土器・須恵器	町内遺跡群Ⅲ
2	大学東久保1-162-34	1995.1.20～2.6.	191	個人住宅建設	土坑17、ピット18、フレーク・須恵器・陶器片	町内遺跡群Ⅳ
3次						
4	東久保138-4他	(1996.1.24～29)	246	個人住宅建設	ピット3、溝2	町内遺跡群V
5	東久保1-155-6	(1998.6.1～9)	164	土地分譲	ピット12	町内遺跡群VI
6	東久保1-168-7	(2001.7.17)	15(71)	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群VI
7	東久保1-160-47	(2004.1.4)	88	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群VI
8	東久保1-150他	(2004.3.25～4.7)	6,137	共同住宅	土坑1、溝2、麻布木漆1	町内遺跡群VI
9	東久保1-6-19	(2004.4.9～5.10)、2004.5.11～24	464	保育園	ピット40、溝2、埴文土器	町内遺跡群VI、調査報告第14集 東久保の遺跡
10	東久保1-174-1-36	(2005.10.13～24)	267(881)	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市内2
11	東久保1-162-1-14	(2006.11.9～15)	200(674)	分譲住宅	遺構検出	市内3
12	東久保1-27-3	(2006.11.10)	6(72)	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
13	東久保1-155-4	(2006.8.11)	24(114)	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
14	東久保1-174-38	(2007.5.25～29)	30(67)	個人住宅	遺構遺物なし	市内4
15	東久保1-136-5	(2007.9.11～13)	91(344)	公民館分譲	遺構遺物なし	市内4
16	東久保1-176-13～16	(2009.9.14～15)、2009.9.16～18	63(148)	個人住宅	埴文時代集石土坑1	市内8
17	東久保1-177-1	(2009.12.10～18)	156(556)	地下埋設物調査	遺構遺物なし	市内8
18	東久保1-176-9	(2011.1.1.26)	72	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
19	東久保1-146-6	(2012.7.24)	(742)	個人住宅	時期不明ピット1、遺物なし	市内15
20	東久保1-160-29	(2013.7.30)	11(71.94)	建築住宅	遺構遺物なし	市内18
21	東久保1-180-1	(2013.11.21～22)	30.5(57.0)	宅地造成	遺構遺物なし	市内18
22	東久保1-160-30	(2014.9.30～10.1)	11.0(72.44)	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
23	東久保1-180-11	(2014.10.10)	29.4(180)	個人住宅	遺構なし、土画片	市内20
24	東久保1-32-12	(2015.11.27)	6(91.92)	個人住宅	遺構遺物なし	市内22



第62図 江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)

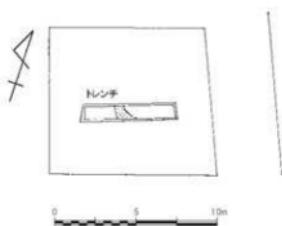
が、一部残された畑地には須恵器が散布する。第2地点の調査では、近世の土坑・ピットを検出している。2018年4月現在23地点で試掘及び発掘調査を行っている。

II 江川東遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年9月18日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月27日に試掘調査を実施した。調査は幅約1mのトレンチ1本を設定し、人力による表土除去、表面精査を行った。現地表面から地山ホーム層までの深さは約35~40cmであった。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかつたため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第63図 江川東遺跡第24地点調査区域図(1/300)

第14章 東久保遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東大久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れおり、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、市立亀久保小学校が建ち、区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

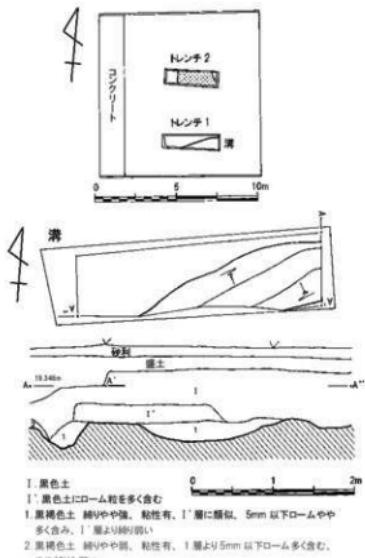
周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川の間に平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して亀久保塙跡遺跡が位置する。本遺跡の調査は1976年以来2018年4月現在、75地点で試掘調査および発掘調査を行っている。これまでの調査で、旧石器時代礫群、縄文時代の落とし穴・土坑・集石土坑など、中近世は溝や柵列が確認されている。

II 東久保遺跡第72地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡

範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年7月2日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約85cmであった。



第64図 東久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000), 第72地点遺構配置図 (1/300), 溝 (1/50)

調査の結果、時期不明の溝1条を検出したが遺物は出土しなかったため、遺構としていない。写真撮影・全

測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第39表 東久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()	は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保字東久保285-1地	(1976.2.29~2.27)		10,000	東久保小学校	縄文時代集石土坑6、土坑3、井戸2、溝2、縄文土器・石器	大町町文化財報告第7差戻東久保遺跡
2	東久保293-1 地	(1994.11.15)		2,472	区画整理道路	近世の溝5、ビット4、土坑2、縄文土器片	調14集
3	東久保28-4	(1995.2.20~29)		25	木造施設	遺構無	
4	東久保364-1	(1996.7.7~10) 1996.9.2~4		270	区画整理道路	近世の溝2、柱列1、遺物なし	町V1
5	東久保366	1996.11.22~1997.3.5		320	区画整理道路	土坑3、中世の堆土1、溝2、ビット1、土器・石器	町V1/14集
6	東久保27-1	(A区)1997.1.20~2.13 (B区)1997.2.24~3.19		3,314	区画整理道路	土坑3、中世の堆土1、溝2、ビット1、土器・石器	調14集
7	東久保27-1 地	(C区)1997.7.24~7.25(D区)1997.8.6		2,309	区画整理道路	土坑2、集石土坑1、土坑1、ビット5、溝8、縄文土器・石器	調14集
8	東久保18街区12画地	(1997.7.29~8.2)		305	個人住宅	縄文時代土坑2、ビット2	町V1
9	東久保278号	(1997.8.18~28) 1998.3.1~5.18		2,117	同上	縄文時代集石土坑5、土坑13、ビット7、近世以降の溝1、石器代	町V1/14集
10	東久保19街区	(1997.9.2~10.1)		1,067	分譲住宅	縄文時代集石土坑1、近世以降の溝1、縄文土器片	町V1
11	東久保	1998.7.3~8.6、1999.3.11~12		588	区画整理道路	中世以降の柱1、ビット3、溝1、縄文土器・石器	調14集
12	東久保	1999.1.19~1.21		282	区画整理道路	縄文時代集石土坑1、ビット10、近世以降の溝2	調14集
13	東久保381-5地	1999.5.19~20		360	区画整理道路	遺構遺物なし	調14集
14	東久保381-5地	1999.11.2		162	個人住宅		町V1
15	東久保18街区3画地	(1999.6.29~7.16) 1999.7.19~29		823	同上	縄文時代土坑2、ビット1、縄文土器片、瓦質陶片	町V1/14集
16	東久保5街区14~16画地	(1999.8.2)		178	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
17	東久保15街区1~5・32画地	(1999.10.1~6)		334	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
18	東久保381-5	(1999.6.14~15)		168	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
19	東久保27街区2画地	(1999.11.30~12.15)		14,989	小字段丘ランド	柱列	町V1
20	東久保4街区9画地	(2000.2.26~3.3)		476	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
21	東久保18街区14画地	(2000.3.23~28)		114	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
22	東久保15街区15画地	(2000.3.22~23)		150	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
23	東久保18街区9~10画地	(2000.3.13~16) 2000.3.27~4.6		280	区画整理道路	縄文時代土坑1、施土跡1	調14集
24	東久保14街区	(2000.1.1~2)		259	区画整理道路	縄文時代土坑1、施土跡1	調14集
25	東久保18街区13画地	(2000.4.13~14)		135	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
26	東久保31街区9画地	(2000.4.14)		1,167	砂利駐車場	縄文時代土坑1、ビット15、近世土坑1、梅列1、溝2	町V1
27	東久保26街区2	2000.5.17~6.8		560	区画整理道路	縄文時代ビット15、近世土坑1、梅列1、溝2	調14集
28	東久保18街区9画地	(2000.6.29~7.4)		130	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
29	東久保4街区18~20画地	(2000.6.30~7.4)		218	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
30	東久保294番地	2000.7.4		48	区画整理道路	夷状地跡、遺物なし	調14集
31	東久保15街区26画地	(2000.6.7)		126	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
32	東久保27~381-31画地	(2000.7.12~8.4)		265	区画整理道路	近世土器2件作跡2、縄文時代土坑2、ビット12、時刻不明の溝1・柱列各1、ナイフ形石器	調14集
33	東久保15街区24画地	(2000.8.2~3)		590	同上		
34	東久保18街区15画地	(2000.8.29~30)		128	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
35	東久保21街区3~4画地	(2000.12.7~9)		139	個人住宅	溝3、ビット1	町V1
36	東久保15街区21~22画地	(2001.11.19~25)		135	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
37	東久保15街区13~13画地	(2000.12.11)		149	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
38	東久保284-1, 285-1	2000.12.13~15		501	区画整理道路	縄文時代ビット1、遺物なし	調14集
39	東久保4街区8~9画地	(2001.3.22~27)		317	個人住宅	縄文時代土坑1~6	町V1
40	東久保27-20街区	2001.3.23~2001.6.1		128	区画整理道路	遺構遺物無	調14集
41	東久保4街区6~7画地	(2001.5.28~29)		112	個人住宅	近世以降の溝1、遺物なし	町V1
42	東久保19街区10画地	(2001.4.18~21)		864	同上	近世以降の溝1、遺物なし	町V1
43	東久保15街区14~15画地	(2001.5.22~25)		142	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
44	東久保19街区9~11~12画地	(2001.5.10~6.29)		757	食事	縄文時代土坑1~6、施土跡2、縄文木路、ビット2、溝2、縄文土器・石器	町V1
45	東久保25街区	(2001.6.1)		100	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
46	東久保17街区3~4画地	(2001.6.4~6)		135	個人住宅	溝1、縄文土器片2、磁器片1	町V1
47	東久保31街区6~13画地	(2001.10.1~26)		1,203	店舗	縄文時代土坑1~6	町V1
48	東久保18街区9~10画地	(2001.12.12~25)		518	分譲住宅	遺構遺物なし	町V1
49	東久保13街区7画地	(2002.1.21~13)		100	分譲住宅	遺構遺物なし	町V1
50	東久保3街区22画地	(2002.9.24)		102	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
51	東久保18街区15~15画地	(2002.12.13)		155	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
52	東久保4街区3画地	(2003.1.6~7)		64	個人住宅	溝、井戸	町V1
53	東久保4街区10画地	(2003.5.17~22)		406	同上	ビット2	町V1
54	東久保8街区(宿泊施設)1画地	(2003.5.19~22)		798	同上	溝3、ヒット4、落し穴1	町V1
55	東久保8街区(宿泊施設)2画地	(2003.5.20~23)		163	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
56	東久保8街区(宿泊施設)3画地	(2003.5.21~24)		165	個人住宅	遺構遺物なし	町V1
57	東久保25街区6~14画地	(2003.5.26~6.1)		133	分譲住宅	遺構遺物なし	町V1
58	ふじみ野2-7-1	(2004.1.13~14)		558	分譲住宅	溝2	町V1
59	ふじみ野2-7-1~9	(2004.2.29~2004.7.12~23)		1,804	同上	土坑8、ヒット9、溝2	町V1/14集
60	ふじみ野2-16~26	(2004.2.22~24)		337	個人住宅	ビット2	町V1
61	東久保36街区	2004.9.29~11.26		2,376	区画整理公園緑地	縄文時代土坑7、ビット9、溝6、(調査区内の一部は第2地点で調査済)	調14集
62	ふじみ野2-5~16	(2004.10.12~15)		220	半地下造	溝3	町V1
63	ふじみ野2-5~10~12	(2006.2.1)		105	個人住宅	遺構遺物なし	市2
64	ふじみ野2-18~60~1部	(2006.10.12~20) 2006.10.24~26		437	井戸	近世の柱列1、圓3	市3
65	ふじみ野2-22~2-5~7	(2008.1.18~28)		260	小字田原塙	遺構遺物なし	市4
66	ふじみ野2-19~4~19~5	(2008.5.22~6.11)		862	分譲住宅	圓3	市6
67	ふじみ野2-25~10~11	(2009.11.9)		492	個人住宅	遺構遺物なし	市8
68	ふじみ野2-18~3	(2010.1.12~26) 2010.11.29~12.8		791	分譲住宅	縄文時代土坑1~3、近世以降溝跡2、柱列1、本調査	市9
69	ふじみ野2-22~23~5~6~7	(2011.3.28)		17,276.3	小字田原塙	遺構遺物なし	市10
70	ふじみ野2-8~9~10	(2013.1.16~24)		1,156	井戸	遺構遺物なし	市15
71	ふじみ野2-27~27~9	(2013.6.17~19)		998	店舗	溝1、遺物なし	市18
72	ふじみ野2-6~7	(2015.2.7)		100	個人住宅	圓1、遺物なし	市22
73	ふじみ野2-3~14	(2017.6.19)		62.35	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
74	ふじみ野2-19~2~3	(2017.8.2)		239	個人住宅	ビット1、遺物なし	未報告
75	ふじみ野2-13~24	(2017.12.16)		96.87	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告